



独立行政法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター

National Cancer Center, Center for Cancer Control and Information Services

全国がん罹患モニタリング集計

Monitoring of Cancer Incidence in Japan - Survival

2003-2005 年
生存率報告

2013 年 3 月
March 2013

全国がん罹患モニタリング集計

Monitoring of Cancer Incidence in Japan - Survival

2003-2005 年 生存率報告

国立がん研究センター がん対策情報センター

2013 年 3 月
March 2013

はじめに

がんは、昭和 56 年から我が国の死亡原因の第 1 位となり、国民の生命および健康にとって重大な問題となっています。平成 23 年には、がん死亡数は 35 万人を超え、今後とも高齢者を中心に増加が予想されています。

国立がんセンターは、昭和 37 年の設置以来、全国的ながん対策の中核機関としての役割を果たしてきました。平成 22 年 4 月には独立行政法人となり、名称も国立がん研究センターとなりました。All Activities for Cancer Patients（職員の全ての活動はがん患者の為に）1. 世界最高の医療と研究を行う、2. 患者視線で政策立案を行うを理念として、以下の 7 つの使命を掲げました〔1. がんの解明と発症予防、2. 高度先駆的医療の開発、3. 標準医療の普及、4. 情報の収集と提供、5. 人材の育成、6. 政策の提言、7. 国際貢献〕。このうち「4. 情報の収集と提供」についての大きな課題が、「日本のがん患者の実態把握」であり、がん罹患情報を計測するシステムとして、中心的な役割を果たすのが地域がん登録です。また、地域がん登録で計測される生存率は、地域代表性を有することで、がん対策の指標として大きな意味を持っています。

平成 16 年度から開始された「第 3 次対がん 10 か年総合戦略事業」では、新たな分野として「がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究分野」が加えられ、「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班が開始されました。平成 18 年 10 月には、

がん対策情報センターが国立がんセンターに設置され、がん情報・統計部の中に地域がん登録室と院内がん登録室が設置されました。同時に、平成 18 年 6 月には、「がん対策基本法」が成立し、平成 19 年 6 月に「がん対策基本計画」が策定されました。その中で、がん登録の推進は、重点的に取り組むべき課題の 1 つと位置づけられています。

がん対策情報センターのがんサーベイランス機能は、がん統計研究部の地域がん登録室と院内がん登録室が中心となり、正確で役に立つがんの統計情報を整備することを使命としています。更に、がん登録の標準化と精度向上の推進、がん登録を担う人材育成、国民にわかりやすいがんの統計情報の発信、および、がん対策の立案と評価に利用できる統計情報の提供を活動目標としており、これを厚生労働省研究班の活動と連携しながら進めています。

今回、「がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究」班から生存率集計結果の提供を受け、がん対策情報センターの報告書として作成しました。正確で役に立つがんの統計情報提供の 1 つとして、多くの方々に利用していただくようお願いいたします。

**国立がん研究センター
がん対策情報センター センター長
若尾 文彦**

がん対策の立案・評価には、がん死亡、がん罹患とともに、がんの生存率の動向を把握することが不可欠です。がんの生存率は、院内がん登録、臓器がん登録などでも計測可能ですが、地域代表性を有する値として、地域がん登録データから計測される生存率は、がん対策の指標として特に重要です。

我が国における地域がん登録の多くは、県事業として運営され、関係者の篤志的な努力により維持されてきました。地域がん登録の第一の目的はがん罹患の計測にあるため、生存率計測に必要な系統的な生存確認調査を実施している地域がん登録は、先進的な県に限られ、これまで、がん研究助成金による地域がん登録研究班が中心となり、地域がん登録に基づく生存率集計結果が報告されてきました。

平成 16 年度に、第 3 次対がん 10 年総合戦略事業が開始され、分野 7（がんの実

態把握とがん情報の発信に関する研究分野）として「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班（研究代表者：祖父江友孝）が開始されました。同研究班のカバーする範囲としては、当初は、がん罹患情報を集計して報告する MCIJ（Monitoring of Cancer Incidence in Japan）のみでした。

本報告書は、がん研究助成金による地域がん登録研究班の活動を引き継いで生存率集計を掲載するものです。今後とも、地域がん登録の精度向上と標準化に向けて、御協力をお願いいたします。

**第 3 次対がん総合戦略研究事業
「がんの実態把握とがん情報の発信に関する
研究」班 研究代表者**

**祖父江 友孝
（大阪大学大学院医学系研究科
環境医学教授）**

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 集計データについて | 1 |
| 全国がん罹患モニタリング集計の経緯 | 3 |
| 「がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究」班 分担研究者 | 5 |
| 参加地域と担当者 | 6 |
| 提出データ詳細 | 7 |
| 品質管理と集計方法 | 18 |
| 全国生存率集計値 | 25 |
| 全国生存率集計値 | 27 |
| 地域別集計表 | 45 |
| 地域別集計表について | 47 |
| 04 宮城県 | 48 |
| 06 山形県 | 52 |
| 15 新潟県 | 56 |
| 18 福井県 | 60 |
| 25 滋賀県 | 64 |
| 27 大阪府 | 68 |
| 42 長崎県 | 72 |
| 地域別集計表(参考値) | 77 |
| 09 栃木県 (2004-2005 年症例) | 80 |
| 10 群馬県 | 84 |
| 43 熊本県 | 88 |
| 参考文献 | 92 |

図表目次

| | | |
|------|--|----|
| 表 1 | 第 3 期モニタリング項目およびコード区分 | 10 |
| 表 2 | 目標モニタリング項目およびコード区分 | 11 |
| 表 3 | 提出対象年、多重がんの有無、性別、生年月 | 13 |
| 表 4 | 診断年月、死亡年月、原発部位、組織コード | 13 |
| 表 5 | 診断の根拠、DCN 区分、DCO 区分 | 13 |
| 表 6 | 臨床進行度、発見経緯、最終生存確認年月 | 14 |
| 表 7 | 良性腫瘍、良悪不詳の含まれる部位（付与している性状コード） | 14 |
| 表 8 | 子宮頸部上皮内がん、乳房上皮内がん（付与している性状コード） | 14 |
| 表 9 | 子宮頸部・乳房以外の上皮内がん（部位、付与している性状コード、コメント） | 15 |
| 表 10 | 剖検割合（コメント） | 15 |
| 表 11 | DCO の場合の集計対象：I 欄にがん・がん疑いの記載のある例、I 欄に頭蓋内の 良性腫瘍の記載のある例、I 欄に腫瘍の記載のある例（部位、コメント） | 15 |
| 表 12 | DCO の場合の集計対象：I 欄以外にがん・脳腫瘍の記載のある例、I 欄以外に 腫瘍・がん疑いの記載のある例（部位、コメント） | 16 |
| 表 13 | 黒色腫以外の皮膚がん、大腸粘膜がん（性状、臨床進行度、コメント） | 16 |
| 表 14 | 多重がん：1 腫瘍 1 登録か、多重がんの定義、独自の規定とは | 16 |
| 表 15 | 疑診、外国人居住者、発見経緯「検診」の情報源 | 17 |
| 表 16 | 生存確認調査の方法、提出データについて（標準 DBS および論理チェック） | 17 |
| 表 17 | 品質管理項目 | 20 |
| 表 18 | 品質管理結果（MCIJ2008 時点、初回および最終） | 21 |
| 表 19 | 集計用部位分類コード対応（表 23-30 および地域別集計表） | 22 |
| 表 20 | 罹患者数、登録精度、生存率集計対象者数 -2003-05 年- | 30 |
| 表 21 | 診断から 5 年後の予後状況 -2003-05 年、解析対象 2 - | 31 |
| 表 22 | 対象者数、5 年相対生存率、標準誤差 -2003-05 年、解析対象 1 - | 32 |
| 表 23 | 対象者数、5 年相対生存率、標準誤差 -2003-05 年、解析対象 2 - | 33 |
| 表 24 | 進行度別分布 -2003-05 年、解析対象 1 - | 34 |
| 表 25 | 進行度別分布 -2003-05 年、解析対象 2 - | 35 |
| 表 26 | 進行度別 5 年相対生存率、標準誤差 -2003-05 年、解析対象 1 - | 36 |
| 表 27 | 進行度別 5 年相対生存率、標準誤差 -2003-05 年、解析対象 2 - | 37 |
| 表 28 | 性別年齢階級別 5 年相対生存率 -2003-05 年、解析対象 1 - | 38 |

| | | | | |
|------|---------------------|----------------------|--------|----------|
| 表 29 | 性別年齢階級別 5 年相生存率 | —2003-05 年、解析対象 2— | | 39 |
| 表 30 | 罹患者数、登録精度、生存率集計対象者数 | —2003-05 年— | (参考地域) | .. 78 |
| 表 31 | 診断から 5 年後の予後状況 | —2003-05 年、解析対象 2— | (参考地域) | 79 |
| 図 1 | 部位別 5 年相対生存率 | (解析対象 2 上段：男性、下段：女性) | | 40 |
| 図 2 | 臨床進行度分布 | (解析対象 2) | | 41 |
| 図 3 | 臨床進行度別 5 年相対生存率 | (解析対象 2) | | 42 |
| 図 4 | 年齢階級別 5 年相対生存率 | (解析対象 2 男性) | | 43 |
| 図 5 | 年齢階級別 5 年相対生存率 | (解析対象 2 女性) | | 44 |

集計データについて

全国がん罹患モニタリング集計の経緯

全国がん罹患モニタリングの歴史

我が国のがん罹患は、全国規模で地域がん登録が行われていなかったため、比較的精度の良い幾つかの地域がん登録から登録情報を収集し、全国推計値を算出することでその動向がモニタリングされてきた。現時点の公表値のうち、1975-94年の全国がん罹患推計は、厚生労働省がん研究助成金による「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」班が担当し、1995年値推計以降は第3次対がん「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班が引き継いで担当した。

当初は、研究班が2004年7月に実施した「地域がん登録実施状況調査（事前調査）」の結果より、比較的精度のよい15府県を対象にデータ提供を依頼し、1995-99年の再推計と2000年、2001年、2002年推計を実施し、公表していた[1-3]。

MCIJプロジェクトの発足

2006年8月に「地域がん登録の標準化と精度向上に関する第2期事前調査」を実施した際に、地域がん登録事業実施道府県にデータ提出を依頼し、それまで各地域で算出していた精度指標を、中央で一括処理することとした。その結果、依頼したすべての地域に協力を得、全地域がん登録からのデータ収集実施の基盤を築くことができた。こうした背景と、がん対策基本法におけるがん登録の全国整備という方針を踏まえ、2007年実施の、2003年がん罹患症例の収集

を皮切りに、Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) として、地域がん登録事業実施県すべてにデータ提出を依頼する運びとなった。目的は、すべての地域がん登録実施県を対象に、一定の品質管理を経て、共通の定義で集計を実施し、わが国のがん罹患統計の整備状況をモニタリングするとともに、全国のがん罹患統計を整備することである。「がんの実態把握」班がデータを収集し、品質管理を実施してまとめた集計結果を、2008年10月の国立がんセンターがん対策情報センター発足以降、がん対策情報センターの事業経費を使用して報告書を刊行して公表している。現状では、このように、研究班の活動の公表を国立がん研究センターが行うという複雑な形態となっているが、地方自治体が実施する地域がん登録事業への厚生労働省及び国立がん研究センターの関与のあり方が明確になれば、こうした歪さも整理されることと考える。あくまでも研究活動の事業経費移行過渡期の体制であることを理解されたい。

MCIJへの生存率集計統合の経緯

前述のとおり「がんの実態把握」班においては、罹患数と登録精度指標の計測を第1義として、モニタリング項目を定め、近年ではMCIJの枠組みの中で地域がん登録のデータの収集を行ってきた。

一方、生存率集計は、「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」班において、1993-96年、1997-99年罹患患者の集計を実

施してきた[4-6]。しかしながら、生存率計測のために、異なる対象・異なる項目によるデータ収集をMCIJと別に実施すると、データ提出登録室における作業負担が過重となるだけでなく、MCIJプロジェクトの目的である、罹患、死亡、生存率を比較利用してのがんのモニタリング、が実現できないことから、「がんの実態把握」班と協同してデータ収集する方向で、収集項目について検討した。その結果、第2期モニタリング項目は、発見経緯と住民票照会による最終生存確認年月をあわせた14項目とし、罹患データ収集の際に、対象症例の最終生存確認年月の更新を依頼することで、MCIJプロジェクト内での生存率集計が可能となった。

このような経緯で地域がん登録における生存率の集計作業についても、2000-02年罹患患者の集計から、「がんの実態把握」班に引き継がれ、罹患数・率と同様に、集計結果を利用して国立がん研究センターがん対策情報センターが報告書を刊行すること

となった。

小規模県での地域別集計では、部位や臨床進行度によっては症例数が少なくなってしまうこと、更に、資金と労力の面から、依然として生存確認調査の実施は県にとってハードルが高く、全国集計値としても症例数が少ないことから、3年間の累積データの解析を3年毎に実施することとしている。

MCIJ報告書の公開と利用

MCIJ 報告書は、都道府県がん対策担当課およびがん診療連携拠点病院に冊子を提供するとともに、がん対策情報センターのウェブサイトにて公開されている (<http://ganjoho.jp/professional/statistics/monita.html>)。全国がん罹患推計値は、がん対策情報センターのウェブサイトにおいて公開されている、「グラフデータベース」、「集計表のダウンロード」の資料としても利用され、学術誌にも公表されている[7-11]。

「がんの実態把握とがん情報の発信に関する研究」班 分担研究者

研究代表者

祖父江 友孝 (大阪大学大学院医学系研究科 社会環境医学講座環境医学教室)

分担研究者(50音順、H24年度)

井岡 亜希子 (大阪府立成人病センター がん予防情報センター)
 伊藤 秀美 (愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部)
 大木 いずみ (栃木県立がんセンター研究所 疫学研究室)
 岡本 直幸 (神奈川県立がんセンター 臨床研究所)
 片野田 耕太 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部)
 片山 博昭 (放射線影響研究所 情報技術部)
 加茂 憲一 (北海道大学公立法人札幌医科大学 医療人育成センター)
 雑賀 公美子 (国立がん研究センター がん予防・検診研究センター 検診研究部)
 柴田 亜希子 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部)
 杉山 裕美 (放射線影響研究所 疫学部 (広島))
 早田 みどり (放射線影響研究所 疫学部 (長崎))
 津熊 秀明 (大阪府立成人病センター がん予防情報センター)
 堂道 直美 (放射線影響研究所 情報技術部)
 西野 善一 (宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部)
 西本 寛 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部)
 服部 昌和 (福井県立病院 外科)
 東 尚弘 (東京大学 大学院医学系研究科 公共健康医学専攻医療科学講座)
 松田 彩子 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部)
 松田 智大 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部)
 三上 春夫 (千葉県がんセンター 研究局 疫学研究部)
 安田 誠史 (高知大学教育研究部医療学系連携医学部門 (公衆衛生学))

【MCIJ事務局】

独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター

がん統計研究部 地域がん登録室

担当：松田 智大・松田 彩子

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

電話：03-3542-2511 内線3445、3446 FAX：03-3546-0605

メールアドレス：office_canreg@ml.res.ncc.go.jp

参加地域と担当者

| 地域名 | 担当者氏名 | 所属 |
|-----|-----------------|------------------------------|
| 宮城県 | 西野 善一 | (財) 宮城県対がん協会 がん登録室 |
| 山形県 | 田中 実奈 | 山形県立がん・生活習慣病センター |
| 栃木県 | 大木 いずみ 早川 貴裕 | 栃木県地域がん登録室 栃木県保健福祉部 健康増進課 |
| 群馬県 | 茂木 文孝 | 群馬県健康づくり財団 群馬県がん登録室 |
| 新潟県 | 内藤 みち子 | 新潟県がん登録室 |
| 福井県 | 野村 佳代 | 福井県健康福祉部 健康増進課 |
| 滋賀県 | 田中 一史 | 滋賀県立成人病センター |
| 大阪府 | 井岡 亜希子 | 大阪府立成人病センター |
| 長崎県 | 早田 みどり 山田 豊信 | 長崎県がん登録室 (公財) 放射線影響研究所 |
| 熊本県 | 山形 香織 | 熊本県健康福祉部 健康局健康づくり推進課 |

※現職にないデータ提出当時の担当者を含む

提出データ詳細

MCIJプロジェクトにおいては、地域がん登録事業実施全地域より、罹患データを収集し、品質管理と集計を実施している。表1に、第3期モニタリング項目および回答を依頼した際のコード区分を示す。同時に、提出データの内容についてのアンケート調査を実施し、品質管理と集計の参考資料とするとともに、結果をまとめている。この作業においては、国立がん研究センターがん対策情報センターにおいて開発した、がんサーベイランスシステムおよび付随するアンケート集計システムを利用している。

データ収集

MCIJ2008の枠組みの中で、2013年8月に地域がん登録実施46県を対象に、提出期間を2013年9月3日から9月28日までと設定し、国立がん研究センターがん対策情報センターで運営しているファイル共有サイトにアップロードする形式でデータの提出を依頼した。地域がん登録実施38県中、宮城、長野を除く36県よりデータを収集した。北海道は2009年データ提出、大阪は2007年データを参考値として収集した。このうち10県が2003-2005年症例の生存確認調査を実施しており、本集計に参加を表明した。

宮城および大阪は、MCIJ2008には不参加であったが、生存率集計の目的において、それぞれ1993-2007年（宮城）、2003-2005年（大阪）の罹患患者の情報を研究班に提供した。

住民票照会による最終生存確認年月を含

む14項目を第3期モニタリング項目とし、2003-2005年診断患者の5年後予後情報を含む1993-2008年罹患データの提供をMCIJ参加地域に依頼し、提供を受けた。標準DBS導入地域においては、目標モニタリング項目の提出を依頼し、集計対象の選択基準に利用した（表2）。

2003-2005年の全部位、男女合計について、①「罹患患者中死亡情報のみで登録された患者」（DCO）の割合<25%、あるいは、「死亡情報で初めて把握された患者」（DCN）割合<30%、かつ、②「罹患数と人口動態統計によるがん死亡数との比」（IM比） ≥ 1.5 の両条件を満たす地域のうち、全国生存率集計の基準として、住民票照会実施で診断から5年後の予後不明割合が5%未満（山形、福井、大阪、長崎）あるいは全死亡情報との照合を実施している（宮城、新潟、滋賀）、計7地域（宮城、山形、新潟、福井、滋賀、大阪、長崎）の資料を集計対象とした。長崎は2003年症例のうち臨床進行度が領域および遠隔転移の者、2004年、2005年においては全症例に対して、住民票照会を実施した。また、2004-2005年に住民票照会を実施した栃木、全死亡情報との照合を実施している群馬、熊本は、①、②、③の基準を満たしていなかったため、下記の結果解説には含めず、7県が分母となる。しかし、集計値については、地域別集計表（参考値）のページを設け、栃木、群馬、熊本も掲載した。尚、栃木の対象年は2004-2005年となる。

第3期モニタリング項目への対応状況

対象10県での、提出データの内容についてのアンケート結果を表3-表16に提示した。これらの表は、宮城は1993-2007年のデータ、大阪は2003-2005年のデータについての回答であり、残りの8県では、MCIJ2008提出時点での回答をそのまま使用している。なお、表3-表6（第3期モニタリング項目への対応状況）は、項目7、8を除いて、標準方式に準拠していない場合のみに、各県の状況の記載をすることとなっている。

腫瘍のコーディングについて、局在、形態ともにICD-O-3を用いている地域が最も多く（6県）、その他には局在にはICD-O-3、形態はICD-O-2、ICD-O-3である地域（長崎）があった（表4）。

DCN 区分に関し、遡り調査が未実施であるために、DCN 割合が DCO 割合と同値であると回答した地域が1県（長崎）あった。新潟は死亡小票に基づいて医療機関への照会を行っているが、遡り調査症例としての区別はせず、一般の届出票と同じ処理をしていたため、DCN=DCO となっている（表5）。生存率集計においては、がん死亡情報からの遡り調査による登録を含む（解析対象1）と、含まない（解析対象2）の2種類のデータセットが存在し、後者を標準方式での集計対象とする。長崎と新潟においては、上記の理由から、解析対象1と解析対象2の症例数が同値となる。

前述のとおり、宮城、新潟、滋賀では、住民票照会を実施していないと回答していたため、項目14の最終生存確認年月が空欄である（表6）。こうした地域では、全死亡との照合が完了している年月を挿入して

集計をしている。また、長崎では2003年症例で臨床進行度が限局の場合には住民票照会を実施していないため、死亡との照合が完了している年月を挿入し集計した。

6県で、良性腫瘍もしくは性状不詳の腫瘍も悪性腫瘍と併せて登録しており、その内訳の原発部位としては、脳（頭蓋内）が最も多かった（表7）。

がん罹患データに関する質問

上皮内がんを登録に含むかどうかの質問に対しては、子宮頸部および乳房において、6県が「含まれる」とした（表8）。子宮頸部・乳房以外の上皮内がんも、6県が含まれると回答していた（表9）。

剖検割合は、不明としている地域が多く（6県）、割合が判明している長崎においては、1.5%であった（表10）。

死亡情報のみ（DCO）の集計対象として、「死因のI欄にがん・がん疑いの記載のある例」は6県で含まれ、「死因のI欄に頭蓋内の良性腫瘍の記載のある例」は4県、「死因のI欄に腫瘍の記載のある例」は5県（表11）、「死因のI欄以外にがん・脳腫瘍の記載のある例」は6県、「死因のI欄以外に腫瘍・がん疑いの記載のある例」は1県含まれていた（表12）。

黒色腫以外の皮膚がんは、全地域で登録に含まれていた。大腸の粘膜がんは、性状2、臨床進行度を「上皮内」がんとし、生存率集計から除外することを標準としている。今回の集計では、性状2、あるいは臨床進行度が「上皮内がん」の場合を、「上皮内がん」として集計対象から除外した。新潟では大腸の粘膜がんを性状3、臨床進行度を「限局」としているため、集計対象に大

腸の粘膜がんが含まれている可能性がある
(表 13)。

多重がんの登録については、全地域が「1腫瘍 1 登録」であるとしていた。日本の地域がん登録において採用している多重がん登録のルールは、IACRによるものであり、
1) 多重がんを判定する際、時間の関係は問わない。2) 一方が他方の浸潤・再発・転移によるものではない。3) 1つの臓器、両側臓器、あるいは組織に発生したがんは、単発がんのみをみなす。多重がん判定の目的上、幾つかの部位群に関しては、同じ部位のみをみなす。多発がんは、単発がんとしてカウントする。4) 以下の場合、ルール 3 を適用しない。4-1) 多くの異なる臓器を侵す可能性のある全身性(多中心性)がんでは、1個のみをカウントする。4-2) 組織型の異なるがんは(たとえそれらが同一部位に同時に診断された場合でも)多重がんのみをみなす、の4項目からなる。

6 県では上記の IACR のルールに準拠していた(表 14)。多重がんの第 2 がん以降は生存率集計の対象ではない。多重がんの 1 番目が「上皮内がん」であると、2 番目の悪性新生物もシステム上は上記のルールで生存率集計の対象外となってしまうので、目標モニタリング項目においては、こうした症例を集計対象として救済すべく、「生存率集計区分(surv_cat)」を設け、多重がんの有無(seq_no)のみで対象を判断しない仕組みになっている。更に、集計対象

外となる再発・DCO の症例を除外するために、MCIJ では臨床進行度(extent)も併用しているが、標準 DBS 導入地域ではこの生存率集計区分を他の基準より優先することで、標準 DBS から出力された数値と MCIJ の数値に大きな差が出ないように、対象の選択を補った。

疑診は、1 地域で含まれるとしたが、「条件付」であった。

外国人居住者は、全地域で、地域がん登録に含まれるとしており、発見経緯が「検診」であるときの情報源は、医療機関および検診機関からの届出が 3 地域と最も多く、その他の地域では、医療機関からの届出に併せ、検診ファイルや追跡調査票との照合、採録などを実施していた(表 15)。

第 3 期基準 6 においては、「生存確認調査を行っていること」の補則として、非がん死亡との照合、人口動態テープとの照合、住民票照会のいずれかを行っていること、を明記した。住民票照会を実施している地域は、4 県だった。長崎では 2003 年は一部住民票照会実施(領域および遠隔転移)で、2004-2005 年は、全症例に対して住民票照会を実施した。

標準 DBS から罹患データ出力をしていた地域は 5 県、それ以外が 2 県であった。データにおいて、全ての地域で提出前に品質管理(論理チェック)をしていた(表 16)。

表 1 第3期モニタリング項目およびコード区分

| 項目番号 | 項目名 | 変数名 | 変数型 | 区分 |
|------|----------|----------|-------|--|
| 1 | 索引番号 | caseno | 文字型8桁 | |
| 2 | 多重がんの有無 | seq_no | 数値型1桁 | 1 多重がんなし、あるいは第1がん 2 第2がん以降 9 多重がんか否かの区別不詳、多重がんの順番不詳 |
| 3 | 性別 | sex | 数値型1桁 | 1 男 2 女 9 不明、その他 |
| 4 | 生年月 | birth_dt | 数値型6桁 | 年:西暦4桁、不詳は9999 月:01-12、不詳は99 例)1950年4月の場合、195004 |
| 5 | 診断年月 | diag_dt | 数値型6桁 | 年:西暦4桁、不詳は9999 月:01-12、不詳は99 例)2004年4月の場合、200404 |
| 6 | 死亡年月 | death_dt | 数値型6桁 | 年:西暦4桁、不詳は9999 月:01-12、不詳は99 死亡情報のない場合は空白 例)2004年4月の場合、200404 |
| 7 | 原発部位 | icdot | 文字型4桁 | ICD-O-3の局在部位コードの4桁 不詳はC809 |
| 8 | 組織コード | icdom | 数値型6桁 | ICD-O-3の組織コードの6桁 不詳は、該当するコードを付与し(800039、801029など)、原則として空白は認めない |
| 9 | 診断の根拠 | conf | 数値型1桁 | 1 病理学的裏付けあり 9 病理学的裏付けなし、あるいは有無不詳 |
| 10 | DCN区分 | dcn | 数値型1桁 | 1 DCN (DCO+遡り届出票のみの患者) 2 DCN 以外 (自主届出・採録のある患者) |
| 11 | DCO区分 | dco_j | 数値型1桁 | 1 DCO (死亡票のみ) 2 DCO 以外 |
| 12 | 臨床進行度 | extent | 数値型1桁 | 1 上皮内がん 2 限局 3 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤) 4 遠隔転移 8 再発、DCO 9 不明、情報収集なし |
| 13 | 発見経緯 | motiv | 数値型1桁 | 1 がん検診・健診・人間ドック 9 その他、不明、DCO |
| 14 | 最終生存確認年月 | life_dt | 数値型6桁 | 年:西暦4桁、不詳は9999 月:01-12、不詳は99 住民票照会を実施していない場合は空白 例)2004年4月の場合、200404 |

表 2 目標モニタリング項目およびコード区分

| 項目番号 | 項目名 | 変数名 | 区分 |
|------|----------|----------|---|
| 1 | 患者索引番号 | caseno | 個々の患者を区別する登録番号以外の索引番号。患者登録番号との対応表を自登録で保管 |
| 2 | 重複番号 | seq_no | 0 原発腫瘍は1個 1 重複原発腫瘍における1番目の腫瘍 2 重複原発腫瘍における2番目の腫瘍 : 8 重複原発腫瘍における8番目あるいはそれ以降の腫瘍 9 重複腫瘍の順位不明 |
| 3 | 性別 | sex | 1 男 2 女 ※3 その他 9 不明を除外 |
| 4 | 生年月 | birth_dt | YYYYMM |
| 5 | ICD-03T | icdot | ICD-03Tコード：C000-C809 |
| 6 | 側性 | lateral | 1 右側 2 左側 3 両側 9 対器官で左右別の情報なし 0 対器官ではない |
| 7 | ICD-03M | icdom | ICD-03Mコード：形態、性状、分化度 |
| 8 | 診断根拠 | conf | 0 国際DCO 1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的な腫瘍マーカー 5 臨床検査 6 臨床診断 9 不明 |
| 9 | DCN区分 | dcn | 1 DCN（死亡票/補充票のみ） 2 DCNでない（届出/採録あり） |
| 10 | DCO区分 | dco_j | 1 DCO（死亡票のみ） 2 DCOでない（届出/採録/補充票あり） |
| 11 | 罹患日：罹患率用 | inc_dt_i | (1) 届出/採録あり：診断日 (2) 補充票のみ：死亡日 (3) 死亡票のみ：死亡日 YYYYMM |
| 12 | 罹患日：生存率用 | inc_dt_s | (1) 届出/採録あり：診断日 (2) 補充票のみ：診断日 (3) 死亡票のみ：死亡日 YYYYMM |
| 13 | 発見経緯 | motiv | 1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中（入院時ルーチン検査を含む） 4 剖検発見 9 その他（症状受診を含む）、不明 診断区分「0 死亡票のみ」はnull |
| 14 | 臨床進行度 | extent | 0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明（診断区分「2 治療後」を含む） 診断区分「0 死亡票のみ」はnull |

目標モニタリング項目およびコード区分（続き）

| 項目番号 | 項目名 | 変数名 | 区分 |
|------|--------------------|-----------|--|
| 15 | 外科的治療の有無 | surg | 1 有 2 無 9 不明 診断区分「0 死亡票のみ」はnull |
| 16 | 体腔鏡的治療の有無 | laparosc | |
| 17 | 内視鏡的治療の有無 | endosc | |
| 18 | 放射線治療 | radio | |
| 19 | 化学療法 | chemo | |
| 20 | 免疫療法・BRM | immuno | |
| 21 | 内分泌療法 | endocrine | |
| 22 | その他の治療 | misc_tx | |
| 23 | 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果 | response | ※15-17のいずれかが1の場合 1 原発巣完全切除 2 原発巣不完全切除 3 原発巣切除治癒度不明 4 姑息/対症/転移巣切除 9 不詳 上記以外はnull |
| 24 | 死亡年月 | death_dt | YYYYMM |
| 25 | がん記載区分 | dc_cat | 1 I 欄にがん・がん疑いの記載 2 I 欄に頭蓋内の良性腫瘍の記載 3 I 欄に腫瘍の記載 4 I 欄以外にがん・脳腫瘍の記載 6 I 欄以外に腫瘍・がん疑いの記載 9 不明（既死亡） 0 死亡票なし（患者/腫瘍単位とも） |
| 26 | 年齢C：罹患率用 | age_ch_i | 診断日：小児がん罹患率用時点の年齢 0-105 999 不明 |
| 27 | 年齢C：生存率用 | age_ch_s | 診断日：小児がん生存率用時点の年齢 0-105 999 不明 |
| 28 | 生存率集計区分 | surv_cat | 生存率集計対象腫瘍の条件を満たす腫瘍 1 遡り調査以外 2 遡り調査による登録 ==== 以下、集計対象外 3 DCO生存率集計対象外の届出・遡り調査腫瘍 4 第2がん以降 5 上皮内がん・大腸の粘膜がん 6 良悪不詳 我が国の標準方式は1を集計対象国際的な標準方式は1+2を集計対象 |
| 29 | 最終生存確認年月 | life_dt | YYYYMM (住民票照会実施登録のみ) |
| 30 | 生存期間 | life_pd | 最終生存確認日あるいは死亡日と診断日：生存率用との期間（月） |

表 3 提出対象年、多重がんの有無、性別、生年月

| | 地域名 | 提出対象年 | 項目 2:多重がんの有無 | 項目 3:性別 | 項目 4:生年月 |
|----|-----|-------------|--------------|---------|----------|
| 4 | 宮城県 | 1993-2007 | | | |
| 6 | 山形県 | 1993-2008 | | | |
| 9 | 栃木県 | (2003-2008) | | | |
| 10 | 群馬県 | (2003-2008) | | | |
| 15 | 新潟県 | 1993-2008 | | | |
| 18 | 福井県 | 1993-2008 | | | |
| 25 | 滋賀県 | 1993-2008 | | | |
| 27 | 大阪府 | 2003-2005 | | | |
| 42 | 長崎県 | 1993-2008 | | | |
| 43 | 熊本県 | (1993-2008) | | | |

表 4 診断年月、死亡年月、原発部位、組織コード

| | 地域名 | 項目 5: 診断年月 | 項目 6: 死亡年月 | 項目 7:原発部位 | 項目 8:組織コード |
|----|-----|---------------|---------------|--|--|
| 4 | 宮城県 | | | ICD-O-3 | ICD-O-3 |
| 6 | 山形県 | | | ICD-O-3 | ICD-O-3 |
| 9 | 栃木県 | | | (ICD-O-3) | (ICD-O-3) |
| 10 | 群馬県 | | | (ICD-O-3) | (ICD-O-3) |
| 15 | 新潟県 | | | ICD-O-3 | ICD-O-3 |
| 18 | 福井県 | | | ICD-O-3 | ICD-O-3 |
| 25 | 滋賀県 | | | ICD-O-3 | ICD-O-3 |
| 27 | 大阪府 | | | ICD-O-3 | ICD-O-3 |
| 42 | 長崎県 | | | ICD-O-3 | ICD-O-2、ICD-O-3 分化度のコードは行っていない。 提出データでは、5桁コードから分化度が決定できる場合のみ対応コードを、その他は不明の9を入れた。 |
| 43 | 熊本県 | | | (1993-1994 ICD-9 1995-2003 ICD-10 2004-2008 ICD-O-3) | (1993-1994 不明 1995-2003 ICD-O-2 2004-2008 ICD-O-3) |

表 5 診断の根拠、DCN 区分、DCO 区分

| | 地域名 | 項目 9:診断の根拠 | 項目 10:DCN 区分 | 項目 11:DCO 区分 |
|----|-----|------------|---|--------------|
| 4 | 宮城県 | | | |
| 6 | 山形県 | | | |
| 9 | 栃木県 | | | |
| 10 | 群馬県 | | (2003-2005年及び2007年は遡り調査未実施。 2006年及び2008-2009年は遡り調査実施。) | |
| 15 | 新潟県 | | 死亡小票からの照会を行っているが、遡り調査症例としての区別はせず、一般の届出票と同じ処理をしている。 | |
| 18 | 福井県 | | | |
| 25 | 滋賀県 | | | |
| 27 | 大阪府 | | | |
| 42 | 長崎県 | | 遡り調査を実施していないため DCN=DCO となる。 | |
| 43 | 熊本県 | | | |

表 6 臨床進行度、発見経緯、最終生存確認年月

| 地域名 | 項目 12:臨床進行度 | 項目 13:発見経緯 | 項目 14:最終生存確認年月 |
|--------|-------------|------------|-------------------------|
| 4 宮城県 | | | 住民票照会を実施していない |
| 6 山形県 | | | |
| 9 栃木県 | | | (2004-2006 年症例に住民票照会実施) |
| 10 群馬県 | | | (住民票照会を実施していない) |
| 15 新潟県 | | | 住民票照会を実施していない |
| 18 福井県 | | | |
| 25 滋賀県 | | | 住民票照会を実施していない |
| 27 大阪府 | | | |
| 42 長崎県 | | | |
| 43 熊本県 | | | (住民票照会を実施していない) |

表 7 良性腫瘍、良悪不詳の含まれる部位 (付与している性状コード)

| 地域名 | 良性腫瘍、良悪不詳の含まれる部位 | 付与しているコード | コメント |
|--------|--------------------|---|------------|
| 4 宮城県 | 脳 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| 6 山形県 | 脳 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| 9 栃木県 | 脳 肝臓、腎臓、膵臓、肺、膀胱 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) 良性又は悪性の別不詳(性状/3) | (DCO 症例のみ) |
| 10 群馬県 | | | |
| 15 新潟県 | 脳 全部位 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| 18 福井県 | 脳 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| 25 滋賀県 | 脳 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| | 下垂体 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| | 脳髄幕 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| | 脊髄 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| 27 大阪府 | 脳 | 良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1) | |
| 42 長崎県 | | | |
| 43 熊本県 | (脳) | (良性(性状/0) 良性又は悪性の別不詳(性状/1)) | |

表 8 子宮頸部上皮内がん、乳房上皮内がん (付与している性状コード)

| 地域名 | 子宮頸部 上皮内がん | 付与している性状コード | 乳房上皮内がん | 付与している性状コード |
|--------|------------|-------------|---------|-------------|
| 4 宮城県 | 含まれる | 性状/2 | 含まれる | 性状/2 |
| 6 山形県 | 含まれる | 性状/2 | 含まれる | 性状/2 |
| 9 栃木県 | (含まれる) | (性状/2) | (含まれる) | (性状/2) |
| 10 群馬県 | (含まれる) | (性状/2) | (含まれる) | (性状/2) |
| 15 新潟県 | 含まれる | 性状/2 | 含まれる | 性状/2 |
| 18 福井県 | 含まれる | 性状/2 | 含まれる | 性状/2 |
| 25 滋賀県 | 含まれる | 性状/2 | 含まれる | 性状/2 |
| 27 大阪府 | 含まれない | | 含まれない | |
| 42 長崎県 | 含まれる | 性状/2 | 含まれる | 性状/2 |
| 43 熊本県 | (含まれる) | (性状/2) | (含まれる) | (性状/2) |

表 9 子宮頸部・乳房以外の上皮内がん（部位、付与している性状コード、コメント）

| 地域名 | 子宮頸部・乳房以外の上皮内がん | 部位 | 付与している性状コード | コメント |
|--------|-----------------|--|-------------|------|
| 4 宮城県 | 含まれる | 全部位 | 性状/2 | |
| 6 山形県 | 含まれる | 全部位 | 性状/2 | |
| 9 栃木県 | (含まれる) | (全部位) | (性状/2) | |
| 10 群馬県 | (含まれる) | (全部位) | (性状/2) | |
| 15 新潟県 | 含まれる | 口腔、喉頭、皮膚、女性性器、男性性器、泌尿器 | 性状/2 | |
| 18 福井県 | 含まれる | 全部位 | 性状/2 | |
| 25 滋賀県 | 含まれる | | | |
| 27 大阪府 | 含まれない | | | |
| 42 長崎県 | 含まれる | C02,C05,C06,C07,C08,C13,C15,C16,C17,C18,C19,C20,C21,C22,C23,C24,C25,C30,,C32,C34,C44,C51,C52,C54,C55,C57,C60,C61,C63,C65,C66,C67,C68,C69 | 性状/2 | |
| 43 熊本県 | (含まれる) | (全部位) | (性状/2) | |

表 10 剖検割合（コメント）

| 地域名 | 剖検割合 | コメント |
|--------|---------|-----------------------------------|
| 4 宮城県 | 不明 | |
| 6 山形県 | 不明 | |
| 9 栃木県 | (不明) | |
| 10 群馬県 | (不明) | |
| 15 新潟県 | 不明 | |
| 18 福井県 | 不明 | |
| 25 滋賀県 | 不明 | |
| 27 大阪府 | 不明 | |
| 42 長崎県 | 1.5 | 2008 年がん死亡:剖検(72)/がん死亡(4769)=1.5% |
| 43 熊本県 | (0.038) | |

表 11 DCO の場合の集計対象：I 欄にがん・がん疑いの記載のある例、I 欄に頭蓋内の良性腫瘍の記載のある例、I 欄に腫瘍の記載のある例（部位、コメント）

| 地域名 | I 欄にがん・がん疑いの記載のある例 | I 欄に頭蓋内の良性腫瘍の記載のある例 | I 欄に腫瘍の記載のある例 | 部位 | コメント |
|--------|--------------------|---------------------|---------------|----------------|------------|
| 4 宮城県 | 含まれる | 含まれる | 含まれる | | 性状/1 として含む |
| 6 山形県 | 含まれる | 含まれる | 含まれる | 脳、肝、膵、肺、腎、膀胱 | FS1 |
| 9 栃木県 | (含まれる) | (含まれる) | (含まれる) | (脳、肝、膵、肺、腎、膀胱) | (FS1) |
| 10 群馬県 | (含まれる) | (含まれる) | (含まれる) | (脳、肝、膵、肺、腎、膀胱) | (FS1) |
| 15 新潟県 | 含まれる | 含まれない | 含まれる | 脳、肝、膵、肺、腎、膀胱 | FS1 |
| 18 福井県 | 含まれる | 含まれる | 含まれる | | FS1 |
| 25 滋賀県 | 含まれる | 含まれる | 含まれる | 脳、肝、膵、肺、腎、膀胱 | FS1 |
| 27 大阪府 | 含まれない | 含まれない | 含まれない | | |
| 42 長崎県 | 含まれる | 含まれない | 含まれない | | |
| 43 熊本県 | (含まれる) | (含まれる) | (含まれる) | (脳、肝、膵、肺、腎、膀胱) | (FS1) |

※ FS1 は、標準 DBS 統計ファイルセット 1 のこと

表 12 DCO の場合の集計対象：I 欄以外にがん・脳腫瘍の記載のある例、I 欄以外に腫瘍・がん疑いの記載のある例（部位、コメント）

| | 地域名 | I 欄以外にがん・脳腫瘍の記載のある例 | 部位 | コメント | I 欄以外に腫瘍・がん疑いの記載のある例 | 部位 | コメント |
|----|-----|---------------------|----|-------|----------------------|----|------------------------|
| 4 | 宮城県 | 含まれる | | | 含まれる | | 腫瘍は性状/1、がん疑いは性状/3として含む |
| 6 | 山形県 | 含まれる | | FS1 | 含まれない | | FS1 |
| 9 | 栃木県 | (含まれる) | | (FS1) | (含まれない) | | (FS1) |
| 10 | 群馬県 | (含まれる) | | (FS1) | (含まれない) | | (FS1) |
| 15 | 新潟県 | 含まれる | | FS1 | 含まれない | | FS1 |
| 18 | 福井県 | 含まれる | | FS1 | 含まれない | | FS1 |
| 25 | 滋賀県 | 含まれる | | FS1 | 含まれない | | FS1 |
| 27 | 大阪府 | 含まれない | | | 含まれない | | |
| 42 | 長崎県 | 含まれる | | | 含まれない | | |
| 43 | 熊本県 | (含まれる) | | (FS1) | (含まれない) | | (FS1) |

※ FS1 は、標準 DBS 統計ファイルセット 1 のこと

表 13 黒色腫以外の皮膚がん、大腸粘膜がん（性状、臨床進行度、コメント）

| | 地域名 | 黒色腫以外の皮膚がん | 大腸粘膜がん：性状 | 大腸粘膜がん：臨床進行度 | コメント |
|----|-----|------------|-----------|--------------|--|
| 4 | 宮城県 | 含まれる | 性状/2 | 上皮内がん | |
| 6 | 山形県 | 含まれる | 性状/2 | 上皮内がん | |
| 9 | 栃木県 | (含まれる) | (性状/2) | (上皮内がん) | |
| 10 | 群馬県 | (含まれる) | (性状/2) | (上皮内がん) | |
| 15 | 新潟県 | 含まれる | 性状/2、性状/3 | 上皮内がん、限局 | 標準 DBS にて入力したものは性状 2 進行度 1 移行データは性状 3 進行度 2 |
| 18 | 福井県 | 含まれる | 性状/2 | 上皮内がん | |
| 25 | 滋賀県 | 含まれる | 性状/2 | 上皮内がん | |
| 27 | 大阪府 | 含まれる | 性状/2 | 上皮内がん | |
| 42 | 長崎県 | 含まれる | 性状/2 | 上皮内がん | |
| 43 | 熊本県 | (含まれる) | (性状/2) | (上皮内がん) | |

表 14 多重がん：1 腫瘍 1 登録か、多重がんの定義、独自の規定とは

| | 地域名 | 多重がん：1 腫瘍 1 登録か | 多重がんの定義 | 独自の規定とは |
|----|-----|-----------------|------------|---------|
| 4 | 宮城県 | はい | IACR に準拠 | |
| 6 | 山形県 | はい | IACR に準拠 | |
| 9 | 栃木県 | (はい) | (IACR に準拠) | |
| 10 | 群馬県 | (はい) | (IACR に準拠) | |
| 15 | 新潟県 | はい | IACR に準拠 | |
| 18 | 福井県 | はい | IACR に準拠 | |
| 25 | 滋賀県 | はい | SEER に準拠 | |
| 27 | 大阪府 | はい | IACR に準拠 | |
| 42 | 長崎県 | はい | IACR に準拠 | |
| 43 | 熊本県 | (はい) | (IACR に準拠) | |

表 15 疑診、外国人居住者、発見経緯「検診」の情報源

| | 地域名 | 疑診 | コメント | 外国人居住者 | 発見経緯「検診」の情報源 |
|----|-----|--------------|---------------------------|--------|--|
| 4 | 宮城県 | 含まれない | | 含まれる | 医療機関および検診機関からの届出 |
| 6 | 山形県 | 含まれる(条件つき) | 死亡票によるが んの記載裏付 けがある | 含まれる | ・医療機関からの届出 ・胃、大腸、肺、乳がん検診発見患者リスト |
| 9 | 栃木県 | (含まれない) | | (含まれる) | (医療機関からの届出) |
| 10 | 群馬県 | (含まれる(条件なし)) | | (含まれる) | (医療機関および検診機関からの届出) |
| 15 | 新潟県 | 含まれない | | 含まれる | 医療機関からの届出および 県全体の検診情報を集計している新潟県 健康づくり財団よりの情報 |
| 18 | 福井県 | 含まれない | | 含まれる | 医療機関からの届出 |
| 25 | 滋賀県 | 含まれない | | 含まれる | 医療機関からの届出 |
| 27 | 大阪府 | 含まれない | | 含まれる | 医療機関および検診機関からの届出 |
| 42 | 長崎県 | 含まれない | | 含まれる | 医療機関および検診機関からの届出 |
| 43 | 熊本県 | (含まれる(条件つき)) | 死亡票によるが んの記載裏付 けがある | (含まれる) | (医療機関および検診機関からの届出) |

表 16 生存確認調査の方法、提出データについて（標準 DBS および論理チェック）

| | 地域名 | 生存確認調査の方法 | 提出データは標 準 DBS からの 出力か | 提出データは 論理チェックに かけたか |
|----|-----|--|-----------------------------|---------------------------|
| 4 | 宮城県 | 1993-2007 年非がん死亡との照合 | いいえ | はい |
| 6 | 山形県 | 1993-2006 年住民票照会 | はい | はい |
| 9 | 栃木県 | (2004-2011 年非がん死亡との照合、2004-2006 年住民票照会) | (はい) | (はい) |
| 10 | 群馬県 | (2003-2008 年非がん死亡との照合) | (はい) | (はい) |
| 15 | 新潟県 | 非がん死亡との照合 | はい | はい |
| 18 | 福井県 | 1993-2005 年非がん死亡との照合と住民票照会 | はい | はい |
| 25 | 滋賀県 | 1993-2002 年人口動態テーブルとの照合結果を元に、各保健所で全死亡 と照合 2003-2010 年 非がん死亡との照合 | はい | はい |
| 27 | 大阪府 | 2003-2005 年住民票または住基ネット照会 | はい | はい |
| 42 | 長崎県 | 長崎県内全死亡情報との照合(①1993-2008 年)、住民票照会一部試 行(初診より 5 年経過、領域及び遠隔転移)(②1999-2003 年)、住民票 照会(初診より 5 年経過)(③2004-2005 年) | いいえ | はい |
| 43 | 熊本県 | (非がん死亡との照合) | (はい) | (はい) |

品質管理と集計方法

コーディングと品質管理用腫瘍部位分類

各県から提出いただいた罹患データにおいて、p.13の表4にまとめられているように、地域の状況に応じてICD-10、ICD-O-2など様々なコーディングがされている。これを、同一の品質管理プログラムによって処理するために、MCIJ事務局において部位、組織ともICD-O-3に変換した。コード変換は、IARCの変換テーブルに基づく[12]。以下、その手順を説明する。なお、ICD-O-3として提出されているコードには、品質管理のための変換作業をしていない。

- 1 ICD-10とICD-O2Mの組合せから、ICD-O3TとICD-O3Mに変換
 - 1.1 ICD-10からO3TとO3M (10) (6桁) への変換
 - ICD-10→O3TM変換表を用いて、ICD-10に対応するO3TとO3M (10) を取得する
 - ICD-10→O3TM変換表にICD-10が存在しない場合は、O3TとO3M (10) ともにnullとする
 - O3Tがnullの場合で、ICD-10がO3Tに存在する場合、ICD-10をO3Tとして設定する
 - 1.2 O2MからO3M (O2M) (6桁) への変換
 - ICD-O2M (6桁) を、O2M形態 (前4桁)、O2M性状 (5桁目)、O2M形態 (6桁目) に分解する。ICD-O2Mが5桁のみの場合は、O2M形態 (6桁目) に9を入れる
- O2M性状が6の場合は、O2M性状を3に変換する
- O2M形態+O2M性状の組合せ (5桁) から、O2M→O3M変換表を参照して、対応するO3M (O2M) 性状 (5桁) を取得する
- O2M→O3M変換表に、O2M形態+O2M性状の組合せ (5桁) が存在しない場合は、O3M (O2M) をnullとする
- O3M (O2M) 性状 (5桁) が取得できた場合は、O3M (O2M) 性状 (5桁) + O2M形態 (6桁目) をO3M (O2M) とする
- O3M (O2M) 性状 (5桁) が取得できずnullとなった場合、ICD-O2MをO3M (O2M) とする
- 1.3 O3Mの設定
 - O3M (10) とO3M (O2M) のいずれもnull以外では、O3M (O2M) を設定する
 - O3M (10) とO3M (O2M) のどちらかがnullの場合、取得できたO3Mを設定する
- 1.4 O3TとO3Mの組合せ変換
 - O3TとO3Mとの組合せが存在する場合は、O3Mの前5桁を組合せ変換により、O3Mに変換する
- 1.5 ICD変換エラーの設定
 - O3TとO3Mのどちらか、あるいは、両者がnullの場合は、ICD変換エラーとする

品質管理と集計対象

提出罹患データの第3期モニタリング14項目につき、変換したICD-O-3T、ICD-O-3Mを含めた全項目に品質管理（論理チェック）を実施し、その結果を各県に返却して、必要に応じて修正を依頼した。チェック項目を表17に示す。エラーに該当した症例は、提出罹患データの矛盾、誤りを意味し、警告に該当した場合は、罹患データとして稀な例を意味する。

品質管理のチェック項目に該当した件数の割合は全体の1.8%（警告1.8%）であった（表18）。

各県との修正依頼のやり取りの後、最終的にエラー件数は0となった。

集計のためにICD-O-3T、ICD-O-3Mに基づき、IARCの変換テーブルを再度利用して、原発部位をICD-10に変換した。これは、

ICD-10でコードされているがん死亡統計と比較するためであり、部位別のIM比等の数値もこの作業によって算出が可能となる。コード変換の後に、生存率集計を実施するとともに、各県別、部位別に集計した。集計における部位分類は表19のとおりで、ICD-10コードと対応している。

この部位分類は、標準DBSより出力される標準集計表に準拠しているが、国立がん研究センターがん対策情報センターにおいて公開されている集計表と異なる。具体的な相違は、前者の「全部位（上皮内がん含む）」はC00-C96およびD00-D09に対応するが、後者ではC00-C96およびD05-D06であること、前者は大腸がんはC21を含まないが、後者には含むことが追加されていることの2点が挙げられる。

表 17 品質管理項目

| 番号 | 項目名 | チェック内容 | 判定 |
|---------|---------------------|--|-----------------------|
| 単項目チェック | | | |
| 1 | 索引番号 | 索引番号が null ではないこと 索引番号が半角数字であること | E E |
| 2 | 多重がんの有無 | 多重がん有無が null ではないこと 多重がん有無が半角数字であること 多重がん有無が存在するコードであること | E E E |
| 3 | 性別 | 性別が null ではないこと 性別が半角数字であること 性別が存在するコードであること | E E E |
| 4 | 生年月 | 生年月が null ではないこと 生年月が半角数字であること | E E |
| | 生年月の生年 | 生年が、“罹患調査年-125<=生年<=罹患調査年”であること | E |
| | 生年月の生月 | 生月が、“01-12”または“99”であること | W |
| 5 | 診断年月 | 診断年月が null ではないこと 診断年月が半角数字であること | E E |
| | 診断年 | 診断年が、“1993-罹患調査年”であること | W |
| | 診断月 | 診断月が、“01-12”または“99”であること | W |
| 6 | 死亡年月 | 死亡年月が半角数字またはブランクであること | E |
| | 死亡年 | 死亡年が、“1993-作業年”、または、ブランクであること | E |
| | 死亡月 | 死亡月が、“01-12” “99”、または、ブランクであること | W |
| 7 | ICD-O-3 原発部位コード | 原発部位コードが null ではないこと 原発部位コードが半角英数字であること 原発部位コードが存在するコードであること | E E E |
| 8 | ICD-O-3 組織コード | 組織コードが null ではないこと 組織コードが半角数字であること | E E |
| | ICD-O-3 組織 4 桁 | ICD-O-3 組織 4 桁は存在するコードであること | E |
| | ICD-O-3 性状コード | ICD-O-3 性状コードが存在するコードであること | E |
| | ICD-O-3 分化度コード | ICD-O-3 分化度コードが存在するコードであること | E |
| | ICD-O-3 組織 5 桁 | 組織型(4 桁)と性状(5 桁目)の組合せが存在するものであること | E |
| | ICD-O-3 性状コード | ICD-O-3 性状コードが“0” “1” “6” “9” の場合、CHECK | W |
| 9 | 診断根拠 | 診断根拠が null ではないこと 診断根拠が半角数字であること 診断根拠が存在するコードであること | E E E |
| 10 | DCN 区分 | DCN 区分が null ではないこと DCN 区分が半角数字であること DCN 区分が存在するコードであること | E E E |
| 11 | DCO 区分 | DCO 区分が null ではないこと DCO 区分が半角数字であること DCO 区分が存在するコードであること | E E E |
| 12 | 臨床進行度 | 臨床進行度が null ではないこと 臨床進行度が半角数字であること 臨床進行度が存在するコードであること | E E E |
| 13 | 発見経緯 | 発見経緯が null ではないこと 発見経緯が半角数字であること 発見経緯が存在するコードであること | E E E |
| 14 | 最終生存確認年月 | 最終生存確認年月が半角数字またはブランクであること | E |
| | 最終生存確認年 | 最終生存確認年が、“1993-作業年”、または、ブランクであること | E |
| | 最終生存確認月 | 最終生存確認月が、“01-12” “99”、または、ブランクであること | W |
| その他 | 作業用年齢 | 作業用年齢が >=0 かつ <=125 または、ブランクであること | E |
| | 生年月の生年と生月 | 生年が不明(9999)の場合、生月も不明(99) | E |
| 8と12 | ICD-O-3 性状コードと臨床進行度 | 臨床進行度が1(上皮内がん)のとき、性状コードは2(上皮内がん) 進行度2(限局)の時、性状コードは0(良性)、1(良性又は悪性の別不詳)、3(悪性、原発部位) 進行度3(領域)または4(遠隔転移)の時、性状コードは3(悪性、原発部位) 性状コード2(上皮内がん)の時、進行度1(上皮内がん) 性状コード3(悪性、原発部位)の時、進行度>1 性状コード0または1の時、進行度2、8(再発、DCO)または9(不明、情報なし) | W W W W W |

| 項目間チェック | | | |
|--|----------------|---|---|
| 4と5 | 生年月と診断年月 | 診断年月が生年月以降であること（どちらか一方が空欄であるとき、本チェック項目は省略する） | E |
| 4と6 | 生年月と死亡年月 | 死亡年月が生年月以降であること（どちらか一方が空欄であるとき、本チェック項目は省略する） | E |
| 5と6 | 診断年月と死亡年月 | 死亡年月が診断日以降であること（どちらか一方が空欄であるときは、本チェック項目は省略する） | E |
| 10と11 | DCN 区分と DCO 区分 | DCO = "1" のとき、DCN = "2" は、ありえない | E |
| 4と14 | 生年月と最終生存確認年月 | 最終生存確認年月は生年月以降であること(生年月<=最終生存確認年月) | E |
| 5と14 | 診断年月と最終生存確認年月 | 最終生存確認年月は診断年月以降であること(診断年月<=最終生存確認年月) | E |
| 6と14 | 死亡年月と最終生存確認年月 | 最終生存確認年月は死亡日以前であること(最終生存確認年月<死亡年月) | E |
| 3と7 | 性別と原発部位コード | 男性臓器では、性別は男性 | E |
| | | 女性臓器では、性別は女性 | E |
| 3と8 | 性別と組織コード | 男性組織では、性別は男性 | W |
| | | 女性組織では、性別は女性 | W |
| 8と9 | 組織コードと診断根拠 | 病理学的裏付けが必要な組織型で、診断の根拠が「病理学的裏付けなし、あるいは有無不詳」 | W |
| その他 | 原発部位コードと作業用年齢 | O3T から、O3T コードファイルを参照して得た開始年齢と終了年齢の間に、作業用年齢が含まれる | W |
| | 作業用年齢と組織コード | O3M から、O3M コードファイルを参照して得た開始年齢と終了年齢の間に、作業用年齢が含まれる | W |
| | ICD-O-3 変換結果 | ICD-O3 変換エラーがないこと | E |
| | ICD-10 変換結果 | ICD-O3T と ICD-O3M の組合せから ICD-O-3 組合せファイルを参照して得た組合せ区分(エラー) | E |
| ICD-O3T と ICD-O3M の組合せから ICD-O-3 組合せファイルを参照して得た組合せ区分(警告) | | W | |

判定：E=エラー、W=警告

表 18 品質管理結果 (MCIJ2008 時点、初回および最終)

| 県名 | 品質管理結果(1回目) | | | | | 品質管理結果(2回目-3回目) | | | | |
|-------|-------------|-----------|--------|--------|------|-----------------|-----------|--------|--------|------|
| | 総数 | チェック通過 | 該当 | 内警告 | 内エラー | 総数 | チェック通過 | 該当 | 内警告 | 内エラー |
| 宮城県*1 | 179,286 | 179,286 | 6,582 | 6,581 | 1 | 179,286 | 172,704 | 6,582 | 6,582 | 0 |
| 山形県 | 115,122 | 113,605 | 1,517 | 1,517 | 0 | 115,122 | 113,605 | 1,517 | 1,517 | 0 |
| 栃木県 | 60,333 | 56,953 | 3,380 | 3,380 | 0 | 60,333 | 56,953 | 3,380 | 3,380 | 0 |
| 群馬県 | 58,118 | 57,488 | 630 | 630 | 0 | 58,112 | 57,492 | 620 | 620 | 0 |
| 新潟県 | 211,151 | 207,615 | 3,536 | 3,536 | 0 | 211,151 | 207,615 | 3,536 | 3,536 | 0 |
| 福井県 | 67,415 | 66,415 | 1,000 | 1,000 | 0 | 67,415 | 66,418 | 997 | 997 | 0 |
| 滋賀県 | 83,079 | 81,720 | 1,359 | 1,359 | 0 | 83,079 | 81,720 | 1,359 | 1,359 | 0 |
| 大阪府*2 | 90,184 | 89,654 | 530 | 530 | 0 | 90,184 | 89,654 | 530 | 530 | 0 |
| 長崎県 | 145,867 | 145,264 | 603 | 597 | 6 | 145,867 | 145,268 | 599 | 599 | 0 |
| 熊本県 | 140,100 | 137,967 | 2,133 | 2,133 | 0 | 140,100 | 137,967 | 2,133 | 2,133 | 0 |
| 合計 | 1,150,655 | 1,135,967 | 21,270 | 21,263 | 7 | 1,150,649 | 1,129,396 | 21,253 | 21,253 | 0 |

*1 MCIJ2008 不参加、宮城は 1993-2007 データを個別に提出。

*2 MCIJ2008 不参加、大阪は 2003-2005 データを個別に提出。

表 19 集計用部位分類コード対応（表 23-30 および地域別集計表）

| 部位名 | ICD-10 コード* |
|------------|--------------|
| 全部位 | C00-C96 |
| 口腔・咽頭 | C00-C14 |
| 食道 | C15 |
| 胃 | C16 |
| 大腸(結腸・直腸) | C18-C20 |
| 結腸 | C18 |
| 直腸 | C19-C20 |
| 肝および肝内胆管 | C22 |
| 胆のう・胆管 | C23-C24 |
| 膵臓 | C25 |
| 喉頭 | C32 |
| 肺 | C33-C34 |
| 皮膚 *1 | C43-C44 |
| 乳房 | C50 |
| 子宮 | C53-C55 |
| 子宮頸部 | C53 |
| 子宮体部 | C54 |
| 卵巣 | C56 |
| 前立腺 | C61 |
| 膀胱 | C67 |
| 腎・尿路(膀胱除く) | C64-C66, C68 |
| 脳・中枢神経系 | C70-C72 |
| 甲状腺 | C73 |
| 悪性リンパ腫 | C81-C85, C96 |
| 多発性骨髄腫 | C88, C90 |
| 白血病 | C91-C95 |

*1 悪性黒色腫を含む

集計対象

- (1) 罹患数・率の集計対象の内、次のアからエを除くものを生存率の集計対象（解析対象1）とした。
 - (ア) 死亡情報のみで登録された患者（Death Certificate, Only DCO）。具体的には、第3期モニタリング項目におけるdco_j=1となるもの及びextent=8となるもの。（目標モニタリング項目において、集計対象となる場合にはp.9の記述にあるように、提出データを修正し、extent=9として集計に加えている。）
 - (イ) 悪性以外、大腸の粘膜がんを含む上皮内がん。具体的には、第3期モニタリング項目におけるicdomの5桁目が2となるものに加え、extentにおいて1となるもの。
 - (ウ) 多重がんのあるケースでは第2がん以降。具体的には、第3期モニタリング項目におけるseq_no=1以外となるもの。（目標モニタリング項目において、集計対象となる場合にはp.9の記述にあるように、提出データを修正し、seq_no=2として集計に加えている。）
 - (エ) 年齢不詳および100歳以上の症例
- (2) 更に、解析対象1から「がん死亡情報からの遡り調査による登録」を除外して解析対象2とした。^{*1} 具体的には、第3期モニタリング項目においてdcn=1かつdco_j=2となるもの（（1）（ア）においてDCO症例は既削除）。

生存率算出方法

- (1) 診断日を起点とした実測生存率を、Kaplan-Meier 法を用いて計算した。^{*2} 最終生存確認年月には、生存確認調査を実施している住民票照会を実施している地域については、住民票照会の結果に基づく日付を利用し、住民票照会以外で生存確認調査を実施している地域では、各地域より全死亡との照合対象年月として報告された日付を一律代入して利用した。よって、住民票照会を実施しない場合には、死亡情報がなかった症例は、全員 5 年生存とみなされる。
- (2) 対象がんによる生命損失の大きさをみるために、実測生存率を、対象とするがん患者と同じ性、年齢、出生年の一般集団の生存確率から計算した期待生存率で除した相対生存率を計測した。
- (3) 期待生存率は、0.5 歳分加算した cohort 生存率表に基づき、Ederer II 法を用いて計算した。^{*3*4} 期待生存確率は、国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部が、簡易生命表を用いて毎年計算している cohort 生存率表を用いた（<http://ganjoho.jp/professional/statistics/cohort01.html>）。

^{*1} 欧州の生存率協同調査である EURO CARE study においては、解析対象1（がん死亡情報からの遡り調査による登録を含む）を集計対象とすることが生存率計測の標準方式とされる。しかし、我が国においては、DCO割合が欧米に比して高く、

医療機関からの届出がないために登録漏れとなった生存患者が多数存在することが示唆される。がん死亡情報からの遡り調査による登録を集計対象に含めると、集計対象者が死亡例に偏り、生存率を実際より低く見積もる可能性がある。また、我が国では、遡り調査を実施していない登録室も多いため、解析対象1を標準方式として採用すると、生存率の都道府県別比較が困難となる。これらの理由により、解析対象2を我が国の標準方式と定めることとした[13, 14]。

*2 地域がん登録では、従来、生命保険数理法を用いることが多かった。これは集計対象者数が多いこと（一般に、対象者が30-50例以上では生命保険数理法、それより少ない場合はKaplan-Meier法と言われている）、およびKaplan-Meier法の計算方法が煩雑であったことに因る。しかし、最近では、コンピュータを用いてKaplan-Meier法で容易に計算することが可能になったこと、Kaplan-Meier法では生命保険数理法での仮定（観察打ち切り例はその期間の中央まで観察したと仮定して計算する）が不要であるため、より精度が高いこと、などから、地域がん登録でもKaplan-Meier法を用いるべきであると考えられている。なお生命保険数理法では、前述した仮定のため、各観察期間当初の対象者数が10名以下となった時点で、それ以降の生存率を計測すべきではない。

*3 これは、がんの診断時に例えば60歳であった患者は、正確に60歳ではなく、60.5歳に近いという考え方に因る。

*4 期待生存率の計算方法として、Ederer I法、Ederer II法、およびHakulinen法がある。Ederer I法は、観察開始時点における患者の性、年齢分布を固定して、一定期間後（例えば5年後）の期待生存率を計算する方法であり、我が国の地域がん登録では、かつてこの方法を用いていた。しかし、観察期間が長くなると、患者の性、年齢分布は、観察開始時点におけるそれと異なってくる。通常は、若年者より高齢者の方が、死亡確率が高いため、観察期間が長くなるにつれ、対象者に占める若年者の割合が多くなる。従って、観察開始時点での分布を用いて数年後の期待生存率を計算すると、期待生存率を低く見積もることになり、相対生存率を過大評価することになる。この欠点を補う方法が、Ederer II法である。Ederer II法は、それぞれの観察期間（例えば1年単位）の開始時点での性、年齢分布を用いてそれぞれの期間別の生存確率を求め、それを累積することにより期待生存率を求める方法である。標準方式では、この方法を用いることとする。なお、Hakulinen法は、更にそれぞれの期間の死亡率、打ち切り率をも考慮する方法であり、EUROCARE studyではこの方法が採用されている[15]。

全国生存率集計値

全国生存率集計値

提出データ

表20に、7県の罹患数、登録精度、生存率集計対象者数を示した。罹患数の総計は282,346件であった。そのうち、死亡情報のみの登録（DCO）30,891件、第2がん以降26,914件、悪性腫瘍以外9,041件、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）10,990件、年齢不詳および100歳以上を除外して、解析対象1とした。これらの除外基準は、症例によっては重複して当てはまるものがある。

更に、解析対象1から「がん死亡情報からの遡り調査による登録」22,767件を除外して解析対象2とした。この結果、解析対象1は213,171件（2003-05年累積罹患数の75.5%）。解析対象2は190,404件（同67.4%）であった。

生存確認調査の方法と精度

表21に、解析対象2について、診断から5年後の予後状況を診断年別に示した。

5年後の予後不詳割合は2.1%であった。7県合計の生存割合は51.3%となった。

住民票照会無しの3県（宮城、新潟、滋賀）では、住民票照会の4県（山形、福井、大阪、長崎）に比べて死亡割合が若干低く、死亡の把握漏れによって「生存」に含まれる死亡者の存在が示唆された。

部位別生存率

表22および表23に、解析対象1および2について、部位別の対象者数、5年相対生存率、および標準誤差を、性別、診断年別

に示した。

全部位男女計の2003-05年診断の5年相対生存率は、解析対象1では52.7%、解析対象2では58.6%となり、集計対象によって大きな差異のあることが明らかとなった。

解析対象2を観察すると、全部位において男性が55.4%、女性が62.9%であり、女性の5年生存率の方が7.5ポイント高い。部位別の観察では、男性では前立腺93.8%から膵臓7.1%に分布した。女性では、甲状腺93.7%から膵臓6.9%の分布となった。

図1に、解析対象2について、2003-05年の部位別5年相対生存率が高い順に示した。男性では5年相対生存率が比較的高い群（70-100%）には、前立腺、皮膚、甲状腺、膀胱、喉頭、結腸が分類された。中程度の群（40-69%）には、直腸、腎・尿路（膀胱除く）、胃、悪性リンパ腫、口腔・咽頭が含まれた。生存率が低い群（0-39%）に属する部位は、白血病、多発性骨髄腫、食道、脳・中枢神経系、肝および肝内胆管、肺、胆のう・胆管、膵臓であった。女性では5年相対生存率が比較的高い群（70-100%）には、甲状腺、皮膚、乳房、子宮体部、喉頭、子宮頸部が分類された。中程度の群（40-69%）には、結腸、直腸、膀胱、腎・尿路（膀胱除く）、悪性リンパ腫、胃、口腔・咽頭、卵巣、食道、肺、白血病が含まれた。生存率が低い群（0-39%）に属する部位は、脳・中枢神経系、多発性骨髄腫、肝および肝内胆管、胆のう・胆管、

膵臓であった。

臨床進行度別生存率

表 24 および表 25 に、解析対象 1 および 2 について、診断時の臨床進行度分布を示した。悪性リンパ腫を除く血液のがんについては、臨床進行度分類が意味を持たず、また県によってコーディング方法がまちまちであることから、今回の集計においては、臨床進行度別生存率を表示していない。

解析対象 2 を観察すると、全部位において限局が 42.6%、領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)が 25.9%、遠隔が 16.9%であり、臨床進行度不明が 14.7%あった。図 2 に、解析対象 2 について、限局の割合が多い順に示した。

臨床進行度不明が多い部位を除き、限局割合が比較的高い群には、皮膚、膀胱、喉頭、子宮体部、乳房などが分類され、逆に診断時に既に進行している部位としては、口腔・咽頭、甲状腺、卵巣、食道、胆のう・胆管、肺、膵臓などが挙げられた。

表 26 および表 27 に、解析対象 1 および 2 について、臨床進行度別 5 年相対生存率と標準誤差を示した。

解析対象 2 を観察すると、全部位において限局の 5 年相対生存率は 88.9%、領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)が 49.4%、遠隔が 11.8%であった。

図 3 に、解析対象 2 について、臨床進行度別の 5 年相対生存率を示した。一様に臨床進行度が高くなるにつれ、生存率が低下している様子が観察された。

年齢階級別生存率

表 28 および表 29 に、解析対象 1 および

2 について、性別年齢階級別(15 歳以上) 5 年相対生存率と標準誤差を示した。

全部位においては、年齢階級を追うごとに生存率は低くなり、年齢階級による生存率の差は、男性で 20.4 ポイント、女性で 34.5 ポイントと、女性の方が大きかった。

主要部位でみると、年齢階級による生存率の差は男性では結腸で小さく(6.2 ポイント)、前立腺で大きく(20.7 ポイント)、女性では乳房で小さく(2.2 ポイント)、子宮頸部で大きかった(38.3 ポイント)。

図 4 に、解析対象 2 の男性について、図 5 に、解析対象 2 の女性について、年齢階級別の 5 年相対生存率を示した。先に述べたとおり概ね、加齢とともに生存率が低くなる傾向が観察されたが、男性では食道及び喉頭(若年者、高齢者において生存率が低い)、皮膚(一様)、前立腺(若年者のみ低い)、女性では食道(若年者、高齢者において生存率が低い)、胃及び結腸(高齢者のみ低い)、肺(高齢者において生存率が低い)、皮膚及び乳房(一様)のように、年齢と生存率との相関がはっきりと見られない部位も存在した。

全国集計値における問題点

全国集計値利用地域の 7 地域の DCO 割合は、欧米諸国に迫り、10.9%であった。がん死亡からの遡り調査による登録を集計対象に含めるか否かによる生存率の違いは、男女計全部位で 5.9 ポイント(52.7%と 58.6%)に及んだ。我が国では遡り調査を実施していない地域も多く、生存率の比較を容易とするために、遡り調査登録を含まない解析対象 2 を我が国の標準方式と定めた。しかし、国際ルールでは、遡り調査登

録を含む登録対象 1 が標準である。信頼性の高いがん患者の生存率を整備し、国内外で比較するためには、継続した精度向上の努力と、生存確認調査実施地域の拡大が必要である。

生存確認調査方法についても課題が残り、集計対象基準に、住民票照会か全死亡情報との照会としたものの、両グループの差は顕著であった。死亡割合を見ると、住民票照会ありの 4 県（解析対象 2、42.6-50.5%）に比べて、住民票照会無しの 3 県（解析対象 2、43.1-48.4%）が若干低く、全死亡情報との照会においても、照合漏れのために生存扱いとなる可能性が示唆された。

臨床進行度別の集計結果では、主要部位においても、部位によっては不明の割合が 20%を超えるようなものもある（肝および肝および肝内胆管、前立腺）。また、我が国の標準方式においては、悪性リンパ腫以外の血液疾患は、臨床進行度のコード対象外とし、登録作業においても空欄とすることを推奨しているが、米国の SEER のルールでは、白血病の臨床進行度を「遠隔転移」にする、としており、このルールと同様に

遠隔転移とコードしている地域も存在する。

こうした部位と他部位との比較は控えることが望ましく、あくまで不明割合が少ない部位において、診断時の進行度の印象を捉える程度にとどまっている。また、「全部位」の数値に、標準化途上の部位の臨床進行度分布が多少なりとも影響を与えていることは否めない。

これらの背景から、本報告書に掲載されている 5 年相対生存率の精度には限界があり、県間の比較、部位間の比較等を厳密に実施するには、生存確認調査の方法の統一を含めて更に標準化と精度向上の推進が必要となる。

また、様々な集計システムを利用している地域からの罹患データ提出に対応できるよう、国立がん研究センターがんサーベイランスシステムでは、第 3 期モニタリング項目のみに基づいて（一部目標モニタリング項目を用いて修正）集計対象のデータを抽出しており、標準 DBS によって出力された集計表の数値とは必ずしも一致しない。

表 20 罹患者数、登録精度、生存率集計対象者数 —2003-05 年—

| 登録 | 罹患者数 | | DCO | | 第2がん | | 悪性以外 | | 上皮内がん | | 解析対象1 | | 遡り調査患者 | | 解析対象2 | | |
|------|---------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|------|
| | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*2 | N | %*1 | |
| 宮城県 | 41,484 | 7.0 | 2,917 | 14.3 | 3,072 | 7.4 | 5,949 | 14.3 | 3,072 | 7.4 | 30,313 | 73.1 | 1,283 | 4.2 | 29,030 | 70.0 | |
| 山形県 | 23,200 | 9.4 | 2,190 | 10.1 | 934 | 4.0 | 2,342 | 10.1 | 934 | 4.0 | 18,160 | 78.3 | 2,939 | 16.2 | 15,221 | 65.6 | |
| 新潟県 | 42,523 | 16.4 | 6,965 | 16.4 | 648 | 1.5 | 3,066 | 7.2 | 648 | 1.5 | 31,865 | 74.9 | 0 | 0.0 | 31,865 | 74.9 | |
| 福井県 | 13,559 | 451 | 3.3 | 1,255 | 9.3 | 511 | 3.8 | 1,255 | 9.3 | 511 | 3.8 | 11,457 | 84.5 | 1,582 | 13.8 | 9,875 | 72.8 |
| 滋賀県 | 18,101 | 2,436 | 13.5 | 1,040 | 5.7 | 993 | 5.5 | 1,040 | 5.7 | 993 | 5.5 | 13,771 | 76.1 | 1,758 | 12.8 | 12,013 | 66.4 |
| 大阪府 | 115,219 | 13,613 | 11.8 | 9,394 | 8.2 | 1,059 | 0.9 | 9,394 | 8.2 | 1,059 | 0.9 | 86,771 | 75.3 | 15,205 | 17.5 | 71,566 | 62.1 |
| 長崎県 | 28,260 | 2,319 | 8.2 | 3,868 | 13.7 | 1,824 | 6.5 | 3,868 | 13.7 | 1,824 | 6.5 | 20,834 | 73.7 | 0 | 0.0 | 20,834 | 73.7 |
| 7登録計 | 282,346 | 30,891 | 10.9 | 26,914 | 9.5 | 9,041 | 3.2 | 26,914 | 9.5 | 9,041 | 3.2 | 213,171 | 75.5 | 22,767 | 10.7 | 190,404 | 67.4 |

DCO：死亡情報のみで登録された患者
 第2がん：対象部位が第2がん以降（先行がんあり）
 解析対象1：DCO、第2がん以降、悪性以外、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）、年齢不詳および100歳以上を除外
 遡り調査患者：がん死亡からの確認調査で登録された患者
 解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外
 *1 全数に占める割合 *2 解析対象1に占める割合

表 21 診断から5年後の予後状況 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 登録 | 対象者 | 死亡 | | 生存 | | 不詳 | | 不詳を除く 生存割合% |
|-------|---------|--------|------|--------|------|-------|-----|----------------|
| | | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | |
| 山形県 | 15,221 | 6,490 | 42.6 | 8,586 | 56.4 | 145 | 1.0 | 57.0 |
| 福井県 | 9,875 | 4,592 | 46.5 | 5,076 | 51.4 | 207 | 2.1 | 52.5 |
| 大阪府 | 71,566 | 35,607 | 49.8 | 32,550 | 45.5 | 3,409 | 4.8 | 47.8 |
| 長崎県*2 | 20,834 | 10,526 | 50.5 | 10,131 | 48.6 | 177 | 0.8 | 49.0 |
| 宮城県 | 29,030 | 12,512 | 43.1 | 16,518 | 56.9 | - | - | - |
| 新潟県 | 31,865 | 15,432 | 48.4 | 16,433 | 51.6 | - | - | - |
| 滋賀県 | 12,013 | 5,670 | 47.2 | 6,343 | 52.8 | - | - | - |
| 7登録計 | 190,404 | 90,829 | 47.7 | 95,637 | 50.2 | 3,938 | 2.1 | 51.3 |

解析対象2：解析対象1から廻り調査患者を除外

*1：対象者に占める割合

*2：2003年は領域および遠隔転移の症例のみ、2004年、2005年は全症例に住民票照会実施

表 22 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象1—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|---------|-------|-----|--------|-------|-----|---------|-------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 | | 対象者 | 相対生存率 | | 対象者 | 相対生存率 | |
| | | % | SE | | % | SE | | % | SE |
| 全部位 | 122,935 | 49.5 | 0.2 | 90,236 | 56.9 | 0.2 | 213,171 | 52.7 | 0.1 |
| 口腔・咽頭 | 2,589 | 47.1 | 1.1 | 1,144 | 56.2 | 1.7 | 3,733 | 49.9 | 0.9 |
| 食道 | 5,234 | 29.1 | 0.7 | 973 | 36.9 | 1.7 | 6,207 | 30.4 | 0.6 |
| 胃 | 27,039 | 58.6 | 0.4 | 13,084 | 55.9 | 0.5 | 40,123 | 57.7 | 0.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 19,228 | 65.0 | 0.4 | 15,217 | 62.1 | 0.5 | 34,445 | 63.7 | 0.3 |
| 結腸 | 11,679 | 66.6 | 0.6 | 10,781 | 61.8 | 0.5 | 22,460 | 64.3 | 0.4 |
| 直腸 | 7,549 | 62.6 | 0.7 | 4,436 | 62.9 | 0.8 | 11,985 | 62.7 | 0.5 |
| 肝および肝内胆管 | 9,071 | 23.9 | 0.5 | 4,456 | 21.8 | 0.7 | 13,527 | 23.2 | 0.4 |
| 胆のう・胆管 | 2,855 | 18.2 | 0.8 | 3,273 | 15.5 | 0.7 | 6,128 | 16.8 | 0.5 |
| 膵臓 | 4,143 | 5.5 | 0.4 | 3,562 | 5.3 | 0.4 | 7,705 | 5.4 | 0.3 |
| 喉頭 | 1,328 | 73.8 | 1.6 | 86 | 71.3 | 5.7 | 1,414 | 73.6 | 1.5 |
| 肺 | 19,716 | 21.2 | 0.3 | 7,755 | 35.2 | 0.6 | 27,471 | 25.2 | 0.3 |
| 皮膚 *1 | 1,361 | 86.6 | 1.6 | 1,434 | 91.4 | 1.5 | 2,795 | 89.1 | 1.1 |
| 乳房 *2 | | | | 17,552 | 87.4 | 0.3 | 17,552 | 87.4 | 0.3 |
| 子宮 | | | | 5,879 | 71.4 | 0.6 | 5,879 | 71.4 | 0.6 |
| 子宮頸部 | | | | 3,047 | 69.5 | 0.9 | 3,047 | 69.5 | 0.9 |
| 子宮体部 | | | | 2,542 | 76.3 | 0.9 | 2,542 | 76.3 | 0.9 |
| 卵巣 | | | | 2,738 | 49.7 | 1.0 | 2,738 | 49.7 | 1.0 |
| 前立腺 | 12,648 | 91.2 | 0.5 | | | | 12,648 | 91.2 | 0.5 |
| 膀胱 | 3,775 | 71.1 | 1.0 | 1,243 | 58.6 | 1.7 | 5,018 | 68.0 | 0.9 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 3,057 | 60.6 | 1.0 | 1,497 | 57.3 | 1.4 | 4,554 | 59.5 | 0.9 |
| 脳・中枢神経系 | 768 | 26.5 | 1.7 | 658 | 26.6 | 1.8 | 1,426 | 26.5 | 1.2 |
| 甲状腺 | 692 | 83.6 | 1.8 | 2,332 | 91.5 | 0.7 | 3,024 | 89.7 | 0.7 |
| 悪性リンパ腫 | 2,845 | 49.1 | 1.1 | 2,411 | 57.3 | 1.1 | 5,256 | 52.9 | 0.8 |
| 多発性骨髄腫 | 747 | 28.9 | 1.9 | 677 | 26.7 | 1.9 | 1,424 | 27.8 | 1.3 |
| 白血病 | 1,848 | 30.4 | 1.1 | 1,376 | 34.2 | 1.3 | 3,224 | 32.0 | 0.9 |

解析対象1：DCO、第2がん以降、悪性以外、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）、年齢不詳および100歳以上を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 23 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|---------|------------|-----|--------|------------|-----|---------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 109,146 | 55.4 | 0.2 | 81,258 | 62.9 | 0.2 | 190,404 | 58.6 | 0.1 |
| 口腔・咽頭 | 2,351 | 51.7 | 1.2 | 1,061 | 60.2 | 1.7 | 3,412 | 54.3 | 1.0 |
| 食道 | 4,694 | 32.3 | 0.8 | 861 | 41.3 | 1.8 | 5,555 | 33.7 | 0.7 |
| 胃 | 24,586 | 64.2 | 0.4 | 11,825 | 61.5 | 0.5 | 36,411 | 63.3 | 0.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 17,704 | 70.3 | 0.4 | 13,854 | 67.9 | 0.5 | 31,558 | 69.2 | 0.3 |
| 結腸 | 10,721 | 72.2 | 0.6 | 9,763 | 67.9 | 0.6 | 20,484 | 70.1 | 0.4 |
| 直腸 | 6,983 | 67.3 | 0.7 | 4,091 | 67.8 | 0.9 | 11,074 | 67.5 | 0.5 |
| 肝および肝内胆管 | 7,416 | 28.7 | 0.6 | 3,619 | 26.2 | 0.8 | 11,035 | 27.9 | 0.5 |
| 胆のう・胆管 | 2,268 | 22.5 | 1.0 | 2,548 | 19.9 | 0.9 | 4,816 | 21.1 | 0.7 |
| 膵臓 | 3,205 | 7.1 | 0.5 | 2,684 | 6.9 | 0.5 | 5,889 | 7.0 | 0.4 |
| 喉頭 | 1,286 | 76.0 | 1.6 | 82 | 74.6 | 5.7 | 1,368 | 75.9 | 1.5 |
| 肺 | 16,561 | 25.0 | 0.4 | 6,616 | 41.0 | 0.7 | 23,177 | 29.7 | 0.3 |
| 皮膚 *1 | 1,327 | 88.8 | 1.6 | 1,405 | 93.0 | 1.5 | 2,732 | 90.9 | 1.1 |
| 乳房 *2 | | | | 17,162 | 89.1 | 0.3 | 17,162 | 89.1 | 0.3 |
| 子宮 | | | | 5,576 | 75.0 | 0.6 | 5,576 | 75.0 | 0.6 |
| 子宮頸部 | | | | 2,928 | 72.2 | 0.9 | 2,928 | 72.2 | 0.9 |
| 子宮体部 | | | | 2,428 | 79.8 | 0.9 | 2,428 | 79.8 | 0.9 |
| 卵巣 | | | | 2,447 | 55.0 | 1.1 | 2,447 | 55.0 | 1.1 |
| 前立腺 | 12,204 | 93.8 | 0.5 | | | | 12,204 | 93.8 | 0.5 |
| 膀胱 | 3,480 | 76.5 | 1.0 | 1,118 | 64.4 | 1.8 | 4,598 | 73.5 | 0.9 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 2,759 | 66.9 | 1.1 | 1,348 | 63.3 | 1.5 | 4,107 | 65.7 | 0.9 |
| 脳・中枢神経系 | 595 | 32.0 | 2.0 | 502 | 33.4 | 2.2 | 1,097 | 32.6 | 1.5 |
| 甲状腺 | 663 | 87.0 | 1.7 | 2,267 | 93.7 | 0.7 | 2,930 | 92.2 | 0.7 |
| 悪性リンパ腫 | 2,525 | 54.9 | 1.1 | 2,178 | 63.1 | 1.2 | 4,703 | 58.7 | 0.8 |
| 多発性骨髄腫 | 603 | 34.0 | 2.2 | 553 | 31.2 | 2.2 | 1,156 | 32.6 | 1.5 |
| 白血病 | 1,555 | 35.4 | 1.3 | 1,170 | 39.8 | 1.5 | 2,725 | 37.3 | 1.0 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 24 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 1—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 % |
|------------|--------|------|--------|------|--------|------|------------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | |
| 全部位 | 82,767 | 38.8 | 52,995 | 24.9 | 38,804 | 18.2 | 18.1 |
| 口腔・咽頭 | 1,211 | 32.4 | 1,791 | 48.0 | 178 | 4.8 | 14.8 |
| 食道 | 1,581 | 25.5 | 2,608 | 42.0 | 1,032 | 16.6 | 15.9 |
| 胃 | 18,640 | 46.5 | 9,676 | 24.1 | 7,055 | 17.6 | 11.8 |
| 大腸(結腸・直腸) | 14,668 | 42.6 | 9,622 | 27.9 | 6,107 | 17.7 | 11.8 |
| 結腸 | 9,697 | 43.2 | 6,025 | 26.8 | 4,160 | 18.5 | 11.5 |
| 直腸 | 4,971 | 41.5 | 3,597 | 30.0 | 1,947 | 16.2 | 12.3 |
| 肝および肝内胆管 | 6,398 | 47.3 | 1,878 | 13.9 | 1,262 | 9.3 | 29.5 |
| 胆のう・胆管 | 1,041 | 17.0 | 2,258 | 36.8 | 1,388 | 22.7 | 23.5 |
| 膵臓 | 544 | 7.1 | 2,422 | 31.4 | 3,260 | 42.3 | 19.2 |
| 喉頭 | 909 | 64.3 | 313 | 22.1 | 21 | 1.5 | 12.1 |
| 肺 | 6,172 | 22.5 | 7,722 | 28.1 | 9,043 | 32.9 | 16.5 |
| 皮膚 *1 | 2,025 | 72.5 | 228 | 8.2 | 70 | 2.5 | 16.9 |
| 乳房 *2 | 9,827 | 55.6 | 5,363 | 30.4 | 905 | 5.1 | 8.9 |
| 子宮 | 3,116 | 53.0 | 1,568 | 26.7 | 470 | 8.0 | 12.3 |
| 子宮頸部 | 1,460 | 47.9 | 1,007 | 33.0 | 199 | 6.5 | 12.5 |
| 子宮体部 | 1,567 | 61.6 | 520 | 20.5 | 229 | 9.0 | 8.9 |
| 卵巣 | 753 | 27.5 | 1,022 | 37.3 | 516 | 18.8 | 16.3 |
| 前立腺 | 6,241 | 49.3 | 1,705 | 13.5 | 1,676 | 13.3 | 23.9 |
| 膀胱 | 3,283 | 65.4 | 592 | 11.8 | 258 | 5.1 | 17.6 |
| 腎・尿路(膀胱除く) | 2,347 | 51.5 | 794 | 17.4 | 821 | 18.0 | 13.0 |
| 脳・中枢神経系 | 501 | 35.1 | 48 | 3.4 | 14 | 1.0 | 60.5 |
| 甲状腺 | 1,068 | 35.3 | 1,529 | 50.6 | 159 | 5.3 | 8.9 |
| 悪性リンパ腫 | 762 | 14.5 | 568 | 10.8 | 1,384 | 26.3 | 48.4 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 1 : DC0、第 2 がん以降、悪性以外、上皮内がん(大腸の粘膜がんを含む)、年齢不詳および 100 歳以上を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

表 25 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|--------|------|---------|------|--------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 81,127 | 42.6 | 49,256 | 25.9 | 32,096 | 16.9 | 14.7 |
| 口腔・咽頭 | 1,182 | 34.6 | 1,666 | 48.8 | 133 | 3.9 | 12.6 |
| 食道 | 1,529 | 27.5 | 2,427 | 43.7 | 898 | 16.2 | 12.6 |
| 胃 | 18,418 | 50.6 | 9,054 | 24.9 | 5,905 | 16.2 | 8.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 14,522 | 46.0 | 9,274 | 29.4 | 5,291 | 16.8 | 7.8 |
| 結腸 | 9,599 | 46.9 | 5,797 | 28.3 | 3,584 | 17.5 | 7.3 |
| 直腸 | 4,923 | 44.5 | 3,477 | 31.4 | 1,707 | 15.4 | 8.7 |
| 肝および肝内胆管 | 5,837 | 52.9 | 1,510 | 13.7 | 941 | 8.5 | 24.9 |
| 胆のう・胆管 | 960 | 19.9 | 1,914 | 39.7 | 1,040 | 21.6 | 18.7 |
| 膵臓 | 484 | 8.2 | 2,059 | 35.0 | 2,493 | 42.3 | 14.5 |
| 喉頭 | 907 | 66.3 | 302 | 22.1 | 20 | 1.5 | 10.2 |
| 肺 | 5,965 | 25.7 | 6,904 | 29.8 | 7,318 | 31.6 | 12.9 |
| 皮膚 *1 | 2,018 | 73.9 | 222 | 8.1 | 62 | 2.3 | 15.7 |
| 乳房 *2 | 9,813 | 56.8 | 5,313 | 30.8 | 831 | 4.8 | 7.6 |
| 子宮 | 3,096 | 55.5 | 1,502 | 26.9 | 398 | 7.1 | 10.4 |
| 子宮頸部 | 1,449 | 49.5 | 970 | 33.1 | 177 | 6.0 | 11.3 |
| 子宮体部 | 1,561 | 64.3 | 496 | 20.4 | 198 | 8.2 | 7.1 |
| 卵巣 | 742 | 30.3 | 948 | 38.7 | 446 | 18.2 | 12.7 |
| 前立腺 | 6,204 | 50.8 | 1,667 | 13.7 | 1,520 | 12.5 | 23.0 |
| 膀胱 | 3,231 | 70.3 | 519 | 11.3 | 198 | 4.3 | 14.1 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 2,325 | 56.6 | 729 | 17.8 | 652 | 15.9 | 9.8 |
| 脳・中枢神経系 | 451 | 41.1 | 43 | 3.9 | 10 | 0.9 | 54.1 |
| 甲状腺 | 1,064 | 36.3 | 1,510 | 51.5 | 141 | 4.8 | 7.3 |
| 悪性リンパ腫 | 736 | 15.6 | 521 | 11.1 | 1,227 | 26.1 | 47.2 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表 26 進行度別 5 年相対生存率、標準誤差 —2003-05 年、解析対象 1—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|-----|--------|-----|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 87.3 | 0.2 | 46.1 | 0.3 | 9.9 | 0.2 |
| 口腔・咽頭 | 77.0 | 1.5 | 41.5 | 1.3 | 9.0 | 2.3 |
| 食道 | 67.1 | 1.4 | 24.2 | 0.9 | 3.9 | 0.6 |
| 胃 | 95.0 | 0.3 | 42.0 | 0.6 | 4.3 | 0.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 95.8 | 0.4 | 63.4 | 0.6 | 10.4 | 0.4 |
| 結腸 | 96.5 | 0.5 | 65.2 | 0.8 | 10.4 | 0.5 |
| 直腸 | 94.2 | 0.6 | 60.4 | 1.0 | 10.5 | 0.7 |
| 肝および肝内胆管 | 37.4 | 0.7 | 10.7 | 0.8 | 1.5 | 0.4 |
| 胆のう・胆管 | 54.3 | 1.9 | 16.1 | 0.9 | 1.4 | 0.3 |
| 膵臓 | 33.5 | 2.2 | 6.7 | 0.5 | 0.9 | 0.2 |
| 喉頭 | 88.0 | 1.7 | 48.3 | 3.3 | 11.1 | 7.6 |
| 肺 | 74.8 | 0.7 | 20.8 | 0.5 | 3.0 | 0.2 |
| 皮膚 *1 | 97.5 | 1.2 | 58.5 | 4.0 | 10.9 | 4.2 |
| 乳房 *2 | 98.1 | 0.3 | 83.9 | 0.6 | 26.0 | 1.5 |
| 子宮 | 92.8 | 0.6 | 55.7 | 1.4 | 14.2 | 1.7 |
| 子宮頸部 | 92.2 | 0.8 | 53.2 | 1.7 | 7.4 | 1.9 |
| 子宮体部 | 93.7 | 0.8 | 61.6 | 2.3 | 22.4 | 2.9 |
| 卵巣 | 88.0 | 1.3 | 44.8 | 1.6 | 21.0 | 1.9 |
| 前立腺 | 100.0 | 0.5 | 93.8 | 1.2 | 42.0 | 1.5 |
| 膀胱 | 87.3 | 1.0 | 25.5 | 2.0 | 5.1 | 1.5 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 90.6 | 0.9 | 42.6 | 2.0 | 9.4 | 1.1 |
| 脳・中枢神経系 | 31.5 | 2.2 | 17.7 | 5.7 | 22.0 | 11.3 |
| 甲状腺 | 98.8 | 0.7 | 92.3 | 0.9 | 41.6 | 4.3 |
| 悪性リンパ腫 | 76.8 | 1.9 | 61.5 | 2.4 | 44.9 | 1.5 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象 1 : DCO、第 2 がん以降、悪性以外、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）、年齢不詳および100歳以上を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表 27 進行度別5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:宮城県,山形県,新潟県,福井県,滋賀県,大阪府,長崎県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|-----|--------|-----|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 88.9 | 0.2 | 49.4 | 0.3 | 11.8 | 0.2 |
| 口腔・咽頭 | 78.8 | 1.5 | 44.6 | 1.4 | 11.1 | 2.9 |
| 食道 | 69.2 | 1.4 | 25.9 | 1.0 | 4.3 | 0.7 |
| 胃 | 96.0 | 0.3 | 44.8 | 0.6 | 5.1 | 0.3 |
| 大腸(結腸・直腸) | 96.5 | 0.4 | 65.7 | 0.6 | 11.9 | 0.5 |
| 結腸 | 97.3 | 0.4 | 67.7 | 0.8 | 11.9 | 0.6 |
| 直腸 | 95.0 | 0.6 | 62.4 | 1.0 | 12.0 | 0.8 |
| 肝および肝内胆管 | 40.8 | 0.7 | 13.0 | 0.9 | 2.0 | 0.5 |
| 胆のう・胆管 | 58.7 | 1.9 | 18.8 | 1.0 | 1.9 | 0.5 |
| 膵臓 | 37.3 | 2.4 | 7.8 | 0.6 | 1.2 | 0.2 |
| 喉頭 | 88.2 | 1.7 | 49.7 | 3.4 | 11.6 | 7.9 |
| 肺 | 77.2 | 0.7 | 23.1 | 0.6 | 3.7 | 0.2 |
| 皮膚 *1 | 97.6 | 1.2 | 59.2 | 4.1 | 12.3 | 4.8 |
| 乳房 *2 | 98.2 | 0.3 | 84.5 | 0.6 | 28.2 | 1.7 |
| 子宮 | 93.4 | 0.6 | 58.2 | 1.4 | 16.8 | 1.9 |
| 子宮頸部 | 92.9 | 0.8 | 55.2 | 1.7 | 8.3 | 2.1 |
| 子宮体部 | 94.0 | 0.8 | 64.6 | 2.3 | 25.9 | 3.3 |
| 卵巣 | 89.0 | 1.3 | 47.9 | 1.7 | 23.5 | 2.1 |
| 前立腺 | 100.0 | 0.5 | 94.8 | 1.2 | 45.2 | 1.6 |
| 膀胱 | 88.4 | 1.0 | 28.5 | 2.3 | 6.6 | 1.9 |
| 腎・尿路(膀胱除く) | 91.2 | 0.9 | 46.2 | 2.1 | 11.8 | 1.4 |
| 脳・中枢神経系 | 33.1 | 2.3 | 19.8 | 6.3 | 30.5 | 14.8 |
| 甲状腺 | 99.1 | 0.7 | 93.4 | 0.9 | 45.9 | 4.7 |
| 悪性リンパ腫 | 79.5 | 1.8 | 66.7 | 2.4 | 50.3 | 1.6 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2: 解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

表 28 性別年齢階級別5年相生存率 -2003-05年、解析対象1-

| 部位 | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | |
|------------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|---|
| | 15-44 | | 45-54 | | 55-64 | | 65-74 | | 75- | | 15-44 | | 45-54 | | 55-64 | | 65-74 | | 75- | |
| | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 | 差 | 率 |
| 全部位 | 65.3 | 53.7 | 52.4 | 51.5 | 41.5 | 23.8 | 79.8 | 73.6 | 65.1 | 56.1 | 39.3 | 40.5 | 75.0 | 64.8 | 57.5 | 53.1 | 40.5 | 34.5 | | |
| 口腔・咽頭 | 65.8 | 54.5 | 49.9 | 43.0 | 38.7 | 27.1 | 81.8 | 68.2 | 66.9 | 59.5 | 35.8 | 46.0 | 72.6 | 58.3 | 53.5 | 47.3 | 37.3 | 35.3 | | |
| 食道 | 19.6 | 30.3 | 31.9 | 32.3 | 19.0 | 13.1 | 29.5 | 45.5 | 41.6 | 45.1 | 24.4 | 21.1 | 22.8 | 33.0 | 33.1 | 34.0 | 20.3 | 13.7 | | |
| 胃 | 68.5 | 65.6 | 63.8 | 60.5 | 48.4 | 20.1 | 62.7 | 62.9 | 63.7 | 62.6 | 45.7 | 18.0 | 65.8 | 64.7 | 63.8 | 61.1 | 47.3 | 18.5 | | |
| 大腸(結腸・直腸) | 71.8 | 66.4 | 66.5 | 68.4 | 58.1 | 13.7 | 67.6 | 67.0 | 68.4 | 68.4 | 52.9 | 15.5 | 69.8 | 66.7 | 67.1 | 68.4 | 55.3 | 14.5 | | |
| 結腸 | 71.9 | 69.9 | 68.3 | 69.9 | 60.3 | 11.6 | 63.5 | 65.9 | 68.9 | 68.1 | 53.5 | 15.4 | 67.6 | 68.0 | 68.5 | 69.1 | 56.5 | 12.6 | | |
| 直腸 | 71.6 | 62.8 | 64.3 | 66.0 | 53.5 | 18.1 | 74.5 | 68.7 | 67.0 | 69.1 | 51.2 | 23.3 | 72.8 | 65.0 | 65.2 | 67.0 | 52.4 | 20.4 | | |
| 肝および肝内胆管 | 29.0 | 24.1 | 25.3 | 24.6 | 20.1 | 8.9 | 28.9 | 30.0 | 28.6 | 26.1 | 14.6 | 15.4 | 29.0 | 25.2 | 26.1 | 25.1 | 17.5 | 11.5 | | |
| 胆のう・胆管 | 39.1 | 25.2 | 25.4 | 19.2 | 12.7 | 26.4 | 33.5 | 23.4 | 22.4 | 21.0 | 11.1 | 22.4 | 36.6 | 24.4 | 24.1 | 20.1 | 11.8 | 24.8 | | |
| 膵臓 | 12.2 | 7.9 | 7.4 | 5.7 | 2.5 | 9.7 | 10.2 | 9.0 | 8.6 | 5.5 | 3.5 | 6.7 | 11.4 | 8.2 | 7.8 | 5.6 | 3.1 | 8.3 | | |
| 喉頭 | 60.2 | 82.5 | 77.7 | 74.9 | 64.7 | 22.3 | 80.1 | 80.2 | 84.1 | 72.1 | 54.4 | 29.7 | 67.0 | 82.4 | 78.0 | 74.8 | 63.9 | 18.5 | | |
| 肺 | 33.5 | 30.0 | 27.9 | 22.2 | 14.5 | 19.0 | 39.0 | 48.0 | 46.3 | 41.4 | 22.2 | 25.8 | 35.6 | 35.9 | 33.0 | 27.2 | 16.9 | 19.0 | | |
| 皮膚*1 | 89.4 | 83.2 | 90.3 | 88.0 | 84.5 | 7.1 | 92.9 | 88.9 | 93.9 | 90.3 | 91.0 | 5.0 | 91.2 | 86.1 | 91.8 | 89.0 | 88.3 | 5.7 | | |
| 乳房*2 | | | | | | | 88.9 | 88.0 | 86.3 | 88.1 | 85.4 | 3.5 | 88.9 | 88.0 | 86.3 | 88.1 | 85.4 | 3.5 | | |
| 子宮 | | | | | | | 85.1 | 77.3 | 72.9 | 64.1 | 45.5 | 39.6 | 85.1 | 77.3 | 72.9 | 64.1 | 45.5 | 39.6 | | |
| 子宮頸部 | | | | | | | 84.3 | 71.2 | 65.8 | 60.7 | 43.6 | 40.7 | 84.3 | 71.2 | 65.8 | 60.7 | 43.6 | 40.7 | | |
| 子宮体部 | | | | | | | 87.8 | 84.4 | 79.4 | 69.2 | 53.2 | 34.6 | 87.8 | 84.4 | 79.4 | 69.2 | 53.2 | 34.6 | | |
| 卵巣 | | | | | | | 73.2 | 58.3 | 50.2 | 38.9 | 22.8 | 50.4 | 73.2 | 58.3 | 50.2 | 38.9 | 22.8 | 50.4 | | |
| 前立腺 | 75.1 | 85.9 | 93.5 | 94.3 | 86.2 | 19.2 | | | | | | | 75.1 | 85.9 | 93.5 | 94.3 | 86.2 | 19.2 | | |
| 膀胱 | 85.4 | 85.4 | 79.7 | 75.4 | 58.8 | 26.6 | 87.1 | 68.7 | 77.0 | 70.2 | 46.3 | 40.8 | 85.8 | 82.4 | 79.2 | 74.4 | 54.8 | 31.0 | | |
| 腎・尿路(膀胱除く) | 81.8 | 74.5 | 65.1 | 59.5 | 44.8 | 37.0 | 83.6 | 82.0 | 69.7 | 57.9 | 40.0 | 43.6 | 82.4 | 76.6 | 66.4 | 59.0 | 42.6 | 39.8 | | |
| 脳・中枢神経系 | 49.6 | 24.4 | 17.9 | 10.0 | 8.7 | 40.9 | 45.0 | 44.6 | 20.8 | 9.2 | 4.6 | 40.4 | 47.8 | 33.5 | 19.3 | 9.7 | 6.2 | 41.6 | | |
| 甲状腺 | 98.0 | 90.8 | 86.1 | 79.2 | 52.9 | 45.1 | 99.6 | 96.4 | 95.4 | 90.2 | 66.2 | 33.4 | 99.4 | 95.5 | 93.4 | 87.6 | 63.4 | 36.0 | | |
| 悪性リンパ腫 | 73.6 | 68.8 | 58.7 | 41.5 | 31.0 | 42.6 | 84.1 | 76.4 | 67.9 | 55.1 | 37.2 | 46.9 | 78.4 | 72.4 | 62.8 | 47.5 | 34.0 | 44.4 | | |
| 多発性骨髄腫 | 73.7 | 50.5 | 36.2 | 27.5 | 18.7 | 55.0 | 85.8 | 61.6 | 34.7 | 26.8 | 17.7 | 68.1 | 77.6 | 55.7 | 35.5 | 27.2 | 18.0 | 59.6 | | |
| 白血病 | 56.6 | 37.2 | 21.7 | 16.2 | 8.1 | 48.5 | 54.5 | 44.0 | 28.4 | 17.0 | 13.0 | 41.5 | 55.6 | 40.1 | 24.5 | 16.5 | 10.4 | 45.2 | | |

解析対象1: DCO、第2がん以降、悪性以外、上皮内がん(大腸の粘膜がんを含む)、年齢不詳および100歳以上を除外

差: 年齢階級別生存率の最大と最小との差

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 29 性別年齢階級別5年相生存率 - 2003-05年、解析対象2 -

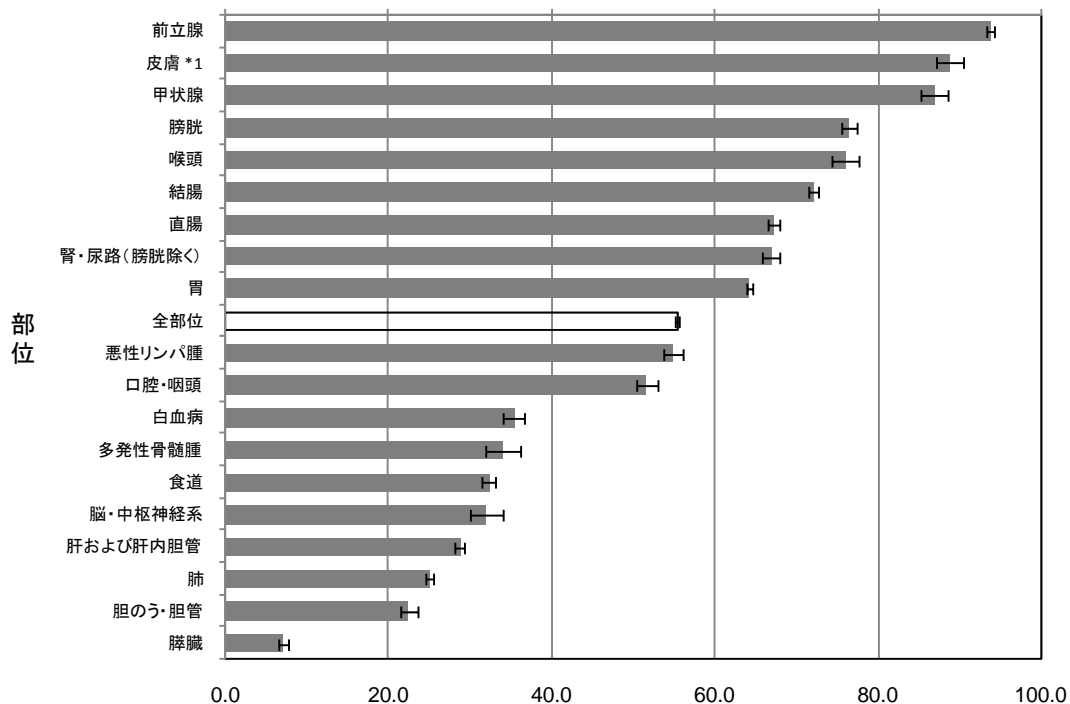
| 部位 | 男女計 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 男 | | | | | 女 | | | | | | | | | | | |
| | 15-44 | 45-54 | 55-64 | 65-74 | 75- | 15-44 | 45-54 | 55-64 | 65-74 | 75- | | | | | | | |
| 全部位 | 69.3 | 57.4 | 57.3 | 57.0 | 48.9 | 20.4 | 81.7 | 76.2 | 69.2 | 61.1 | 34.5 | 77.7 | 68.0 | 62.1 | 58.5 | 48.2 | 29.5 |
| 口腔・咽頭 | 68.2 | 58.1 | 54.1 | 48.5 | 42.7 | 25.5 | 83.4 | 70.9 | 68.5 | 62.0 | 42.6 | 74.7 | 61.8 | 57.3 | 52.3 | 41.8 | 32.9 |
| 食道 | 21.4 | 32.2 | 35.1 | 35.6 | 22.1 | 14.2 | 31.3 | 49.0 | 44.0 | 49.9 | 21.1 | 24.6 | 35.1 | 36.2 | 37.5 | 23.7 | 13.8 |
| 胃 | 71.8 | 68.7 | 68.6 | 65.8 | 55.6 | 16.2 | 65.9 | 65.9 | 67.5 | 66.3 | 14.2 | 69.0 | 67.7 | 68.3 | 65.9 | 54.7 | 14.3 |
| 大腸 (結腸・直腸) | 74.7 | 70.0 | 70.4 | 73.1 | 66.1 | 8.6 | 69.5 | 69.5 | 72.5 | 72.6 | 11.6 | 72.3 | 69.8 | 71.2 | 72.9 | 63.4 | 9.5 |
| 結腸 | 74.9 | 73.9 | 72.2 | 74.7 | 68.7 | 6.2 | 65.9 | 68.2 | 73.4 | 72.6 | 11.6 | 70.3 | 71.2 | 72.7 | 73.8 | 64.9 | 8.9 |
| 直腸 | 74.6 | 65.9 | 68.2 | 70.4 | 60.5 | 14.1 | 75.4 | 71.5 | 70.8 | 72.5 | 16.7 | 74.9 | 68.0 | 69.0 | 71.1 | 59.7 | 15.2 |
| 肝および肝内胆管 | 36.4 | 27.9 | 30.1 | 29.3 | 24.9 | 11.5 | 32.0 | 33.7 | 32.9 | 29.9 | 18.6 | 35.3 | 29.0 | 30.7 | 29.5 | 21.9 | 13.4 |
| 胆のう・胆管 | 42.7 | 29.1 | 29.4 | 23.5 | 16.3 | 26.4 | 38.6 | 27.0 | 26.7 | 25.6 | 23.7 | 40.9 | 28.1 | 28.2 | 24.5 | 15.5 | 25.4 |
| 膵臓 | 13.7 | 9.3 | 9.2 | 7.2 | 3.4 | 10.3 | 10.9 | 10.4 | 10.2 | 7.0 | 4.8 | 12.5 | 9.6 | 9.5 | 7.1 | 4.2 | 8.3 |
| 喉頭 | 60.2 | 83.3 | 79.0 | 77.2 | 68.1 | 23.1 | 80.1 | 80.2 | 84.1 | 73.8 | 61.1 | 67.0 | 83.2 | 79.3 | 77.1 | 67.6 | 16.2 |
| 肺 | 36.5 | 32.5 | 31.1 | 25.8 | 18.1 | 18.4 | 41.3 | 51.1 | 50.4 | 46.2 | 28.5 | 38.4 | 38.7 | 36.6 | 31.3 | 21.3 | 17.4 |
| 皮膚*1 | 91.9 | 85.9 | 92.5 | 90.0 | 86.6 | 6.6 | 94.2 | 89.8 | 94.6 | 91.6 | 93.0 | 93.2 | 87.9 | 93.4 | 90.7 | 90.4 | 5.5 |
| 乳房*2 | | | | | | | 89.7 | 89.1 | 87.9 | 90.1 | 90.0 | 89.7 | 89.1 | 87.9 | 90.1 | 90.0 | 2.2 |
| 子宮 | | | | | | | 86.2 | 79.2 | 76.4 | 68.6 | 51.7 | 86.2 | 79.2 | 76.4 | 68.6 | 51.7 | 34.5 |
| 子宮頸部 | | | | | | | 85.5 | 72.9 | 69.3 | 64.2 | 47.2 | 85.5 | 72.9 | 69.3 | 64.2 | 47.2 | 38.3 |
| 子宮体部 | | | | | | | 88.5 | 86.1 | 82.0 | 72.9 | 61.6 | 88.5 | 86.1 | 82.0 | 72.9 | 61.6 | 26.9 |
| 卵巣 | | | | | | | 76.1 | 61.9 | 55.6 | 44.2 | 27.3 | 76.1 | 61.9 | 55.6 | 44.2 | 27.3 | 48.8 |
| 前立腺 | 75.1 | 88.8 | 94.7 | 95.8 | 90.8 | 20.7 | | | | | | 75.1 | 88.8 | 94.7 | 95.8 | 90.8 | 20.7 |
| 膀胱 | 87.3 | 88.2 | 83.3 | 79.0 | 66.4 | 21.8 | 87.1 | 68.7 | 79.8 | 74.7 | 53.0 | 87.3 | 84.7 | 82.6 | 78.1 | 62.2 | 25.1 |
| 腎・尿路 (膀胱除く) | 83.6 | 76.3 | 70.1 | 65.3 | 54.5 | 29.1 | 88.5 | 83.7 | 74.0 | 63.2 | 46.9 | 85.0 | 78.4 | 71.1 | 64.6 | 51.0 | 34.0 |
| 脳・中枢神経系 | 57.3 | 24.5 | 21.6 | 12.3 | 6.3 | 51.0 | 51.1 | 52.3 | 25.0 | 11.9 | 2.8 | 54.8 | 37.2 | 23.3 | 12.1 | 4.2 | 50.6 |
| 甲状腺 | 99.3 | 91.6 | 88.8 | 81.0 | 62.5 | 36.8 | 99.6 | 97.1 | 96.0 | 92.2 | 75.0 | 99.7 | 96.2 | 94.4 | 89.5 | 72.7 | 27.0 |
| 悪性リンパ腫 | 78.0 | 72.6 | 63.2 | 46.3 | 37.6 | 40.4 | 86.2 | 79.2 | 72.5 | 60.1 | 43.9 | 81.8 | 75.7 | 67.4 | 52.5 | 40.8 | 41.0 |
| 多発性骨髄腫 | 73.7 | 54.3 | 44.8 | 31.9 | 20.6 | 53.1 | 100.0 | 63.4 | 39.8 | 30.7 | 20.4 | 81.3 | 58.7 | 42.5 | 31.3 | 20.4 | 60.9 |
| 白血病 | 61.7 | 41.6 | 25.0 | 19.1 | 9.2 | 52.5 | 59.9 | 50.6 | 33.4 | 20.0 | 15.6 | 60.9 | 45.4 | 28.4 | 19.4 | 12.4 | 48.5 |

解析対象2：解析対象1から週り調査患者を除外

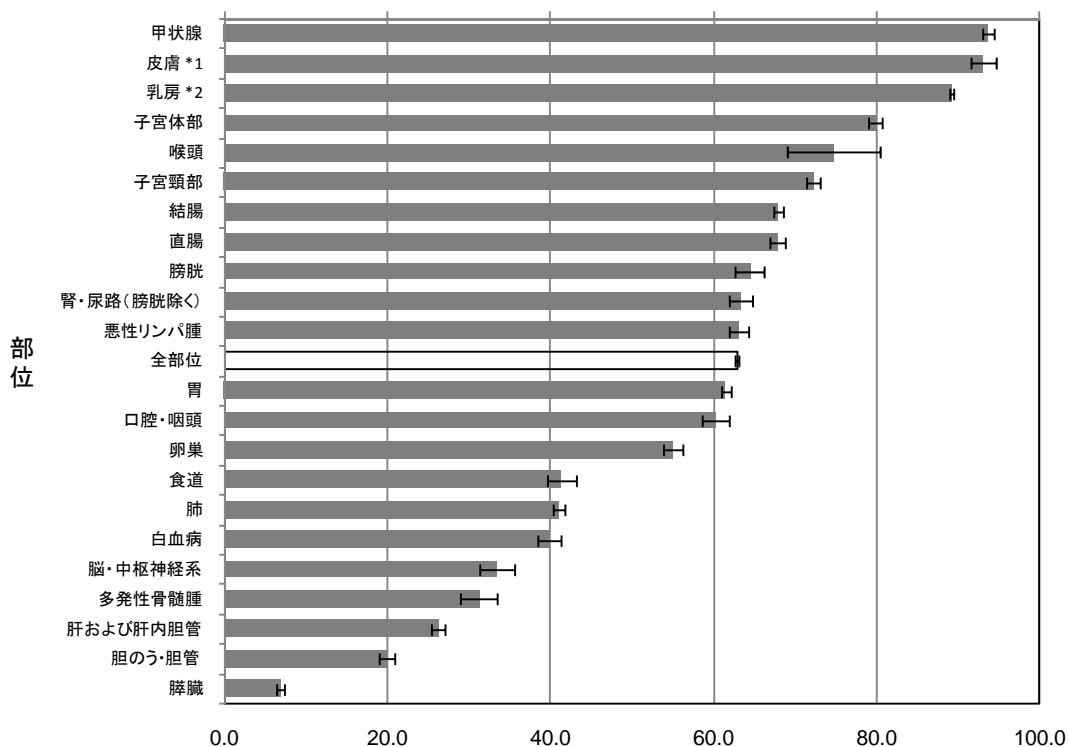
差：年齢階級別生存率の最大と最小との差

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

全国生存率集計値



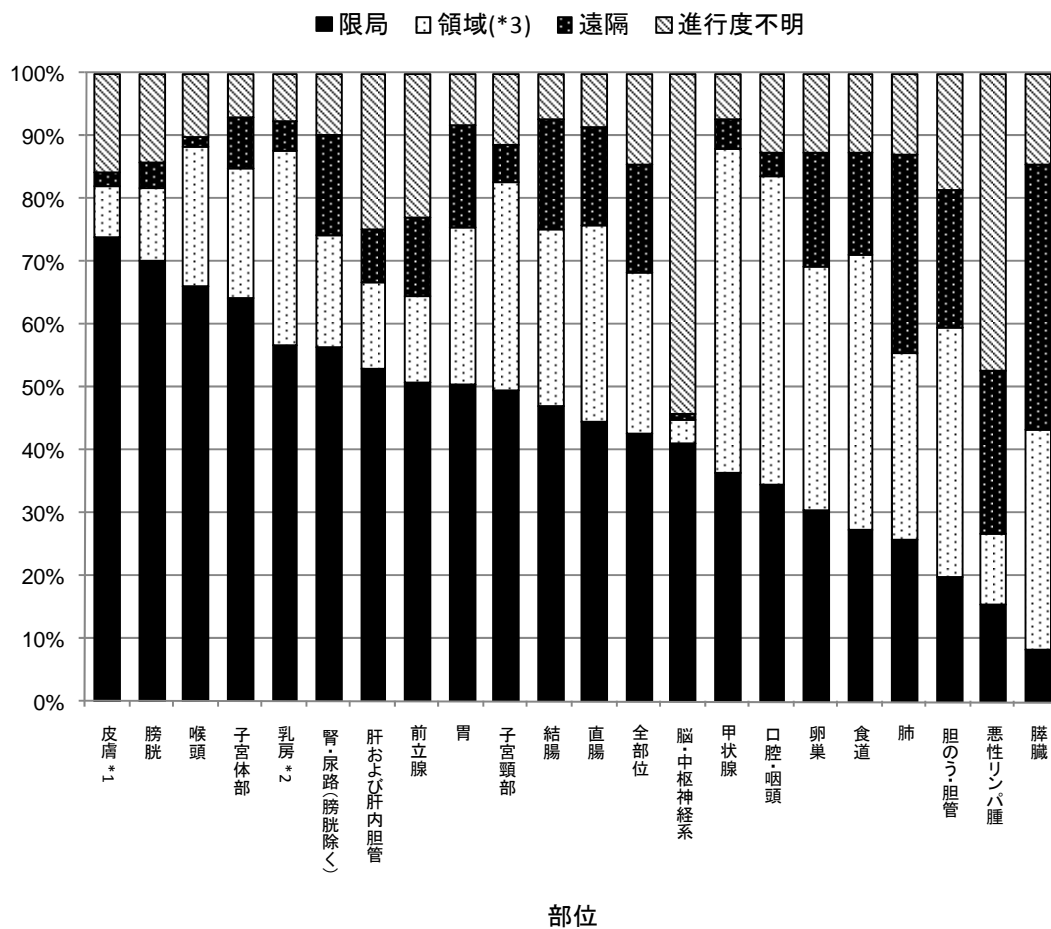
5年相対生存率(% 標準誤差)



5年相対生存率(% 標準誤差)

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

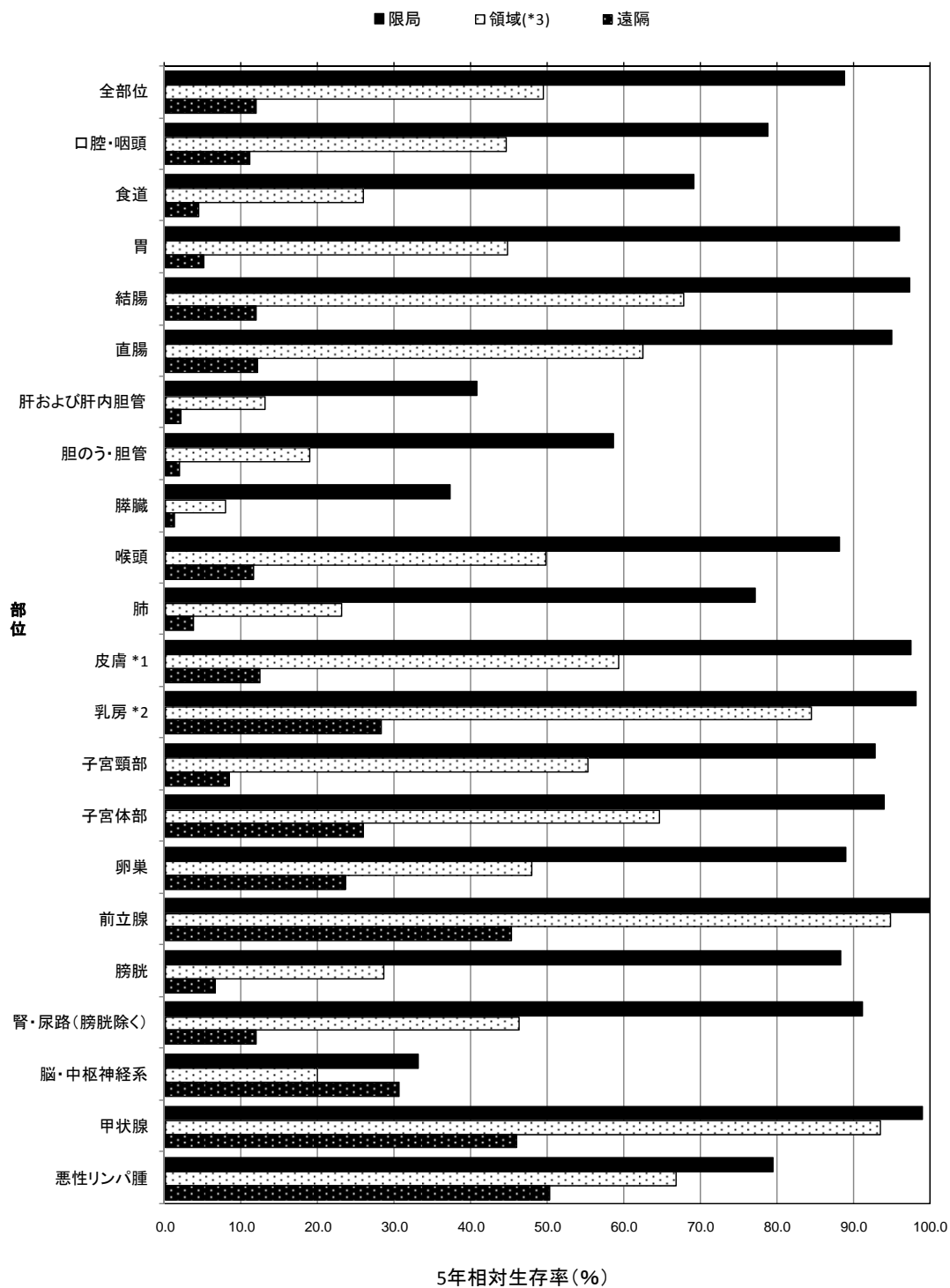
図 1 部位別 5年相対生存率 (解析対象 2 上段:男性、下段:女性)



*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ *3 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

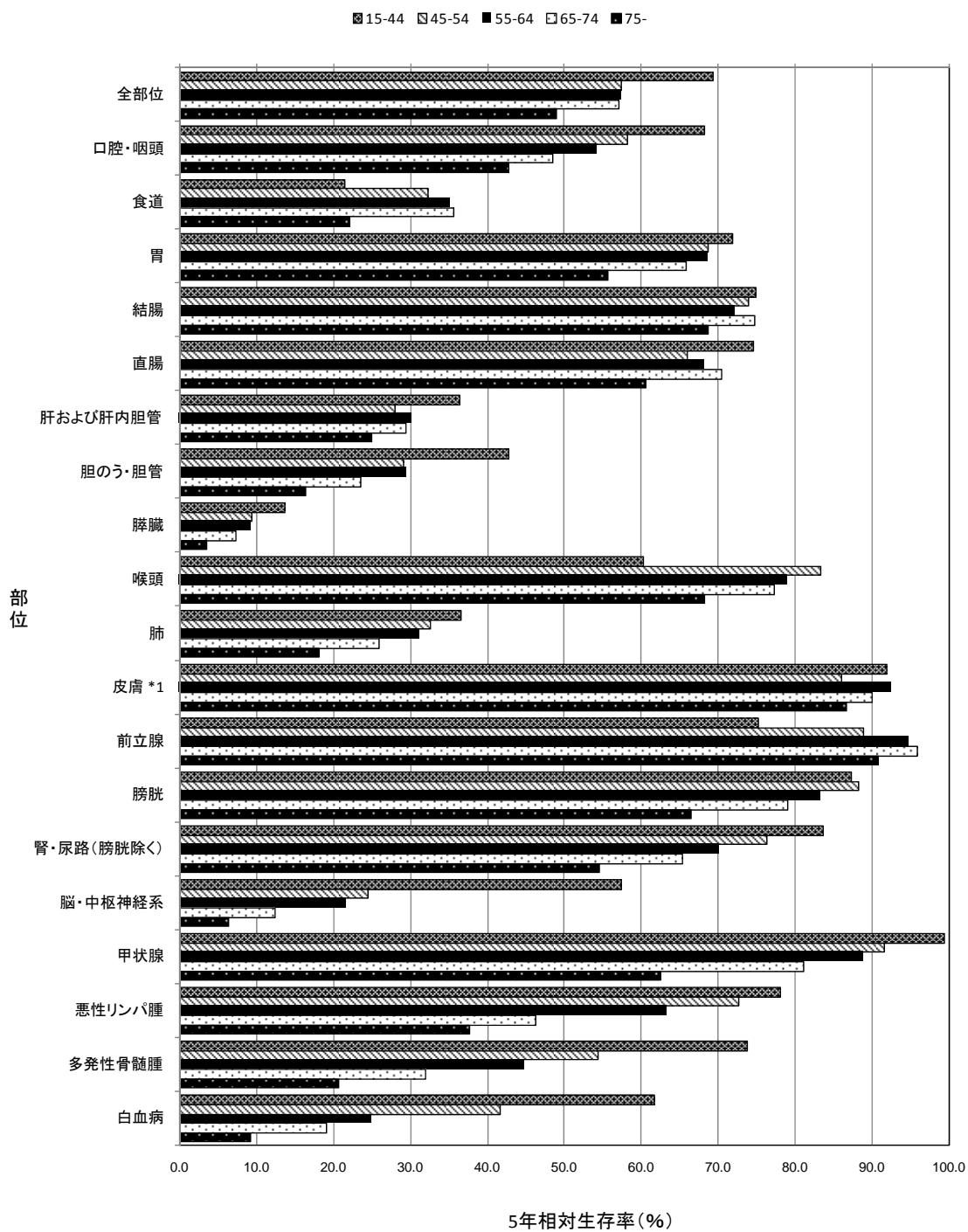
図 2 臨床進行度分布 (解析対象 2)

全国生存率集計値



*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ *3 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

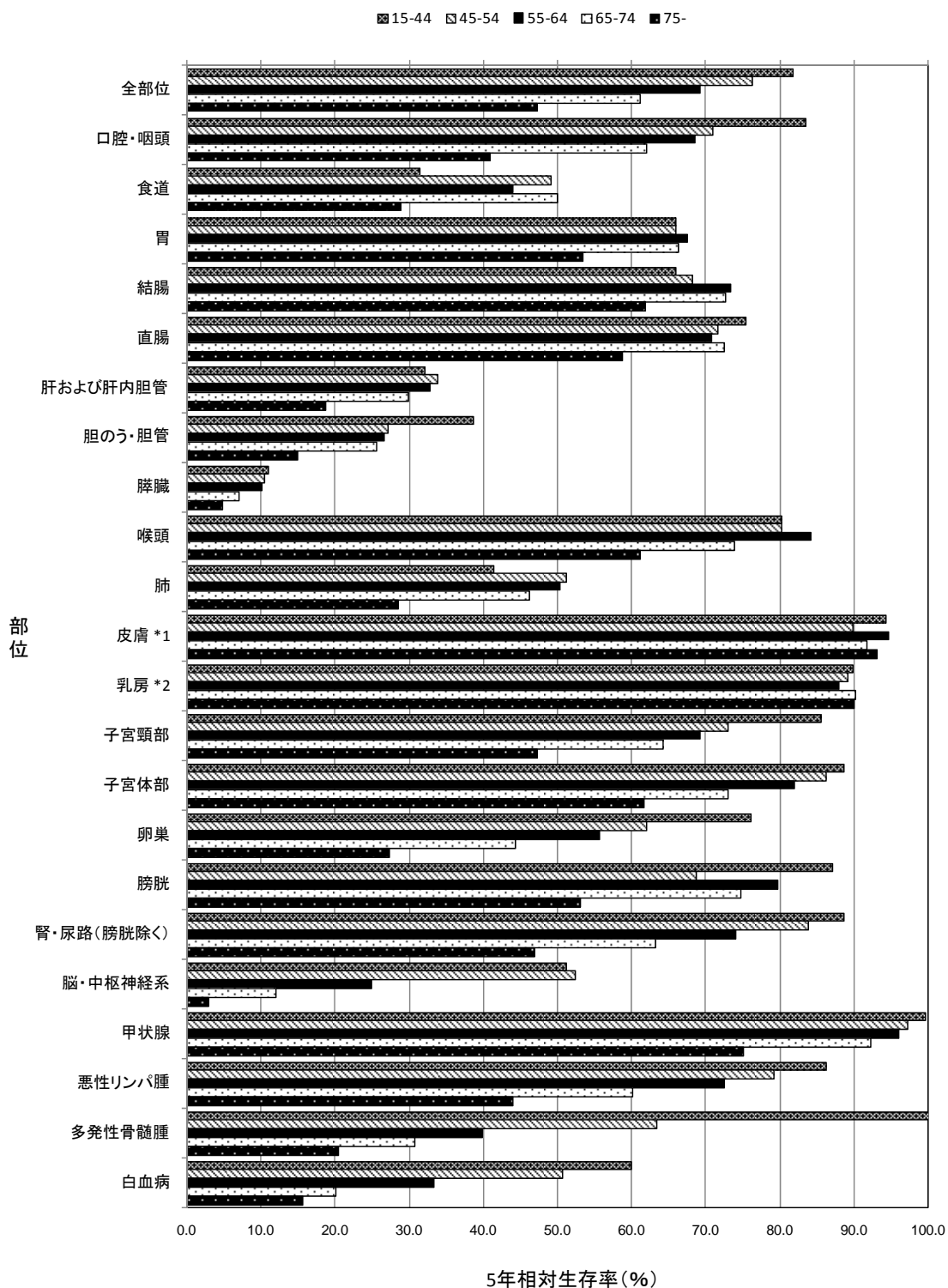
図 3 臨床進行度別 5 年相対生存率 (解析対象 2)



*1 悪性黒色腫を含む

図 4 年齢階級別 5年相対生存率 (解析対象 2 男性)

全国生存率集計値



*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

図 5 年齢階級別 5年相対生存率 (解析対象 2 女性)

地域別集計表

地域別集計表

地域別集計表について

各地域の地域がん登録の概況

本報告書を編集するにあたりMCIJ2008への参加時点での、各地域の地域がん登録事業の概況の記述を、各中央登録室に依頼した。

がん罹患および生存率に関わる各地域の状況を理解しやすくするため、地理的環境、気候、産業構造に関する記述を含めた。同時に、地域の人口の年齢構成を一目で把握できるように、人口ピラミッドを示した。なお、人口ピラミッドの尺度は、大規模県（大阪）においては最大値を400,000とし、他の県においては規模に合わせて最大値を200,000もしくは100,000とした。

更に地域のがん医療を概観し、患者の受診行動を把握するために、医療施設として、がん診療連携拠点病院をはじめとしたがん診療に関わる施設の整備状況の記述を依頼した。

地域がん登録事業と登録方法では、医師会、がんセンター、大学等への委託の形式や、地域がん登録実務における各県の特徴の記述を依頼した。地域がん登録事業開始の経緯や、各機関の連携、届出・出張採録の別、などがこれにあたる。

データ解釈上の注意として、各地域固有の問題についての記述を依頼した。更に、読者が各地域のデータを閲覧する上で留意すべき点などの記述を含めた。

集計表

各県の集計表は、表19の集計用部位分類

コードに基づいてまとめた。我が国では、DCO割合が他国と比して高く、がん死亡情報からの遡り調査による登録を集計対象に含めると、集計対象者が死亡例に偏り、生存率を実際より低く見積もる可能性がある。また、遡り調査を実施していない登録室も多いため、解析対象1を標準方式として採用すると、生存率の都道府県別比較が困難となる。このような理由から、解析対象2を我が国の標準方式と定め、地域別集計表においては、解析対象2のみ（標準集計表の部位のみ）を掲載している。

地域別集計表を閲覧する上の注意事項

p.27でも述べたとおり、生存確認調査の方法として、住民票照会か全死亡情報との照合との差は無視できず、県間の比較を実施するには、生存確認調査の方法の統一を含めて更に標準化の推進が必要となる。

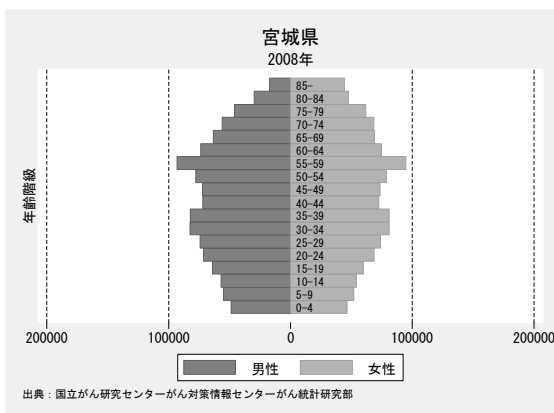
更に、年齢構成の異なる集団で生存率を比較する場合には、厳密に言えば、年齢調整相対生存率を計測しなければならない。他死因による死亡の影響は、相対生存率を用いることにより補正することができるが、対象集団の年齢分布の違いにより生じる生存率の差は、相対生存率のみで補正することはできない。年齢分布の違いを補正し、比較可能な生存率を計算するためには、罹患率あるいは死亡率の場合と同様に、年齢補正を行う必要がある。こうしたことから、地域別集計表は、県間の数値を詳細に比較するためのものではない。

04 宮城県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|-------------|-------------|-------|
| 宮城県がん登録管理事業 | 1959(昭和34年) | (財)宮城県対がん協会 | がん登録室 |

地域の概況

宮城県は東北地方の太平洋側、北緯 37 度から 39 度、東経 140 度から 141 度に位置する。2010 年国勢調査人口は 2,348,165 (男 1,139,566、女 1,208,599) であり、うち外国人は 12,367、65 歳以上人口の割合は 22.3%である。人口の約 4 割は政令指定都市である仙台市に居住している。



地域の医療施設

宮城県は東北大学病院と宮城県立がんセンターの 2 施設が都道府県がん診療連携拠点病院に指定されており、他に仙台市内の 3 施設と大崎市、石巻市のそれぞれ 1 施設が地域がん診療連携拠点病院に指定されている。仙台市にはこれらのがん診療連携拠点病院以外にも多くのがん患者の診断、治療を行っている施設が幾つか存在する。県

境の一部の地域を除いては県外の医療機関で診療を受ける者の割合はわずかであると推定される。

地域がん登録事業と登録方法

宮城県におけるがん罹患調査は東北大学医学部公衆衛生学講座の瀬木三雄教授により 1951-1953 年の罹患について最初に行われ、その後 1959 年より地域がん登録事業として継続的なデータの収集が行われている。現在は公益財団法人宮城県対がん協会が宮城県より委託を受け事業を実施している。出張採録によるデータ収集を積極的に実施しており、対象期間における収集症例の約 6 割は出張採録から得られたものである。

データ解釈上の注意

本県の 5 年相対生存率は進行度別にみても全般に全国集計値と比べ高い値を示している。このことの解釈にあたっては、(1) IM 比、DCN 割合からみた本県の登録精度は全国集計の対象選択基準を上回る高いものであり、生存例の登録漏れが少ない可能性、(2) 住民票照会未実施による他県転出後死亡者の把握漏れの存在、等にも留意する必要がある。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:宮城県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|--------|------------|-----|--------|------------|------|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 16,970 | 62.7 | 0.5 | 12,060 | 68.1 | 0.5 | 29,030 | 65.0 | 0.3 |
| 口腔・咽頭 | 329 | 52.9 | 3.1 | 117 | 58.6 | 5.0 | 446 | 54.5 | 2.6 |
| 食道 | 796 | 38.6 | 1.9 | 146 | 51.8 | 4.5 | 942 | 40.7 | 1.8 |
| 胃 | 3,735 | 71.5 | 0.9 | 1,645 | 68.0 | 1.3 | 5,380 | 70.4 | 0.8 |
| 大腸（結腸・直腸） | 2,491 | 73.5 | 1.1 | 2,100 | 70.4 | 1.2 | 4,591 | 72.1 | 0.8 |
| 結腸 | 1,481 | 76.6 | 1.5 | 1,456 | 69.8 | 1.5 | 2,937 | 73.2 | 1.0 |
| 直腸 | 1,010 | 69.1 | 1.8 | 644 | 71.7 | 2.1 | 1,654 | 70.1 | 1.3 |
| 肝および肝内胆管 | 766 | 28.8 | 1.8 | 383 | 26.8 | 2.4 | 1,149 | 28.1 | 1.4 |
| 胆のう・胆管 | 372 | 29.7 | 2.7 | 370 | 24.2 | 2.4 | 742 | 26.9 | 1.8 |
| 膵臓 | 455 | 9.2 | 1.5 | 359 | 9.1 | 1.6 | 814 | 9.2 | 1.1 |
| 喉頭 | 182 | 72.3 | 4.2 | 10 | 72.2 | 15.5 | 192 | 72.5 | 4.1 |
| 肺 | 2,288 | 27.0 | 1.0 | 858 | 43.1 | 1.8 | 3,146 | 31.5 | 0.9 |
| 皮膚 *1 | 240 | 87.4 | 3.8 | 264 | 93.8 | 3.1 | 504 | 91.9 | 2.4 |
| 乳房 *2 | | | | 2,808 | 90.4 | 0.7 | 2,808 | 90.4 | 0.7 |
| 子宮 | | | | 676 | 75.4 | 1.8 | 676 | 75.4 | 1.8 |
| 子宮頸部 | | | | 341 | 75.6 | 2.5 | 341 | 75.6 | 2.5 |
| 子宮体部 | | | | 314 | 77.3 | 2.6 | 314 | 77.3 | 2.6 |
| 卵巣 | | | | 377 | 56.4 | 2.6 | 377 | 56.4 | 2.6 |
| 前立腺 | 2,928 | 97.8 | 0.9 | | | | 2,928 | 97.8 | 0.9 |
| 膀胱 | 435 | 72.9 | 2.9 | 150 | 65.5 | 4.7 | 585 | 71.0 | 2.5 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 500 | 73.9 | 2.4 | 232 | 70.3 | 3.4 | 732 | 72.8 | 2.0 |
| 脳・中枢神経系 | 92 | 36.4 | 5.2 | 65 | 39.1 | 6.2 | 157 | 37.6 | 4.0 |
| 甲状腺 | 122 | 94.6 | 3.3 | 513 | 97.3 | 1.0 | 635 | 96.9 | 1.0 |
| 悪性リンパ腫 | 406 | 62.4 | 2.8 | 396 | 71.8 | 2.6 | 802 | 67.1 | 1.9 |
| 多発性骨髄腫 | 97 | 30.0 | 5.2 | 87 | 32.9 | 5.6 | 184 | 31.4 | 3.8 |
| 白血病 | 214 | 39.2 | 3.5 | 161 | 45.2 | 4.1 | 375 | 41.9 | 2.7 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:宮城県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|--------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 11,066 | 38.1 | 7,341 | 25.3 | 4,661 | 16.1 | 20.5 |
| 口腔・咽頭 | 92 | 20.6 | 237 | 53.1 | 20 | 4.5 | 21.7 |
| 食道 | 253 | 26.9 | 382 | 40.6 | 150 | 15.9 | 16.7 |
| 胃 | 3,035 | 56.4 | 1,072 | 19.9 | 803 | 14.9 | 8.7 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,978 | 43.1 | 1,398 | 30.5 | 799 | 17.4 | 9.1 |
| 結腸 | 1,302 | 44.3 | 848 | 28.9 | 547 | 18.6 | 8.2 |
| 直腸 | 676 | 40.9 | 550 | 33.3 | 252 | 15.2 | 10.6 |
| 肝および肝内胆管 | 346 | 30.1 | 187 | 16.3 | 87 | 7.6 | 46.0 |
| 胆のう・胆管 | 74 | 10.0 | 324 | 43.7 | 134 | 18.1 | 28.3 |
| 膵臓 | 40 | 4.9 | 254 | 31.2 | 379 | 46.6 | 17.3 |
| 喉頭 | 105 | 54.7 | 47 | 24.5 | 4 | 2.1 | 18.8 |
| 肺 | 739 | 23.5 | 864 | 27.5 | 944 | 30.0 | 19.0 |
| 皮膚 *1 | 233 | 46.2 | 57 | 11.3 | 6 | 1.2 | 41.3 |
| 乳房 *2 | 1,645 | 58.3 | 871 | 30.9 | 149 | 5.3 | 5.5 |
| 子宮 | 316 | 46.7 | 196 | 29.0 | 53 | 7.8 | 16.4 |
| 子宮頸部 | 145 | 42.5 | 125 | 36.7 | 22 | 6.5 | 14.4 |
| 子宮体部 | 168 | 53.5 | 70 | 22.3 | 28 | 8.9 | 15.3 |
| 卵巣 | 47 | 12.5 | 204 | 54.1 | 38 | 10.1 | 23.3 |
| 前立腺 | 1,070 | 36.5 | 480 | 16.4 | 245 | 8.4 | 38.7 |
| 膀胱 | 270 | 46.2 | 69 | 11.8 | 22 | 3.8 | 38.3 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 383 | 52.3 | 133 | 18.2 | 113 | 15.4 | 14.1 |
| 脳・中枢神経系 | 17 | 10.8 | 2 | 1.3 | 1 | 0.6 | 87.3 |
| 甲状腺 | 203 | 32.0 | 369 | 58.1 | 23 | 3.6 | 6.3 |
| 悪性リンパ腫 | 75 | 9.4 | 74 | 9.2 | 217 | 27.1 | 54.4 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:宮城県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|------|--------|-----|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 95.4 | 0.4 | 58.9 | 0.7 | 14.7 | 0.6 |
| 口腔・咽頭 | 71.4 | 5.6 | 50.1 | 3.6 | 11.1 | 7.6 |
| 食道 | 81.5 | 3.3 | 32.8 | 2.6 | 3.8 | 1.7 |
| 胃 | 99.0 | 0.7 | 50.4 | 1.7 | 6.3 | 0.9 |
| 大腸（結腸・直腸） | 99.2 | 0.9 | 70.0 | 1.5 | 11.6 | 1.2 |
| 結腸 | 99.7 | 1.1 | 72.3 | 1.9 | 11.3 | 1.5 |
| 直腸 | 96.8 | 1.5 | 66.6 | 2.4 | 12.1 | 2.2 |
| 肝および肝内胆管 | 48.6 | 3.0 | 18.1 | 3.0 | 2.5 | 1.7 |
| 胆のう・胆管 | 80.9 | 6.1 | 33.4 | 2.9 | 3.2 | 1.6 |
| 膵臓 | 49.8 | 8.7 | 15.1 | 2.4 | 2.1 | 0.8 |
| 喉頭 | 87.9 | 4.8 | 46.2 | 8.2 | 25.5 | 23.4 |
| 肺 | 80.1 | 1.9 | 30.0 | 1.7 | 5.6 | 0.8 |
| 皮膚 *1 | 96.0 | 3.5 | 68.8 | 7.6 | 0.0 | 0.0 |
| 乳房 *2 | 98.0 | 0.6 | 87.6 | 1.3 | 36.1 | 4.0 |
| 子宮 | 94.3 | 1.7 | 64.5 | 3.6 | 5.9 | 3.3 |
| 子宮頸部 | 95.6 | 2.1 | 64.4 | 4.6 | 0.0 | 0.0 |
| 子宮体部 | 93.3 | 2.5 | 65.1 | 6.0 | 11.1 | 6.1 |
| 卵巣 | 94.4 | 3.7 | 49.1 | 3.6 | 21.9 | 6.9 |
| 前立腺 | 100.0 | 1.0 | 98.5 | 2.0 | 40.4 | 3.8 |
| 膀胱 | 85.5 | 3.3 | 33.9 | 6.4 | 10.1 | 7.1 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 95.1 | 1.9 | 54.7 | 4.9 | 16.9 | 3.8 |
| 脳・中枢神経系 | 47.4 | 12.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 甲状腺 | 100.0 | 0.7 | 97.6 | 1.2 | 41.4 | 11.2 |
| 悪性リンパ腫 | 87.6 | 5.0 | 75.2 | 5.8 | 59.8 | 3.7 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

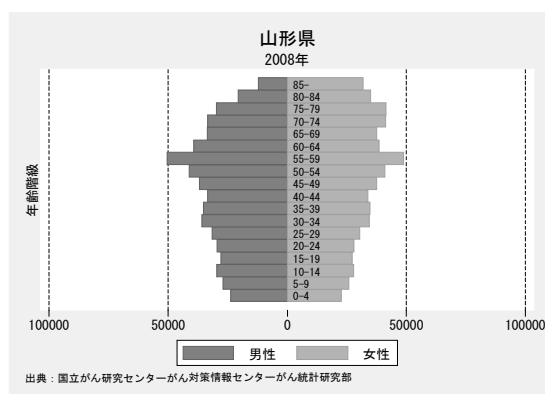
*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

06 山形県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|-------------|------------------|-------|
| 山形県がん実態調査 | 1974(昭和49年) | 山形県立がん・生活習慣病センター | がん対策部 |

地域の概況

山形県は東北地方日本海側に位置し、北は秋田県、東は宮城県、南は福島県と新潟県と接する。面積は9,323 km²であるが、3分の2は森林である。平成17年10月1日現在の県推計人口は122万人、老年人口の割合は平成17年で25.5%である。県の主な産業は第2・3次産業であり、第1次産業のうち農業従事者は成人の11%である。



地域の医療施設

山形県では、平成20年2月8日付で県立中央病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、平成22年1月現在、4つの2次保健医療圏に対して6施設ががん診療連携拠点病院に指定されている。高度医療を求め東京都と宮城県、交通事情から新潟県と福島県の医療機関に受診する場合があります。

県がん患者の約10%が県外で治療していると想定される。

地域がん登録事業と登録方法

地域がん登録事業は1974年に県立中央病院の院内がん登録を母体として、県と医師会の協力の下に開始された。長年、県立中央病院からの届出が約2・3割を占めていたが、近年、拠点病院からの届出が増加し、その割合は約6割を占めている。登録患者の生死の確認は、罹患年から5年、10年の節目に住民票照会にて行ってきた。2002年以降は死亡小票全照合も行っている。

データ解釈上の注意

解析対象は、前回(2000-2002年)と比較して、DCOによる除外は減じたが、DCNによる除外が増加したため、全数に占める解析対象2の割合は少し小さくなった。他、第2がん以降、上皮内癌、悪性以外で解析対象外になる割合もそれぞれ増加している。全部位の生存率が前回と比較して約6%(男性は約9%、女性は約3%)上昇した。2003年、前立腺癌の罹患登録が急増したことによる影響が大きいと考える。解析対象数が100人未満の部位については、他地域との比較に際してはそれを考慮する必要がある。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:山形県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|-------|------------|-----|-------|------------|-----|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 8,772 | 65.6 | 0.6 | 6,449 | 67.1 | 0.7 | 15,221 | 66.3 | 0.5 |
| 口腔・咽頭 | 181 | 51.5 | 4.2 | 107 | 63.1 | 5.3 | 288 | 55.9 | 3.3 |
| 食道 | 352 | 38.1 | 2.9 | 61 | 52.1 | 7.2 | 413 | 40.2 | 2.7 |
| 胃 | 2,524 | 70.6 | 1.2 | 1,241 | 69.9 | 1.6 | 3,765 | 70.4 | 0.9 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,424 | 76.0 | 1.5 | 1,224 | 72.7 | 1.6 | 2,648 | 74.5 | 1.1 |
| 結腸 | 857 | 77.0 | 2.0 | 902 | 71.8 | 1.9 | 1,759 | 74.3 | 1.4 |
| 直腸 | 567 | 74.6 | 2.4 | 322 | 75.3 | 3.0 | 889 | 74.8 | 1.9 |
| 肝および肝内胆管 | 252 | 31.6 | 3.3 | 151 | 21.0 | 3.6 | 403 | 27.5 | 2.5 |
| 胆のう・胆管 | 171 | 29.6 | 4.1 | 243 | 27.6 | 3.2 | 414 | 28.5 | 2.5 |
| 膵臓 | 187 | 7.7 | 2.2 | 176 | 5.9 | 1.9 | 363 | 6.8 | 1.5 |
| 喉頭 | 92 | 86.9 | 5.5 | 2 | 0.0 | 0.0 | 94 | 85.1 | 5.5 |
| 肺 | 982 | 29.8 | 1.7 | 422 | 50.3 | 2.7 | 1,404 | 36.0 | 1.4 |
| 皮膚 *1 | 134 | 84.8 | 5.8 | 174 | 89.3 | 4.5 | 308 | 87.9 | 3.6 |
| 乳房 *2 | | | | 1,142 | 88.6 | 1.2 | 1,142 | 88.6 | 1.2 |
| 子宮 | | | | 418 | 79.7 | 2.2 | 418 | 79.7 | 2.2 |
| 子宮頸部 | | | | 202 | 74.6 | 3.3 | 202 | 74.6 | 3.3 |
| 子宮体部 | | | | 214 | 84.7 | 2.8 | 214 | 84.7 | 2.8 |
| 卵巣 | | | | 197 | 52.7 | 3.7 | 197 | 52.7 | 3.7 |
| 前立腺 | 1,324 | 98.6 | 1.5 | | | | 1,324 | 98.6 | 1.5 |
| 膀胱 | 306 | 79.7 | 3.4 | 124 | 64.8 | 5.4 | 430 | 75.3 | 2.9 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 217 | 75.5 | 3.7 | 122 | 60.6 | 5.0 | 339 | 70.1 | 3.0 |
| 脳・中枢神経系 | 51 | 32.8 | 6.8 | 47 | 24.1 | 6.4 | 98 | 28.7 | 4.7 |
| 甲状腺 | 42 | 89.5 | 6.1 | 188 | 95.2 | 2.0 | 230 | 94.7 | 2.0 |
| 悪性リンパ腫 | 180 | 55.4 | 4.4 | 150 | 60.9 | 4.4 | 330 | 58.0 | 3.1 |
| 多発性骨髄腫 | 34 | 29.5 | 9.1 | 47 | 25.9 | 6.8 | 81 | 27.3 | 5.5 |
| 白血病 | 88 | 36.8 | 5.4 | 50 | 24.9 | 6.3 | 138 | 32.5 | 4.2 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:山形県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 7,203 | 47.3 | 3,908 | 25.7 | 2,316 | 15.2 | 11.8 |
| 口腔・咽頭 | 94 | 32.6 | 152 | 52.8 | 13 | 4.5 | 10.1 |
| 食道 | 110 | 26.6 | 177 | 42.9 | 71 | 17.2 | 13.3 |
| 胃 | 2,054 | 54.6 | 880 | 23.4 | 574 | 15.2 | 6.8 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,315 | 49.7 | 769 | 29.0 | 408 | 15.4 | 5.9 |
| 結腸 | 888 | 50.5 | 494 | 28.1 | 273 | 15.5 | 5.9 |
| 直腸 | 427 | 48.0 | 275 | 30.9 | 135 | 15.2 | 5.8 |
| 肝および肝内胆管 | 200 | 49.6 | 50 | 12.4 | 42 | 10.4 | 27.5 |
| 胆のう・胆管 | 88 | 21.3 | 155 | 37.4 | 87 | 21.0 | 20.3 |
| 膵臓 | 23 | 6.3 | 120 | 33.1 | 154 | 42.4 | 18.2 |
| 喉頭 | 72 | 76.6 | 13 | 13.8 | 1 | 1.1 | 8.5 |
| 肺 | 430 | 30.6 | 399 | 28.4 | 414 | 29.5 | 11.5 |
| 皮膚 *1 | 236 | 76.6 | 26 | 8.4 | 4 | 1.3 | 13.6 |
| 乳房 *2 | 678 | 59.0 | 358 | 31.1 | 59 | 5.1 | 4.8 |
| 子宮 | 270 | 64.6 | 96 | 23.0 | 28 | 6.7 | 5.7 |
| 子宮頸部 | 124 | 61.4 | 50 | 24.8 | 13 | 6.4 | 7.4 |
| 子宮体部 | 144 | 67.3 | 46 | 21.5 | 15 | 7.0 | 4.2 |
| 卵巣 | 66 | 33.5 | 82 | 41.6 | 35 | 17.8 | 7.1 |
| 前立腺 | 764 | 57.7 | 248 | 18.7 | 184 | 13.9 | 9.7 |
| 膀胱 | 293 | 68.1 | 58 | 13.5 | 21 | 4.9 | 13.5 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 210 | 61.9 | 78 | 23.0 | 33 | 9.7 | 5.3 |
| 脳・中枢神経系 | 14 | 14.3 | 5 | 5.1 | 0 | 0.0 | 80.6 |
| 甲状腺 | 91 | 39.6 | 114 | 49.6 | 13 | 5.7 | 5.2 |
| 悪性リンパ腫 | 54 | 16.4 | 36 | 10.9 | 83 | 25.2 | 47.6 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:山形県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|------|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 95.0 | 0.5 | 57.8 | 0.9 | 13.5 | 0.8 |
| 口腔・咽頭 | 77.5 | 5.3 | 47.9 | 4.5 | 16.4 | 11.0 |
| 食道 | 75.4 | 5.2 | 36.9 | 4.0 | 4.6 | 2.6 |
| 胃 | 98.3 | 0.9 | 58.2 | 2.0 | 6.6 | 1.1 |
| 大腸(結腸・直腸) | 98.3 | 1.2 | 74.1 | 2.1 | 11.8 | 1.7 |
| 結腸 | 98.2 | 1.5 | 74.0 | 2.6 | 10.3 | 2.0 |
| 直腸 | 98.1 | 2.0 | 74.5 | 3.4 | 14.7 | 3.2 |
| 肝および肝内胆管 | 40.8 | 3.9 | 6.7 | 4.0 | 5.4 | 4.0 |
| 胆のう・胆管 | 81.8 | 5.5 | 21.0 | 3.7 | 1.2 | 1.2 |
| 膵臓 | 51.6 | 11.8 | 7.2 | 2.7 | 1.4 | 1.0 |
| 喉頭 | 94.1 | 5.4 | 47.8 | 16.8 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 85.8 | 2.4 | 23.6 | 2.3 | 2.8 | 0.9 |
| 皮膚 *1 | 93.2 | 4.0 | 51.2 | 12.7 | 25.3 | 22.6 |
| 乳房 *2 | 97.8 | 1.1 | 83.2 | 2.3 | 28.7 | 6.1 |
| 子宮 | 96.2 | 1.6 | 60.2 | 5.4 | 22.3 | 8.3 |
| 子宮頸部 | 94.0 | 2.4 | 50.5 | 7.7 | 15.7 | 10.6 |
| 子宮体部 | 98.5 | 1.9 | 69.8 | 7.3 | 27.8 | 12.2 |
| 卵巣 | 87.4 | 4.6 | 42.4 | 5.7 | 15.5 | 6.4 |
| 前立腺 | 100.0 | 1.5 | 98.6 | 3.2 | 61.2 | 4.9 |
| 膀胱 | 89.6 | 3.2 | 46.5 | 7.8 | 0.0 | 0.0 |
| 腎・尿路(膀胱除く) | 92.8 | 2.9 | 44.4 | 6.6 | 3.6 | 3.5 |
| 脳・中枢神経系 | 30.0 | 12.9 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 甲状腺 | 98.3 | 2.3 | 95.2 | 2.5 | 62.2 | 15.4 |
| 悪性リンパ腫 | 80.3 | 7.1 | 69.4 | 8.8 | 47.5 | 6.0 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2: 解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

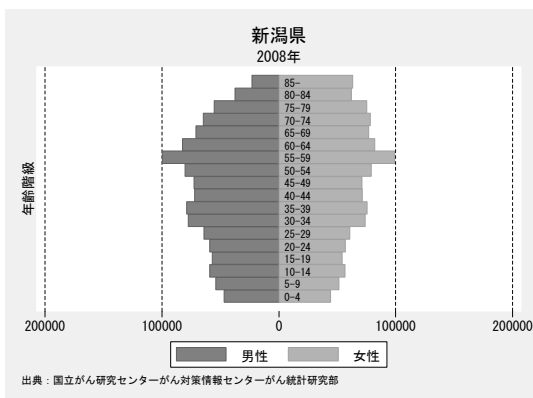
15 新潟県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|--------------|----------------------------|----------|
| 新潟県がん登録事業 | 1991(平成3年)4月 | 県立がんセンター新潟病院 がん予防総合センター | 新潟県がん登録室 |

地域の概況

新潟県は日本海に面した面積、人口ともに大きな県で、面積は約 1 万 km²、人口は約 240 万人、そして本州日本海側に唯一の政令都市である新潟市を有する。

新潟平野や信濃川、阿賀野川と農業・水産資源に恵まれている。また国際空港、国際港があり環日本海の国際都市として整備されている。控えめで粘り強い県民性はその原動力である。



地域の医療施設

平成 19 年 1 月に県立がんセンター新潟病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、平成 22 年 4 月現在、その他に 8 病院が地域がん診療連携拠点病院として認定を受けている。新潟県の医療圏は 7 つと拠点

病院の数とは対応しているが、医療圏ごとの人口はばらつきが大きく、中心都市に集中する拠点病院が、複数の医療圏をカバーしている状況である。

地域がん登録事業と登録方法

新潟県がん登録事業は平成 3 年 4 月に開始された。現在は福祉保健部が主体となり、新潟県医師会の協力のもと、新潟県健康づくり財団が取りまとめた届出票を新潟県がん登録室が登録を行っている。

届出にあたって新潟県診療録管理懇話会の協力も大きい存在である。

現在は都市部からの届出はかなり良いが医師不足が顕著な地域ではがん登録の体制づくりもままならない状況である。

データ解釈上の注意

新潟県の登録精度は年々向上しており、平成 20 年のデータでは DCO% は 5.6% であるが、今回使用したのは平成 15 年-17 年のデータなので DCO% は 16.4% である。また医療圏ごとのばらつきがあるので特定の地域からの届出漏れが隠れている可能性がある。今後、登録精度を良くして、より正確なデータを算出できるようにしたい。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:新潟県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|--------|------------|-----|--------|------------|------|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 18,237 | 56.2 | 0.4 | 13,628 | 63.3 | 0.5 | 31,865 | 59.3 | 0.3 |
| 口腔・咽頭 | 275 | 39.7 | 3.3 | 150 | 50.7 | 4.4 | 425 | 43.6 | 2.7 |
| 食道 | 927 | 37.0 | 1.8 | 163 | 45.5 | 4.3 | 1,090 | 38.3 | 1.6 |
| 胃 | 4,751 | 67.9 | 0.9 | 2,364 | 64.4 | 1.2 | 7,115 | 66.8 | 0.7 |
| 大腸（結腸・直腸） | 3,520 | 74.7 | 1.0 | 2,622 | 69.8 | 1.1 | 6,142 | 72.6 | 0.7 |
| 結腸 | 2,169 | 76.0 | 1.2 | 1,865 | 69.7 | 1.3 | 4,034 | 73.1 | 0.9 |
| 直腸 | 1,351 | 72.7 | 1.5 | 757 | 70.1 | 2.0 | 2,108 | 71.8 | 1.2 |
| 肝および肝内胆管 | 719 | 26.8 | 1.8 | 389 | 21.1 | 2.2 | 1,108 | 24.8 | 1.4 |
| 胆のう・胆管 | 445 | 23.2 | 2.3 | 561 | 18.4 | 1.8 | 1,006 | 20.5 | 1.4 |
| 膵臓 | 597 | 6.1 | 1.1 | 486 | 7.8 | 1.3 | 1,083 | 6.9 | 0.8 |
| 喉頭 | 186 | 78.8 | 4.1 | 9 | 57.2 | 19.3 | 195 | 78.1 | 4.0 |
| 肺 | 2,797 | 26.6 | 1.0 | 1,027 | 50.0 | 1.7 | 3,824 | 33.0 | 0.9 |
| 皮膚 *1 | 180 | 85.8 | 4.2 | 177 | 88.4 | 4.2 | 357 | 87.7 | 3.0 |
| 乳房 *2 | | | | 2,628 | 90.0 | 0.7 | 2,628 | 90.0 | 0.7 |
| 子宮 | | | | 876 | 77.2 | 1.5 | 876 | 77.2 | 1.5 |
| 子宮頸部 | | | | 441 | 77.1 | 2.1 | 441 | 77.1 | 2.1 |
| 子宮体部 | | | | 420 | 80.0 | 2.1 | 420 | 80.0 | 2.1 |
| 卵巣 | | | | 426 | 58.8 | 2.5 | 426 | 58.8 | 2.5 |
| 前立腺 | 1,468 | 85.6 | 1.5 | | | | 1,468 | 85.6 | 1.5 |
| 膀胱 | 541 | 73.8 | 2.6 | 181 | 60.0 | 4.3 | 722 | 70.5 | 2.3 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 404 | 60.0 | 2.9 | 195 | 46.3 | 3.9 | 599 | 55.5 | 2.3 |
| 脳・中枢神経系 | 89 | 30.7 | 5.1 | 75 | 30.4 | 5.5 | 164 | 30.6 | 3.7 |
| 甲状腺 | 86 | 86.8 | 4.5 | 273 | 91.0 | 2.2 | 359 | 90.0 | 2.0 |
| 悪性リンパ腫 | 355 | 49.9 | 3.0 | 296 | 56.6 | 3.2 | 651 | 53.0 | 2.2 |
| 多発性骨髄腫 | 109 | 29.7 | 5.0 | 116 | 30.6 | 4.7 | 225 | 30.2 | 3.4 |
| 白血病 | 228 | 37.8 | 3.4 | 171 | 37.7 | 3.9 | 399 | 37.8 | 2.6 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:新潟県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|-------------|--------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 15,771 | 49.5 | 7,960 | 25.0 | 5,262 | 16.5 | 9.0 |
| 口腔・咽頭 | 157 | 36.9 | 219 | 51.5 | 11 | 2.6 | 8.9 |
| 食道 | 423 | 38.8 | 479 | 43.9 | 143 | 13.1 | 4.1 |
| 胃 | 3,922 | 55.1 | 1,769 | 24.9 | 1,084 | 15.2 | 4.8 |
| 大腸 (結腸・直腸) | 3,453 | 56.2 | 1,495 | 24.3 | 961 | 15.6 | 3.8 |
| 結腸 | 2,288 | 56.7 | 948 | 23.5 | 652 | 16.2 | 3.6 |
| 直腸 | 1,165 | 55.3 | 547 | 25.9 | 309 | 14.7 | 4.1 |
| 肝および肝内胆管 | 720 | 65.0 | 128 | 11.6 | 114 | 10.3 | 13.2 |
| 胆のう・胆管 | 255 | 25.3 | 443 | 44.0 | 196 | 19.5 | 11.1 |
| 膵臓 | 105 | 9.7 | 435 | 40.2 | 463 | 42.8 | 7.4 |
| 喉頭 | 146 | 74.9 | 40 | 20.5 | 1 | 0.5 | 4.1 |
| 肺 | 1,343 | 35.1 | 1,139 | 29.8 | 1,098 | 28.7 | 6.4 |
| 皮膚 *1 | 297 | 83.2 | 34 | 9.5 | 13 | 3.6 | 3.6 |
| 乳房 *2 | 1,607 | 60.9 | 808 | 30.6 | 133 | 5.0 | 3.5 |
| 子宮 | 602 | 68.7 | 186 | 21.2 | 68 | 7.8 | 2.3 |
| 子宮頸部 | 301 | 68.3 | 114 | 25.9 | 21 | 4.8 | 1.1 |
| 子宮体部 | 298 | 71.0 | 70 | 16.7 | 42 | 10.0 | 2.4 |
| 卵巣 | 170 | 39.9 | 142 | 33.3 | 83 | 19.5 | 7.3 |
| 前立腺 | 990 | 67.4 | 94 | 6.4 | 279 | 19.0 | 7.2 |
| 膀胱 | 561 | 77.7 | 64 | 8.9 | 47 | 6.5 | 6.9 |
| 腎・尿路 (膀胱除く) | 336 | 56.1 | 81 | 13.5 | 141 | 23.5 | 6.8 |
| 脳・中枢神経系 | 131 | 79.9 | 9 | 5.5 | 1 | 0.6 | 14.0 |
| 甲状腺 | 134 | 37.3 | 192 | 53.5 | 28 | 7.8 | 1.4 |
| 悪性リンパ腫 | 85 | 13.1 | 14 | 2.2 | 21 | 3.2 | 81.6 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2 : 解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:新潟県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|------|-----|--------|------|-------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 88.9 | 0.4 | 43.7 | 0.6 | 9.7 | 0.4 |
| 口腔・咽頭 | 68.2 | 4.3 | 33.4 | 3.4 | 0.0 | 0.0 |
| 食道 | 70.7 | 2.8 | 23.3 | 2.1 | 3.9 | 1.8 |
| 胃 | 96.7 | 0.7 | 45.5 | 1.3 | 4.6 | 0.7 |
| 大腸（結腸・直腸） | 97.0 | 0.7 | 62.7 | 1.5 | 12.2 | 1.1 |
| 結腸 | 97.1 | 0.9 | 64.5 | 1.9 | 12.1 | 1.4 |
| 直腸 | 96.8 | 1.2 | 59.6 | 2.4 | 12.4 | 2.0 |
| 肝および肝内胆管 | 33.9 | 2.0 | 6.9 | 2.4 | 4.1 | 2.0 |
| 胆のう・胆管 | 51.4 | 3.8 | 14.4 | 1.8 | 1.1 | 0.8 |
| 膵臓 | 36.8 | 5.2 | 7.0 | 1.3 | 1.0 | 0.5 |
| 喉頭 | 89.5 | 4.2 | 46.2 | 9.0 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 73.7 | 1.5 | 18.1 | 1.3 | 3.4 | 0.6 |
| 皮膚 *1 | 96.3 | 3.0 | 65.9 | 10.4 | 8.4 | 8.4 |
| 乳房 *2 | 99.5 | 0.6 | 82.9 | 1.5 | 27.8 | 4.0 |
| 子宮 | 93.8 | 1.2 | 50.8 | 3.8 | 15.5 | 4.5 |
| 子宮頸部 | 92.7 | 1.7 | 48.1 | 4.9 | 14.6 | 7.8 |
| 子宮体部 | 95.8 | 1.6 | 56.2 | 6.2 | 17.7 | 6.1 |
| 卵巣 | 91.0 | 2.5 | 45.4 | 4.4 | 25.2 | 4.9 |
| 前立腺 | 98.7 | 1.4 | 73.2 | 6.5 | 40.4 | 3.6 |
| 膀胱 | 86.9 | 2.3 | 8.0 | 3.9 | 7.2 | 4.1 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 86.1 | 2.6 | 20.8 | 5.1 | 11.6 | 2.9 |
| 脳・中枢神経系 | 32.5 | 4.2 | 33.7 | 15.9 | 100.0 | 0.0 |
| 甲状腺 | 99.1 | 1.7 | 88.7 | 2.7 | 53.4 | 10.5 |
| 悪性リンパ腫 | 64.1 | 6.0 | 70.4 | 14.8 | 46.1 | 12.0 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

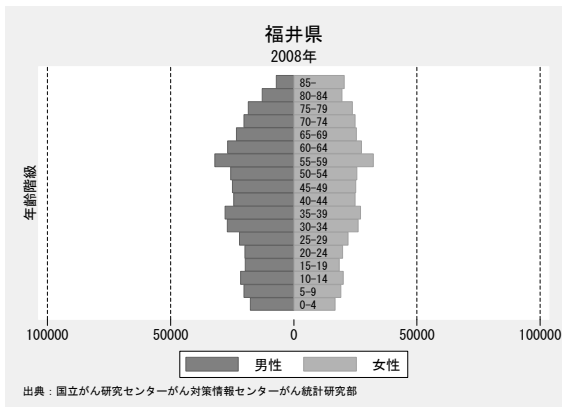
*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

18 福井県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|---------------|------|---------------|
| 福井県がん登録事業 | 1985(昭和60年)4月 | 福井県庁 | 福井県健康福祉部健康増進課 |

地域の概況

福井県は、本州のほぼ真ん中の日本海側に位置し、人口は約 80 万人、面積は約 4,189km²である。福井県の主な産業としては、合繊織物を中心として総合産地を形成する繊維産業をはじめ、機械産業、眼鏡産業などが挙げられる。また、農業ではコシヒカリに代表されるおいしい米の生産地として知られている。一方、福井県には多くの原子力発電所があり、関西経済圏へ多くのエネルギーを供給している。



地域の医療施設

福井県は、福井・坂井、奥越、丹南、嶺南の 4 つの二次医療圏に分かれており、それぞれの地域特性に応じて、医療体制の整

備を進めている。県では、平成 19 年 1 月 31 日付で福井県立病院を都道府県がん診療連携拠点病院として、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、国立病院機構福井病院をそれぞれの二次医療圏の地域がん診療連携拠点病院として指定している。

地域がん登録事業と登録方法

福井県がん登録事業は、昭和 59 年に県医師会主導により開始されたもので、昭和 60 年からは県のがん登録事業に発展し、現在に至っている。医師会を通じて、医療機関からの届出票が提出され、県のがん登録室で登録・集計作業を行っている。本県のがん登録事業は DCO 割合が 5%前後と高い精度を維持しているが、医師会により調査が開始されたことや、県外への患者流出が少ないこと、人口規模が小さく、医療機関数が多いことなどが要因と考えられる。

データ解釈上の注意

対象者数が 100 人未満と小さい部位については、他地域との比較の際には注意する必要がある。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:福井県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|-------|------------|------|-------|------------|------|-------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 5,689 | 59.8 | 0.8 | 4,186 | 62.7 | 0.8 | 9,875 | 61.1 | 0.6 |
| 口腔・咽頭 | 70 | 59.3 | 6.7 | 34 | 59.6 | 10.0 | 104 | 59.8 | 5.6 |
| 食道 | 150 | 43.6 | 4.6 | 41 | 46.7 | 8.8 | 191 | 44.5 | 4.1 |
| 胃 | 1,380 | 70.5 | 1.6 | 735 | 68.0 | 2.0 | 2,115 | 69.7 | 1.2 |
| 大腸（結腸・直腸） | 859 | 71.2 | 2.0 | 635 | 66.6 | 2.2 | 1,494 | 69.2 | 1.5 |
| 結腸 | 560 | 71.4 | 2.6 | 454 | 68.0 | 2.7 | 1,014 | 69.9 | 1.9 |
| 直腸 | 299 | 70.7 | 3.4 | 181 | 63.2 | 4.1 | 480 | 67.8 | 2.6 |
| 肝および肝内胆管 | 402 | 30.7 | 2.6 | 258 | 29.6 | 3.1 | 660 | 30.2 | 2.0 |
| 胆のう・胆管 | 159 | 19.2 | 3.6 | 172 | 23.2 | 3.6 | 331 | 21.4 | 2.6 |
| 膵臓 | 196 | 6.1 | 1.9 | 187 | 5.8 | 1.8 | 383 | 6.0 | 1.3 |
| 喉頭 | 41 | 74.4 | 8.9 | 1 | 0.0 | 0.0 | 42 | 72.7 | 8.9 |
| 肺 | 755 | 29.2 | 1.9 | 305 | 44.0 | 3.1 | 1,060 | 33.5 | 1.6 |
| 皮膚 *1 | 54 | 88.8 | 8.1 | 44 | 80.4 | 9.4 | 98 | 85.6 | 6.2 |
| 乳房 *2 | | | | 768 | 91.0 | 1.3 | 768 | 91.0 | 1.3 |
| 子宮 | | | | 223 | 73.0 | 3.3 | 223 | 73.0 | 3.3 |
| 子宮頸部 | | | | 130 | 70.0 | 4.4 | 130 | 70.0 | 4.4 |
| 子宮体部 | | | | 86 | 80.0 | 4.8 | 86 | 80.0 | 4.8 |
| 卵巣 | | | | 114 | 56.5 | 5.0 | 114 | 56.5 | 5.0 |
| 前立腺 | 688 | 93.7 | 2.1 | | | | 688 | 93.7 | 2.1 |
| 膀胱 | 263 | 84.8 | 3.6 | 65 | 63.1 | 7.1 | 328 | 80.7 | 3.3 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 166 | 62.9 | 4.6 | 90 | 72.6 | 5.4 | 256 | 66.4 | 3.5 |
| 脳・中枢神経系 | 29 | 49.8 | 9.8 | 29 | 35.4 | 9.1 | 58 | 42.8 | 6.7 |
| 甲状腺 | 55 | 83.3 | 6.0 | 165 | 94.1 | 2.3 | 220 | 92.1 | 2.3 |
| 悪性リンパ腫 | 176 | 59.8 | 4.5 | 128 | 73.0 | 4.5 | 304 | 65.4 | 3.3 |
| 多発性骨髄腫 | 34 | 46.0 | 10.0 | 35 | 25.3 | 7.9 | 69 | 35.2 | 6.4 |
| 白血病 | 59 | 32.6 | 6.4 | 54 | 33.8 | 7.0 | 113 | 33.0 | 4.7 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:福井県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 4,820 | 48.8 | 2,442 | 24.7 | 1,662 | 16.8 | 9.6 |
| 口腔・咽頭 | 56 | 53.8 | 40 | 38.5 | 1 | 1.0 | 6.7 |
| 食道 | 85 | 44.5 | 74 | 38.7 | 22 | 11.5 | 5.2 |
| 胃 | 1,218 | 57.6 | 481 | 22.7 | 325 | 15.4 | 4.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 660 | 44.2 | 466 | 31.2 | 301 | 20.1 | 4.5 |
| 結腸 | 439 | 43.3 | 310 | 30.6 | 219 | 21.6 | 4.5 |
| 直腸 | 221 | 46.0 | 156 | 32.5 | 82 | 17.1 | 4.4 |
| 肝および肝内胆管 | 478 | 72.4 | 71 | 10.8 | 56 | 8.5 | 8.3 |
| 胆のう・胆管 | 93 | 28.1 | 124 | 37.5 | 82 | 24.8 | 9.7 |
| 膵臓 | 33 | 8.6 | 154 | 40.2 | 171 | 44.6 | 6.5 |
| 喉頭 | 31 | 73.8 | 7 | 16.7 | 2 | 4.8 | 4.8 |
| 肺 | 292 | 27.5 | 338 | 31.9 | 312 | 29.4 | 11.1 |
| 皮膚 *1 | 78 | 79.6 | 8 | 8.2 | 7 | 7.1 | 5.1 |
| 乳房 *2 | 436 | 56.2 | 230 | 29.6 | 46 | 5.9 | 8.2 |
| 子宮 | 121 | 54.3 | 58 | 26.0 | 21 | 9.4 | 10.3 |
| 子宮頸部 | 59 | 45.4 | 47 | 36.2 | 10 | 7.7 | 10.8 |
| 子宮体部 | 57 | 66.3 | 10 | 11.6 | 10 | 11.6 | 10.5 |
| 卵巣 | 31 | 27.2 | 44 | 38.6 | 26 | 22.8 | 11.4 |
| 前立腺 | 451 | 65.6 | 82 | 11.9 | 103 | 15.0 | 7.6 |
| 膀胱 | 268 | 81.7 | 29 | 8.8 | 16 | 4.9 | 4.6 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 176 | 68.8 | 37 | 14.5 | 34 | 13.3 | 3.5 |
| 脳・中枢神経系 | 34 | 58.6 | 1 | 1.7 | 0 | 0.0 | 39.7 |
| 甲状腺 | 109 | 49.5 | 96 | 43.6 | 5 | 2.3 | 4.5 |
| 悪性リンパ腫 | 73 | 24.0 | 38 | 12.5 | 68 | 22.4 | 41.1 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:福井県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|------|-----|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 88.2 | 0.7 | 47.9 | 1.2 | 11.1 | 0.8 |
| 口腔・咽頭 | 80.5 | 6.7 | 37.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 |
| 食道 | 70.0 | 6.0 | 31.5 | 6.0 | 0.0 | 0.0 |
| 胃 | 97.8 | 1.2 | 43.9 | 2.6 | 5.7 | 1.4 |
| 大腸（結腸・直腸） | 97.1 | 1.8 | 68.1 | 2.7 | 11.9 | 2.0 |
| 結腸 | 98.1 | 2.1 | 71.5 | 3.3 | 11.6 | 2.3 |
| 直腸 | 93.3 | 3.1 | 61.4 | 4.6 | 12.7 | 4.0 |
| 肝および肝内胆管 | 36.6 | 2.5 | 9.7 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 胆のう・胆管 | 59.3 | 6.4 | 9.8 | 3.0 | 2.7 | 1.9 |
| 膵臓 | 38.2 | 9.4 | 6.8 | 2.2 | 0.0 | 0.0 |
| 喉頭 | 85.7 | 8.5 | 34.3 | 20.5 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 81.6 | 3.0 | 19.5 | 2.4 | 3.2 | 1.1 |
| 皮膚 *1 | 93.8 | 6.2 | 41.1 | 20.4 | 0.0 | 0.0 |
| 乳房 *2 | 98.9 | 1.1 | 86.9 | 2.7 | 33.2 | 7.3 |
| 子宮 | 94.6 | 2.6 | 58.7 | 7.3 | 0.0 | 0.0 |
| 子宮頸部 | 94.5 | 3.4 | 59.1 | 8.2 | 0.0 | 0.0 |
| 子宮体部 | 96.4 | 3.2 | 61.0 | 16.0 | 0.0 | 0.0 |
| 卵巣 | 89.9 | 6.6 | 51.7 | 7.8 | 25.5 | 9.1 |
| 前立腺 | 99.7 | 2.2 | 93.1 | 6.0 | 44.9 | 6.1 |
| 膀胱 | 91.0 | 3.3 | 35.3 | 11.3 | 0.0 | 0.0 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 86.4 | 3.6 | 34.9 | 9.2 | 7.3 | 5.0 |
| 脳・中枢神経系 | 39.5 | 8.6 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 甲状腺 | 97.5 | 2.1 | 87.6 | 3.9 | 24.8 | 23.5 |
| 悪性リンパ腫 | 90.8 | 5.1 | 79.9 | 8.8 | 56.4 | 6.8 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

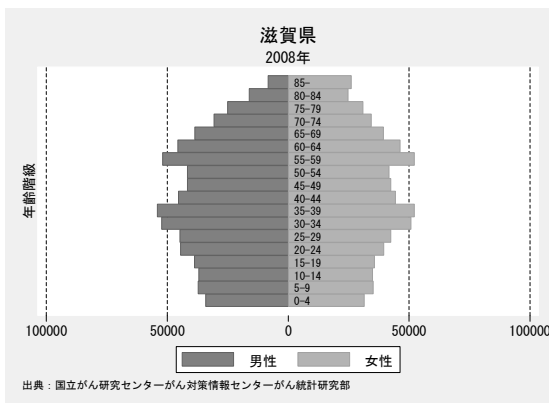
25 滋賀県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|----------------|-------------|-------------|--------------|
| 滋賀県全がん患者登録管理事業 | 1969(昭和44年) | 滋賀県立成人病センター | 医事課 疾病介護予防担当 |

地域の概況

滋賀県は周囲を山々に囲まれ、中央には日本最大の湖、琵琶湖がある。県の面積は4,017 km²で、琵琶湖は約 1/6 を占めている。

平成 22 年国勢調査では、人口約 141 万 777 人、平成 17 年～22 年の人口増減率は 2.17%で全国 5 位である。年少（15 歳未満）人口比率 15.1%（全国 2 位）、高齢者（65 歳以上）人口比率 20.7%（42 位）で、昼夜間人口比率は 96.2%（41 位）である。



地域の医療施設

滋賀県には 7 つの医療圏があり、59 の病院がある。一般病床を有するのは 46 病院で、このうち平成 23 年度に地域がん登録に自主届出を行ったのは 22 病院であった。

平成 24 年 4 月現在、1 施設が都道府県がん診療連携拠点病院、5 施設が地域がん診療連携拠点病院の認定を受けている。この

他に、滋賀県が独自に 6 施設を地域がん診療連携支援病院に指定している。

地域がん登録事業と登録方法

滋賀県全がん患者登録管理事業は昭和 44 年から開始され現在に至っている。届出票受付を県医師会に委託し、登録実務は県立成人病センターで行っている。標準 DBS システムは平成 18 年に導入済みである。

がん診療連携拠点病院および支援病院の指定と事業強化が進み、平成 24 年の自主届出数は 10,000 件を超え、5 年前の約 2.5 倍に増加した。また、近年京都府をはじめ県外の地域がん登録事業からの情報提供が増え、届出総数の約 7%を占めている。

データ解釈上の注意

平成 24 年 8 月に 2003 年・2006 年罹患患者についての住民票照会を県内全市町に依頼し、平成 25 年 2 月に入って全市町からの回答を得たところで、今回提出のデータに反映することができなかったが、全死亡情報との照合が平成 22 年 12 月分まで完了していたので、今回の生存率集計にデータを提出することができた。

さらに、罹患集計の登録精度を満たしていることにより、今回初めて全国集計に利用されることになった。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:滋賀県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|-------|------------|-----|-------|------------|------|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 6,895 | 57.7 | 0.7 | 5,118 | 63.6 | 0.8 | 12,013 | 60.3 | 0.5 |
| 口腔・咽頭 | 123 | 60.0 | 5.1 | 59 | 61.1 | 7.1 | 182 | 60.4 | 4.2 |
| 食道 | 221 | 32.9 | 3.5 | 30 | 44.3 | 10.2 | 251 | 34.4 | 3.3 |
| 胃 | 1,510 | 65.9 | 1.5 | 795 | 58.5 | 2.0 | 2,305 | 63.3 | 1.2 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,109 | 71.0 | 1.7 | 859 | 71.8 | 1.8 | 1,968 | 71.4 | 1.3 |
| 結腸 | 635 | 72.5 | 2.3 | 573 | 71.1 | 2.3 | 1,208 | 71.8 | 1.6 |
| 直腸 | 474 | 69.0 | 2.6 | 286 | 73.2 | 3.1 | 760 | 70.6 | 2.0 |
| 肝および肝内胆管 | 387 | 27.0 | 2.5 | 196 | 30.3 | 3.5 | 583 | 28.1 | 2.0 |
| 胆のう・胆管 | 120 | 20.6 | 4.1 | 150 | 20.1 | 3.6 | 270 | 20.3 | 2.7 |
| 膵臓 | 206 | 10.1 | 2.3 | 192 | 7.5 | 2.1 | 398 | 8.9 | 1.6 |
| 喉頭 | 92 | 68.6 | 6.1 | 6 | 68.3 | 20.5 | 98 | 68.7 | 5.9 |
| 肺 | 1,181 | 28.4 | 1.5 | 407 | 42.2 | 2.7 | 1,588 | 32.0 | 1.3 |
| 皮膚 *1 | 83 | 92.1 | 5.9 | 81 | 93.5 | 6.0 | 164 | 92.8 | 4.2 |
| 乳房 *2 | | | | 976 | 88.2 | 1.2 | 976 | 88.2 | 1.2 |
| 子宮 | | | | 363 | 78.7 | 2.3 | 363 | 78.7 | 2.3 |
| 子宮頸部 | | | | 196 | 78.9 | 3.2 | 196 | 78.9 | 3.2 |
| 子宮体部 | | | | 155 | 81.1 | 3.4 | 155 | 81.1 | 3.4 |
| 卵巣 | | | | 188 | 58.0 | 3.8 | 188 | 58.0 | 3.8 |
| 前立腺 | 805 | 95.4 | 1.8 | | | | 805 | 95.4 | 1.8 |
| 膀胱 | 247 | 70.8 | 3.8 | 75 | 58.3 | 6.6 | 322 | 67.9 | 3.3 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 162 | 73.5 | 4.2 | 92 | 70.2 | 5.6 | 254 | 72.5 | 3.4 |
| 脳・中枢神経系 | 50 | 34.1 | 7.0 | 62 | 40.7 | 6.6 | 112 | 38.0 | 4.8 |
| 甲状腺 | 48 | 81.4 | 6.9 | 167 | 94.9 | 2.1 | 215 | 92.6 | 2.3 |
| 悪性リンパ腫 | 194 | 63.3 | 4.1 | 155 | 67.0 | 4.3 | 349 | 64.9 | 3.0 |
| 多発性骨髄腫 | 54 | 37.4 | 7.5 | 44 | 38.0 | 8.0 | 98 | 37.7 | 5.5 |
| 白血病 | 92 | 51.0 | 5.7 | 59 | 39.4 | 6.7 | 151 | 46.5 | 4.4 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:滋賀県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 5,010 | 41.7 | 3,368 | 28.0 | 2,039 | 17.0 | 13.3 |
| 口腔・咽頭 | 66 | 36.3 | 79 | 43.4 | 11 | 6.0 | 14.3 |
| 食道 | 76 | 30.3 | 101 | 40.2 | 48 | 19.1 | 10.4 |
| 胃 | 1,137 | 49.3 | 631 | 27.4 | 386 | 16.7 | 6.6 |
| 大腸（結腸・直腸） | 798 | 40.5 | 637 | 32.4 | 374 | 19.0 | 8.1 |
| 結腸 | 487 | 40.3 | 390 | 32.3 | 236 | 19.5 | 7.9 |
| 直腸 | 311 | 40.9 | 247 | 32.5 | 138 | 18.2 | 8.4 |
| 肝および肝内胆管 | 295 | 50.6 | 97 | 16.6 | 54 | 9.3 | 23.5 |
| 胆のう・胆管 | 43 | 15.9 | 103 | 38.1 | 63 | 23.3 | 22.6 |
| 膵臓 | 28 | 7.0 | 121 | 30.4 | 157 | 39.4 | 23.1 |
| 喉頭 | 61 | 62.2 | 25 | 25.5 | 3 | 3.1 | 9.2 |
| 肺 | 426 | 26.8 | 538 | 33.9 | 452 | 28.5 | 10.8 |
| 皮膚 *1 | 119 | 72.6 | 25 | 15.2 | 5 | 3.0 | 9.1 |
| 乳房 *2 | 546 | 55.6 | 307 | 31.3 | 58 | 5.9 | 7.2 |
| 子宮 | 210 | 57.9 | 114 | 31.4 | 14 | 3.9 | 6.9 |
| 子宮頸部 | 95 | 48.5 | 84 | 42.9 | 2 | 1.0 | 7.7 |
| 子宮体部 | 110 | 71.0 | 27 | 17.4 | 12 | 7.7 | 3.9 |
| 卵巣 | 59 | 31.4 | 82 | 43.6 | 33 | 17.6 | 7.4 |
| 前立腺 | 464 | 57.6 | 141 | 17.5 | 105 | 13.0 | 11.8 |
| 膀胱 | 215 | 66.8 | 44 | 13.7 | 14 | 4.3 | 15.2 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 143 | 56.3 | 54 | 21.3 | 41 | 16.1 | 6.3 |
| 脳・中枢神経系 | 56 | 50.0 | 5 | 4.5 | 3 | 2.7 | 42.9 |
| 甲状腺 | 83 | 38.6 | 108 | 50.2 | 10 | 4.7 | 6.5 |
| 悪性リンパ腫 | 66 | 18.9 | 65 | 18.6 | 87 | 24.9 | 37.5 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:滋賀県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|------|------|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 90.1 | 0.7 | 53.0 | 1.0 | 14.4 | 0.8 |
| 口腔・咽頭 | 87.6 | 5.7 | 49.5 | 6.3 | 10.0 | 9.7 |
| 食道 | 65.1 | 6.6 | 26.5 | 4.7 | 11.0 | 4.8 |
| 胃 | 96.1 | 1.2 | 45.7 | 2.2 | 7.7 | 1.5 |
| 大腸（結腸・直腸） | 98.8 | 1.4 | 73.5 | 2.1 | 15.8 | 2.0 |
| 結腸 | 99.0 | 1.8 | 74.6 | 2.7 | 15.2 | 2.5 |
| 直腸 | 97.2 | 2.2 | 71.8 | 3.5 | 16.8 | 3.4 |
| 肝および肝内胆管 | 41.0 | 3.2 | 13.8 | 3.7 | 0.0 | 0.0 |
| 胆のう・胆管 | 64.8 | 8.8 | 22.3 | 4.5 | 3.9 | 2.7 |
| 膵臓 | 45.5 | 10.3 | 7.5 | 2.6 | 0.9 | 1.0 |
| 喉頭 | 89.2 | 6.3 | 32.6 | 11.0 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 78.0 | 2.7 | 23.8 | 2.0 | 4.1 | 1.0 |
| 皮膚 *1 | 98.5 | 4.3 | 70.0 | 12.4 | 41.9 | 31.4 |
| 乳房 *2 | 99.2 | 1.1 | 84.4 | 2.4 | 29.0 | 6.2 |
| 子宮 | 96.1 | 1.7 | 62.4 | 4.9 | 30.9 | 13.6 |
| 子宮頸部 | 97.1 | 2.1 | 64.0 | 5.8 | 50.1 | 35.6 |
| 子宮体部 | 95.1 | 2.5 | 60.8 | 9.7 | 27.6 | 14.6 |
| 卵巣 | 91.7 | 4.1 | 50.6 | 5.7 | 22.9 | 7.7 |
| 前立腺 | 98.7 | 2.1 | 94.6 | 3.9 | 48.9 | 5.7 |
| 膀胱 | 82.6 | 3.7 | 38.0 | 8.4 | 0.0 | 0.0 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 94.2 | 3.2 | 64.7 | 7.6 | 14.0 | 5.9 |
| 脳・中枢神経系 | 31.7 | 6.5 | 20.3 | 18.2 | 68.9 | 28.2 |
| 甲状腺 | 99.3 | 1.8 | 94.0 | 2.9 | 43.7 | 18.0 |
| 悪性リンパ腫 | 83.4 | 5.6 | 68.5 | 6.7 | 54.1 | 6.0 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

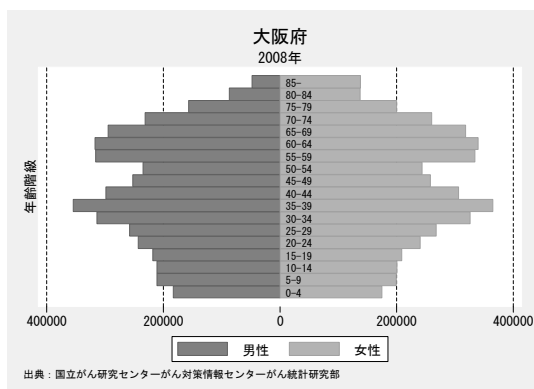
*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

27 大阪府

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|--------------------|----------------|-------------------------------------|---------------------------|
| 大阪府悪性新生物(がん)患者登録事業 | 1962(昭和37年)12月 | 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター | がん予防情報センター 企画調査課登録グループ |

地域の概況

大阪府は47都道府県中3番目に人口が多く(総人口886万人、2010年国勢調査)、2番目に面積が狭い。国籍は、日本96.8%、朝鮮・韓国1.0%、中国0.3%の順に多い。全就業者における産業別就業割合は、第3次産業が最も多く(74.7%)、第2次産業は低下が続いており(24.7%)、第3次産業は極少ない。



地域の医療施設

大阪府では、都道府県がん診療連携拠点病院として1施設、地域がん診療連携拠点病院として13施設が厚生労働省の指定を受けている。また、これら施設と連携して5大がんの診療にあたる42施設、肺がん診療にあたる3施設、小児がん診療に特化した1施設を大阪府が独自にがん診療拠点病

院として指定している(2012年4月)。他県と比べて生存率の低い傾向にある大阪府では、早期診断の推進とともに医療機関間の役割分担・連携の強化が急務であり、これら60医療機関の診療実績および病期別5年相対生存率等を公表している。

(<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/gankyoten/index.html>)

地域がん登録事業と登録方法

大阪府がん登録では、府健康医療部、府医師会、府立成人病センターの三者が密接な連携のもと各々役割を担っている。健康医療部は、事業実施要領の制定、所要予算の計上、死亡情報の収集、生存確認調査を、医師会は、府内医療機関に対し、がん診療情報の届出を依頼、受付、集計結果の会員への広報を、成人病センターは、がん情報の点検・整理、登録、集計、報告書作成等、他の全ての作業を担当している。

生存確認調査

大阪府がん登録の生存確認調査では、診断から4年後、5年後、10年後の時点で死亡が確認されていない方を対象に、住基ネットおよび住民票照会を実施し、生死不明割合は1-2%と高い精度を維持している。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:大阪府

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|--------|------------|-----|--------|------------|-----|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 40,718 | 48.7 | 0.3 | 30,848 | 60.0 | 0.3 | 71,566 | 53.7 | 0.2 |
| 口腔・咽頭 | 1,082 | 53.2 | 1.8 | 471 | 63.2 | 2.6 | 1,553 | 56.2 | 1.5 |
| 食道 | 1,900 | 26.2 | 1.1 | 376 | 32.8 | 2.6 | 2,276 | 27.3 | 1.0 |
| 胃 | 8,489 | 56.2 | 0.6 | 3,902 | 53.9 | 0.9 | 12,391 | 55.5 | 0.5 |
| 大腸（結腸・直腸） | 6,453 | 65.3 | 0.7 | 4,828 | 64.4 | 0.8 | 11,281 | 64.9 | 0.5 |
| 結腸 | 3,885 | 67.4 | 1.0 | 3,430 | 64.6 | 1.0 | 7,315 | 66.1 | 0.7 |
| 直腸 | 2,568 | 62.3 | 1.1 | 1,398 | 64.0 | 1.5 | 3,966 | 62.9 | 0.9 |
| 肝および肝内胆管 | 4,026 | 29.0 | 0.8 | 1,845 | 26.6 | 1.1 | 5,871 | 28.2 | 0.7 |
| 胆のう・胆管 | 760 | 18.6 | 1.6 | 747 | 15.8 | 1.5 | 1,507 | 17.2 | 1.1 |
| 膵臓 | 1,250 | 6.8 | 0.8 | 1,002 | 6.5 | 0.8 | 2,252 | 6.7 | 0.6 |
| 喉頭 | 573 | 73.8 | 2.4 | 47 | 77.3 | 7.3 | 620 | 74.2 | 2.3 |
| 肺 | 6,750 | 22.4 | 0.6 | 2,761 | 34.5 | 1.0 | 9,511 | 26.0 | 0.5 |
| 皮膚 *1 | 330 | 82.8 | 3.2 | 290 | 94.4 | 3.3 | 620 | 88.3 | 2.3 |
| 乳房 *2 | | | | 7,255 | 88.2 | 0.5 | 7,255 | 88.2 | 0.5 |
| 子宮 | | | | 2,446 | 73.6 | 1.0 | 2,446 | 73.6 | 1.0 |
| 子宮頸部 | | | | 1,312 | 69.9 | 1.4 | 1,312 | 69.9 | 1.4 |
| 子宮体部 | | | | 991 | 78.7 | 1.4 | 991 | 78.7 | 1.4 |
| 卵巣 | | | | 883 | 52.5 | 1.8 | 883 | 52.5 | 1.8 |
| 前立腺 | 3,264 | 91.2 | 1.0 | | | | 3,264 | 91.2 | 1.0 |
| 膀胱 | 1,296 | 77.8 | 1.6 | 368 | 66.6 | 3.0 | 1,664 | 75.3 | 1.4 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 1,012 | 64.6 | 1.8 | 456 | 64.6 | 2.6 | 1,468 | 64.5 | 1.5 |
| 脳・中枢神経系 | 232 | 31.2 | 3.2 | 184 | 33.4 | 3.6 | 416 | 32.2 | 2.4 |
| 甲状腺 | 231 | 86.8 | 3.0 | 669 | 90.1 | 1.5 | 900 | 89.4 | 1.3 |
| 悪性リンパ腫 | 948 | 52.9 | 1.8 | 811 | 59.8 | 1.9 | 1,759 | 56.1 | 1.3 |
| 多発性骨髄腫 | 206 | 32.4 | 3.7 | 165 | 33.3 | 4.0 | 371 | 32.8 | 2.7 |
| 白血病 | 601 | 35.7 | 2.1 | 474 | 45.0 | 2.4 | 1,075 | 39.9 | 1.6 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:大阪府

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|-------------|--------|------|---------|------|--------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 29,305 | 40.9 | 19,168 | 26.8 | 12,681 | 17.7 | 14.5 |
| 口腔・咽頭 | 591 | 38.1 | 748 | 48.2 | 52 | 3.3 | 10.4 |
| 食道 | 500 | 22.0 | 1,084 | 47.6 | 409 | 18.0 | 12.4 |
| 胃 | 5,458 | 44.0 | 3,447 | 27.8 | 2,239 | 18.1 | 10.1 |
| 大腸 (結腸・直腸) | 4,762 | 42.2 | 3,445 | 30.5 | 1,889 | 16.7 | 10.5 |
| 結腸 | 3,155 | 43.1 | 2,155 | 29.5 | 1,271 | 17.4 | 10.0 |
| 直腸 | 1,607 | 40.5 | 1,290 | 32.5 | 618 | 15.6 | 11.4 |
| 肝および肝内胆管 | 3,411 | 58.1 | 791 | 13.5 | 461 | 7.9 | 20.6 |
| 胆のう・胆管 | 323 | 21.4 | 558 | 37.0 | 344 | 22.8 | 18.7 |
| 膵臓 | 229 | 10.2 | 803 | 35.7 | 903 | 40.1 | 14.1 |
| 喉頭 | 423 | 68.2 | 137 | 22.1 | 7 | 1.1 | 8.5 |
| 肺 | 2,155 | 22.7 | 2,842 | 29.9 | 3,318 | 34.9 | 12.6 |
| 皮膚 *1 | 490 | 79.0 | 41 | 6.6 | 20 | 3.2 | 11.1 |
| 乳房 *2 | 3,996 | 54.7 | 2,221 | 30.4 | 304 | 4.2 | 10.7 |
| 子宮 | 1,264 | 51.7 | 682 | 27.9 | 162 | 6.6 | 13.8 |
| 子宮頸部 | 579 | 44.1 | 433 | 33.0 | 81 | 6.2 | 16.7 |
| 子宮体部 | 625 | 63.1 | 222 | 22.4 | 69 | 7.0 | 7.6 |
| 卵巣 | 294 | 33.3 | 334 | 37.8 | 137 | 15.5 | 13.4 |
| 前立腺 | 1,880 | 57.6 | 411 | 12.6 | 449 | 13.8 | 16.1 |
| 膀胱 | 1,211 | 72.8 | 193 | 11.6 | 60 | 3.6 | 12.0 |
| 腎・尿路 (膀胱除く) | 828 | 56.4 | 249 | 17.0 | 223 | 15.2 | 11.4 |
| 脳・中枢神経系 | 183 | 44.0 | 16 | 3.8 | 5 | 1.2 | 51.0 |
| 甲状腺 | 322 | 35.8 | 427 | 47.4 | 47 | 5.2 | 11.6 |
| 悪性リンパ腫 | 309 | 17.6 | 240 | 13.6 | 621 | 35.3 | 33.5 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2 : 解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:大阪府

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|-----|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 83.5 | 0.3 | 45.5 | 0.4 | 11.0 | 0.3 |
| 口腔・咽頭 | 80.5 | 2.1 | 45.0 | 2.0 | 13.3 | 5.3 |
| 食道 | 60.3 | 2.5 | 23.4 | 1.4 | 4.2 | 1.0 |
| 胃 | 91.1 | 0.6 | 40.0 | 0.9 | 4.3 | 0.5 |
| 大腸（結腸・直腸） | 93.7 | 0.7 | 61.7 | 1.0 | 12.1 | 0.8 |
| 結腸 | 94.6 | 0.8 | 63.6 | 1.3 | 13.0 | 1.0 |
| 直腸 | 91.9 | 1.1 | 58.6 | 1.6 | 10.3 | 1.3 |
| 肝および肝内胆管 | 40.5 | 1.0 | 11.6 | 1.2 | 1.5 | 0.6 |
| 胆のう・胆管 | 45.1 | 3.2 | 15.7 | 1.7 | 1.3 | 0.7 |
| 膵臓 | 30.6 | 3.3 | 6.5 | 0.9 | 1.5 | 0.4 |
| 喉頭 | 85.2 | 2.5 | 51.3 | 5.0 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 73.7 | 1.2 | 22.1 | 0.9 | 3.7 | 0.3 |
| 皮膚 *1 | 97.5 | 2.3 | 25.4 | 7.4 | 14.2 | 10.4 |
| 乳房 *2 | 97.2 | 0.4 | 83.3 | 0.9 | 25.2 | 2.7 |
| 子宮 | 92.1 | 0.9 | 58.4 | 2.0 | 17.1 | 3.1 |
| 子宮頸部 | 91.9 | 1.4 | 53.9 | 2.6 | 5.2 | 2.6 |
| 子宮体部 | 91.3 | 1.4 | 67.1 | 3.4 | 32.6 | 5.9 |
| 卵巣 | 86.0 | 2.3 | 45.3 | 2.9 | 20.7 | 3.6 |
| 前立腺 | 100.0 | 1.0 | 91.8 | 2.6 | 44.4 | 2.9 |
| 膀胱 | 89.9 | 1.5 | 27.6 | 3.6 | 10.5 | 4.5 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 91.0 | 1.5 | 47.3 | 3.7 | 10.2 | 2.2 |
| 脳・中枢神経系 | 30.3 | 3.6 | 20.3 | 10.5 | 0.0 | 0.0 |
| 甲状腺 | 96.9 | 1.7 | 91.9 | 1.8 | 38.6 | 7.7 |
| 悪性リンパ腫 | 76.0 | 2.9 | 60.5 | 3.6 | 48.5 | 2.2 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

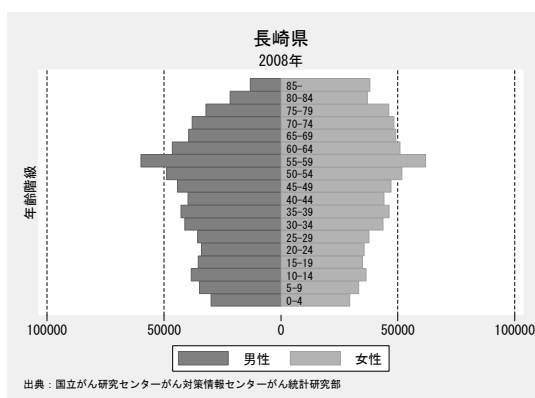
42 長崎県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 長崎県がん登録・評価事業 | 1984(昭和59年) | (公財)放射線影響研究所 | 疫学部 腫瘍組織登録室 |

地域の概況

本県は、我が国の最西端に位置し、海上には、五島列島、壱岐、対馬をはじめ大小594の島が散在しています。このため県域は、東西213km、南北307kmに及び、海域を含めた県域の広がり、九州本土に匹敵します。2013年1月の推定人口は141万人、離島人口は約12万人（2013年1月推計）で、8.5%が離島に住んでいます。

明治維新までの鎖国の時代、長崎の出島と対馬の厳原は外国との窓口として開かれていましたが、その影響は長崎県の食文化に反映されています。



地域の医療施設

2007年1月に長崎大学病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、2009年6月現在、5施設が地域がん診療連携拠点病院としての指定を受け、また2010年1月

には新たに2カ所の長崎県指定がん診療連携推進病院が指定されました。長崎県には8つの医療圏があります。離島には、現時点で、がん診療連携拠点病院の要件を満たす施設はありませんが、4つのがん診療離島中核病院が指定されています。

地域がん登録事業と登録方法

1958年より長崎市をカバーする長崎市医師会の腫瘍登録として、がん登録が行われていましたが、1984年より全県をカバーするがん登録事業となりました。実際の登録事業は県から委託された(公財)放射線影響研究所が行っており、中央登録室は同研究所疫学部腫瘍組織登録室内にあります。2011年には各病院・診療所から提出される届出票約14,000件の他、組織登録委員会からの病理診断情報約12,000件(これには良性腫瘍、腫瘍様病変も含まれる)及び登録室職員が直接、県内の病院(14施設)へ出向き行う出張採録約2,000件、死亡情報約6,000件が収集・登録されました。

データ解釈上の注意

長崎県は成人T細胞白血病/リンパ腫の罹患率が高いのですが、長崎県の白血病罹患数の中にはこれが含まれています。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:長崎県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|--------|------------|-----|-------|------------|------|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 11,865 | 54.6 | 0.6 | 8,969 | 61.4 | 0.6 | 20,834 | 57.6 | 0.4 |
| 口腔・咽頭 | 291 | 50.7 | 3.4 | 123 | 59.0 | 5.1 | 414 | 53.2 | 2.8 |
| 食道 | 348 | 27.6 | 2.6 | 44 | 38.9 | 7.8 | 392 | 28.9 | 2.5 |
| 胃 | 2,197 | 60.9 | 1.3 | 1,143 | 59.6 | 1.7 | 3,340 | 60.5 | 1.0 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,848 | 68.7 | 1.4 | 1,586 | 66.0 | 1.4 | 3,434 | 67.4 | 1.0 |
| 結腸 | 1,134 | 72.0 | 1.8 | 1,083 | 67.2 | 1.7 | 2,217 | 69.6 | 1.3 |
| 直腸 | 714 | 63.6 | 2.2 | 503 | 63.5 | 2.5 | 1,217 | 63.6 | 1.6 |
| 肝および肝内胆管 | 864 | 28.1 | 1.7 | 397 | 26.1 | 2.4 | 1,261 | 27.5 | 1.4 |
| 胆のう・胆管 | 241 | 20.0 | 2.9 | 305 | 19.0 | 2.5 | 546 | 19.5 | 1.9 |
| 膵臓 | 314 | 4.7 | 1.3 | 282 | 4.3 | 1.3 | 596 | 4.5 | 0.9 |
| 喉頭 | 120 | 83.9 | 5.0 | 7 | 87.5 | 14.2 | 127 | 84.3 | 4.7 |
| 肺 | 1,808 | 23.0 | 1.1 | 836 | 42.5 | 1.9 | 2,644 | 29.3 | 1.0 |
| 皮膚 *1 | 306 | 95.6 | 3.4 | 375 | 92.4 | 3.2 | 681 | 94.0 | 2.3 |
| 乳房 *2 | | | | 1,585 | 89.7 | 1.0 | 1,585 | 89.7 | 1.0 |
| 子宮 | | | | 574 | 71.7 | 2.0 | 574 | 71.7 | 2.0 |
| 子宮頸部 | | | | 306 | 65.2 | 2.9 | 306 | 65.2 | 2.9 |
| 子宮体部 | | | | 248 | 81.2 | 2.8 | 248 | 81.2 | 2.8 |
| 卵巣 | | | | 262 | 54.3 | 3.3 | 262 | 54.3 | 3.3 |
| 前立腺 | 1,727 | 92.8 | 1.3 | | | | 1,727 | 92.8 | 1.3 |
| 膀胱 | 392 | 75.0 | 3.2 | 155 | 66.4 | 4.8 | 547 | 72.6 | 2.7 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 298 | 63.7 | 3.3 | 161 | 63.2 | 4.3 | 459 | 63.5 | 2.6 |
| 脳・中枢神経系 | 52 | 15.9 | 5.3 | 40 | 27.2 | 7.3 | 92 | 20.8 | 4.4 |
| 甲状腺 | 79 | 76.3 | 5.7 | 292 | 93.2 | 2.0 | 371 | 89.7 | 2.0 |
| 悪性リンパ腫 | 266 | 46.8 | 3.5 | 242 | 61.3 | 3.6 | 508 | 53.8 | 2.5 |
| 多発性骨髄腫 | 69 | 44.3 | 7.1 | 59 | 26.2 | 6.4 | 128 | 35.8 | 4.9 |
| 白血病 | 273 | 24.3 | 2.8 | 201 | 30.2 | 3.4 | 474 | 26.9 | 2.2 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:長崎県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|-------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 7,952 | 38.2 | 5,069 | 24.3 | 3,475 | 16.7 | 20.8 |
| 口腔・咽頭 | 126 | 30.4 | 191 | 46.1 | 25 | 6.0 | 17.4 |
| 食道 | 82 | 20.9 | 130 | 33.2 | 55 | 14.0 | 31.9 |
| 胃 | 1,594 | 47.7 | 774 | 23.2 | 494 | 14.8 | 14.3 |
| 大腸 (結腸・直腸) | 1,556 | 45.3 | 1,064 | 31.0 | 559 | 16.3 | 7.4 |
| 結腸 | 1,040 | 46.9 | 652 | 29.4 | 386 | 17.4 | 6.3 |
| 直腸 | 516 | 42.4 | 412 | 33.9 | 173 | 14.2 | 9.5 |
| 肝および肝内胆管 | 387 | 30.7 | 186 | 14.8 | 127 | 10.1 | 44.5 |
| 胆のう・胆管 | 84 | 15.4 | 207 | 37.9 | 134 | 24.5 | 22.2 |
| 膵臓 | 26 | 4.4 | 172 | 28.9 | 266 | 44.6 | 22.1 |
| 喉頭 | 69 | 54.3 | 33 | 26.0 | 2 | 1.6 | 18.1 |
| 肺 | 580 | 21.9 | 784 | 29.7 | 780 | 29.5 | 18.9 |
| 皮膚 *1 | 565 | 83.0 | 31 | 4.6 | 7 | 1.0 | 11.5 |
| 乳房 *2 | 905 | 56.5 | 518 | 32.3 | 82 | 5.1 | 6.1 |
| 子宮 | 313 | 54.5 | 170 | 29.6 | 52 | 9.1 | 6.8 |
| 子宮頸部 | 146 | 47.7 | 117 | 38.2 | 28 | 9.2 | 4.9 |
| 子宮体部 | 159 | 64.1 | 51 | 20.6 | 22 | 8.9 | 6.5 |
| 卵巣 | 75 | 28.6 | 60 | 22.9 | 94 | 35.9 | 12.6 |
| 前立腺 | 585 | 33.9 | 211 | 12.2 | 155 | 9.0 | 44.9 |
| 膀胱 | 413 | 75.5 | 62 | 11.3 | 18 | 3.3 | 9.9 |
| 腎・尿路 (膀胱除く) | 249 | 54.2 | 97 | 21.1 | 67 | 14.6 | 10.0 |
| 脳・中枢神経系 | 16 | 17.4 | 5 | 5.4 | 0 | 0.0 | 77.2 |
| 甲状腺 | 122 | 32.9 | 204 | 55.0 | 15 | 4.0 | 8.1 |
| 悪性リンパ腫 | 74 | 14.6 | 54 | 10.6 | 130 | 25.6 | 49.2 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2 : 解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2003-05年、解析対象2-

集計参加登録:長崎県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|------|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 93.0 | 0.5 | 50.7 | 0.8 | 11.5 | 0.6 |
| 口腔・咽頭 | 84.6 | 4.6 | 46.0 | 4.0 | 8.6 | 6.0 |
| 食道 | 69.9 | 6.0 | 18.7 | 3.6 | 2.0 | 2.0 |
| 胃 | 98.2 | 1.1 | 40.6 | 2.0 | 3.5 | 0.9 |
| 大腸(結腸・直腸) | 95.0 | 1.2 | 64.9 | 1.8 | 8.7 | 1.3 |
| 結腸 | 95.9 | 1.5 | 68.9 | 2.2 | 8.1 | 1.5 |
| 直腸 | 93.2 | 1.9 | 58.5 | 2.8 | 10.0 | 2.5 |
| 肝および肝内胆管 | 53.9 | 2.9 | 20.0 | 3.2 | 2.6 | 1.5 |
| 胆のう・胆管 | 79.2 | 6.0 | 14.9 | 2.7 | 1.7 | 1.2 |
| 膵臓 | 49.7 | 10.7 | 6.7 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 喉頭 | 88.2 | 6.1 | 69.1 | 10.8 | 52.2 | 39.8 |
| 肺 | 84.3 | 2.1 | 26.7 | 1.8 | 2.6 | 0.6 |
| 皮膚 *1 | 97.0 | 2.4 | 72.1 | 10.2 | 0.0 | 0.0 |
| 乳房 *2 | 98.3 | 0.9 | 86.4 | 1.8 | 21.0 | 4.7 |
| 子宮 | 91.3 | 1.9 | 54.2 | 4.1 | 28.1 | 6.4 |
| 子宮頸部 | 87.6 | 3.0 | 51.1 | 5.0 | 14.9 | 6.9 |
| 子宮体部 | 94.5 | 2.4 | 61.3 | 7.3 | 46.5 | 11.0 |
| 卵巣 | 88.2 | 4.2 | 64.6 | 6.6 | 29.6 | 4.9 |
| 前立腺 | 100.0 | 1.5 | 93.2 | 3.6 | 42.2 | 4.9 |
| 膀胱 | 88.8 | 2.8 | 18.9 | 5.5 | 6.3 | 6.9 |
| 腎・尿路(膀胱除く) | 91.7 | 2.8 | 47.2 | 5.7 | 13.1 | 4.4 |
| 脳・中枢神経系 | 45.2 | 12.8 | 20.6 | 18.7 | - | - |
| 甲状腺 | 94.8 | 2.6 | 91.2 | 2.6 | 42.8 | 14.2 |
| 悪性リンパ腫 | 84.7 | 5.4 | 62.1 | 7.7 | 38.0 | 4.6 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2: 解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

地域別集計表(参考値)

表 30 罹患者数、登録精度、生存率集計対象者数 —2003-05 年—（参考地域）

| 登録 | 罹患者数 | | DCO | | 第2がん | | 悪性以外 | | 上皮内がん | | 解析対象1 | | 解析対象2 | |
|-------|--------|------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|------|-------|-----|--------|------|
| | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 |
| 栃木県*3 | 17,031 | 34.8 | 5,931 | 6.5 | 150 | 0.9 | 150 | 0.9 | 10,298 | 60.5 | 590 | 5.7 | 9,708 | 57.0 |
| 群馬県 | 22,278 | 48.3 | 10,751 | 4.2 | 468 | 2.1 | 468 | 2.1 | 10,509 | 47.2 | 0 | 0.0 | 10,509 | 47.2 |
| 熊本県 | 26,719 | 26.0 | 6,956 | 5.4 | 1,000 | 3.7 | 1,000 | 3.7 | 17,782 | 66.6 | 1,745 | 9.8 | 16,037 | 60.0 |

DCO：死亡情報のみで登録された患者
 第2がん：対象部位が第2がん以降（先行がんあり）
 解析対象1：DCO、第2がん以降、悪性以外、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）、年齢不詳および100歳以上を除外
 解析対象2：がん死亡からの確認調査で登録された患者
 解析対象1から通り調査患者を除く
 *1 全数に占める割合 *2 解析対象1に占める割合
 *3 栃木県は2004-2005年データ

表 31 診断から5年後の予後状況 —2003-05年、解析対象2—（参考地域）

集計参加登録: 栃木県, 群馬県, 熊本県

| 登録 | 対象者 | 死亡 | | 生存 | | 不詳 | | 不詳を除く 生存割合% |
|-------|--------|-------|------|-------|------|-----|-----|----------------|
| | | N | %*1 | N | %*1 | N | %*1 | |
| 栃木県*2 | 9,708 | 4,446 | 45.8 | 4,640 | 47.8 | 622 | 6.4 | 51.1 |
| 群馬県 | 10,509 | 4,363 | 41.5 | 6,146 | 58.5 | - | - | - |
| 熊本県 | 16,037 | 7,243 | 45.2 | 8,794 | 54.8 | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から廻り調査患者を除外

*1：対象者に占める割合

*2：栃木県は2004-2005年データ

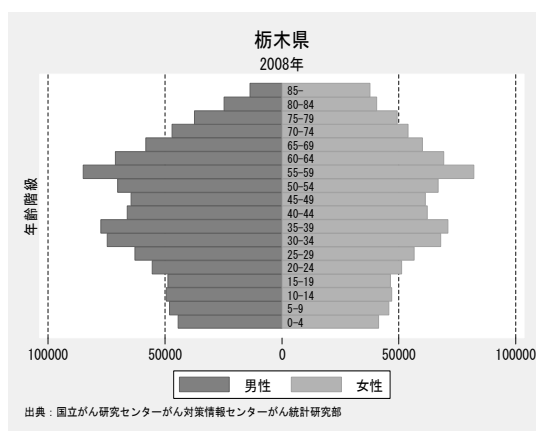
09 栃木県 （2004-2005 年症例）

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|--------------|------------|---------------|
| 栃木県地域がん登録事業 | 1993(平成5年)4月 | 栃木県立がんセンター | 栃木県保健福祉部健康増進課 |

地域の概況

栃木県は、北関東に位置し、周囲を山で囲まれた内陸型の地形である。面積は 6,408 km² で、全国都道府県中第 20 位の大きさである。平成 24 年 1 月 1 日現在の県内推計人口は約 200 万人で、平成 14 年からほぼ横ばいで推移している。

県の主な産業は農業と工業で、産出額とともに全国 10 位前後となる。



地域の医療施設

栃木県には、平成 24 年 4 月 1 日現在病院が 109 施設、診療所（歯科診療所を除く）が 1,444 施設ある。本県には都道府県がん診療連携拠点病院として栃木県立がんセンターが、地域がん診療連携拠点病院として 5 病院（2 大学病院を含む）があるが、この他がん診療連携拠点病院と同程度の診療機能等を有する 2 病院を県が独自に「栃木県

がん診療連携拠点指定病院」として指定している。

地域がん登録事業と登録方法

地域がん登録事業は、県が栃木県医師会に委託し平成 5 年から事業を開始。栃木県がん登録委員会の指導・助言を得ながら独自のシステムと登録票を用いて事業を実施してきた。平成 20 年 4 月からは、県が直接事業を実施することとなり、栃木県立がんセンターに登録室が設置された。平成 20 年 7 月に、標準データベースシステムを導入、現在は標準登録方式で登録事業を行っている。生存率整備を視野に入れて平成 16 年（2004 年）症例から非がん死との照合、生存確認調査も開始した。

平成 19 年には栃木県がん診療連携協議会が立ち上がり、がん登録部会が発足した。平成 17 年（2005 年）症例より遡り調査を開始した。

データ解釈上の注意

平成 15 年（2003 年）症例は独自システムからの登録で非がん死との照合が実施できなかった。生存率計算整備のため平成 16 年（2004 年）症例より非がん死との照合、遡り調査、生存確認調査を実施したが、当時の罹患に収集したデータは DCN、DCO が高く精度上解釈に注意を要する。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2004-05年、解析対象2—

集計参加登録:栃木県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|-------|------------|------|-------|------------|------|-------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 5,539 | 53.9 | 0.8 | 4,169 | 63.0 | 0.9 | 9,708 | 57.9 | 0.6 |
| 口腔・咽頭 | 109 | 49.2 | 5.4 | 48 | 61.8 | 8.7 | 157 | 54.1 | 4.6 |
| 食道 | 242 | 35.1 | 3.5 | 43 | 38.5 | 8.0 | 285 | 35.6 | 3.2 |
| 胃 | 1,348 | 59.6 | 1.6 | 541 | 59.4 | 2.5 | 1,889 | 59.5 | 1.4 |
| 大腸（結腸・直腸） | 985 | 67.9 | 1.9 | 737 | 63.5 | 2.1 | 1,722 | 66.0 | 1.4 |
| 結腸 | 601 | 71.1 | 2.4 | 510 | 64.6 | 2.5 | 1,111 | 68.1 | 1.7 |
| 直腸 | 384 | 63.0 | 3.0 | 227 | 60.8 | 3.7 | 611 | 62.2 | 2.3 |
| 肝および肝内胆管 | 380 | 30.4 | 2.7 | 128 | 31.2 | 4.4 | 508 | 30.6 | 2.3 |
| 胆のう・胆管 | 116 | 16.5 | 3.8 | 109 | 21.1 | 4.3 | 225 | 18.8 | 2.9 |
| 膵臓 | 150 | 3.9 | 1.7 | 103 | 8.5 | 2.9 | 253 | 5.8 | 1.6 |
| 喉頭 | 45 | 69.9 | 9.1 | 3 | 67.4 | 29.0 | 48 | 69.8 | 8.7 |
| 肺 | 716 | 24.8 | 1.8 | 271 | 39.4 | 3.2 | 987 | 28.8 | 1.6 |
| 皮膚 *1 | 25 | 69.9 | 12.9 | 22 | 74.6 | 13.4 | 47 | 73.7 | 9.3 |
| 乳房 *2 | | | | 1,043 | 86.8 | 1.3 | 1,043 | 86.8 | 1.3 |
| 子宮 | | | | 357 | 69.8 | 2.7 | 357 | 69.8 | 2.7 |
| 子宮頸部 | | | | 218 | 71.3 | 3.3 | 218 | 71.3 | 3.3 |
| 子宮体部 | | | | 128 | 67.7 | 4.8 | 128 | 67.7 | 4.8 |
| 卵巣 | | | | 151 | 51.8 | 4.4 | 151 | 51.8 | 4.4 |
| 前立腺 | 682 | 94.0 | 2.1 | | | | 682 | 94.0 | 2.1 |
| 膀胱 | 168 | 74.9 | 5.4 | 66 | 55.4 | 7.5 | 234 | 68.6 | 4.4 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 112 | 51.9 | 5.8 | 73 | 61.2 | 6.8 | 185 | 55.7 | 4.4 |
| 脳・中枢神経系 | 32 | 55.3 | 9.6 | 31 | 33.7 | 9.5 | 63 | 45.1 | 6.9 |
| 甲状腺 | 32 | 87.6 | 7.0 | 119 | 91.6 | 3.4 | 151 | 91.3 | 3.0 |
| 悪性リンパ腫 | 147 | 56.5 | 4.5 | 120 | 65.4 | 5.0 | 267 | 60.4 | 3.4 |
| 多発性骨髄腫 | 34 | 31.1 | 8.9 | 36 | 32.8 | 8.2 | 70 | 32.0 | 6.0 |
| 白血病 | 62 | 35.5 | 6.5 | 52 | 33.9 | 6.8 | 114 | 34.7 | 4.7 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2004-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:栃木県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 3,972 | 40.9 | 2,250 | 23.2 | 1,340 | 13.8 | 22.1 |
| 口腔・咽頭 | 57 | 36.3 | 51 | 32.5 | 10 | 6.4 | 24.8 |
| 食道 | 87 | 30.5 | 113 | 39.6 | 30 | 10.5 | 19.3 |
| 胃 | 822 | 43.5 | 444 | 23.5 | 278 | 14.7 | 18.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 734 | 42.6 | 430 | 25.0 | 247 | 14.3 | 18.1 |
| 結腸 | 490 | 44.1 | 260 | 23.4 | 157 | 14.1 | 18.4 |
| 直腸 | 244 | 39.9 | 170 | 27.8 | 90 | 14.7 | 17.5 |
| 肝および肝内胆管 | 276 | 54.3 | 53 | 10.4 | 35 | 6.9 | 28.3 |
| 胆のう・胆管 | 46 | 20.4 | 84 | 37.3 | 48 | 21.3 | 20.9 |
| 膵臓 | 30 | 11.9 | 76 | 30.0 | 110 | 43.5 | 14.6 |
| 喉頭 | 24 | 50.0 | 11 | 22.9 | 2 | 4.2 | 22.9 |
| 肺 | 225 | 22.8 | 302 | 30.6 | 315 | 31.9 | 14.7 |
| 皮膚 *1 | 31 | 66.0 | 3 | 6.4 | 1 | 2.1 | 25.5 |
| 乳房 *2 | 574 | 54.5 | 293 | 27.8 | 42 | 4.0 | 13.7 |
| 子宮 | 145 | 40.6 | 110 | 30.8 | 20 | 5.6 | 23.0 |
| 子宮頸部 | 73 | 33.5 | 67 | 30.7 | 11 | 5.0 | 30.7 |
| 子宮体部 | 68 | 53.1 | 43 | 33.6 | 8 | 6.2 | 7.0 |
| 卵巣 | 43 | 28.5 | 45 | 29.8 | 20 | 13.2 | 28.5 |
| 前立腺 | 448 | 65.7 | 67 | 9.8 | 52 | 7.6 | 16.9 |
| 膀胱 | 135 | 57.7 | 20 | 8.5 | 13 | 5.6 | 28.2 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 97 | 52.4 | 20 | 10.8 | 32 | 17.3 | 19.5 |
| 脳・中枢神経系 | 29 | 46.0 | 2 | 3.2 | 0 | 0.0 | 50.8 |
| 甲状腺 | 65 | 43.0 | 57 | 37.7 | 12 | 7.9 | 11.3 |
| 悪性リンパ腫 | 26 | 9.7 | 15 | 5.6 | 22 | 8.2 | 76.4 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 -2004-05年、解析対象2-

集計参加登録:栃木県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|------|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 86.6 | 0.8 | 49.2 | 1.2 | 7.9 | 0.8 |
| 口腔・咽頭 | 90.3 | 6.3 | 41.2 | 7.6 | 27.0 | 19.4 |
| 食道 | 61.7 | 6.4 | 29.0 | 4.7 | 0.0 | 0.0 |
| 胃 | 89.8 | 1.7 | 45.4 | 2.7 | 2.1 | 0.9 |
| 大腸（結腸・直腸） | 92.1 | 1.7 | 64.4 | 2.8 | 6.3 | 1.7 |
| 結腸 | 93.4 | 2.1 | 66.6 | 3.5 | 6.5 | 2.1 |
| 直腸 | 89.5 | 3.0 | 61.1 | 4.4 | 6.1 | 2.7 |
| 肝および肝内胆管 | 41.1 | 3.3 | 11.3 | 4.8 | 3.5 | 3.6 |
| 胆のう・胆管 | 43.4 | 8.3 | 15.5 | 4.4 | 4.4 | 3.2 |
| 膵臓 | 29.0 | 8.8 | 4.4 | 2.5 | 0.0 | 0.0 |
| 喉頭 | 78.8 | 11.6 | 50.0 | 18.1 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 79.4 | 3.6 | 22.5 | 2.6 | 3.7 | 1.1 |
| 皮膚 *1 | 78.2 | 11.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 乳房 *2 | 96.7 | 1.2 | 87.6 | 2.3 | 19.7 | 6.3 |
| 子宮 | 89.3 | 3.1 | 51.7 | 5.3 | 20.9 | 9.4 |
| 子宮頸部 | 91.4 | 3.8 | 53.9 | 6.5 | 19.0 | 12.4 |
| 子宮体部 | 86.0 | 5.2 | 47.3 | 9.1 | 13.0 | 12.2 |
| 卵巣 | 93.4 | 4.7 | 43.4 | 7.8 | 31.6 | 11.2 |
| 前立腺 | 100.0 | 2.0 | 83.2 | 8.3 | 43.1 | 8.8 |
| 膀胱 | 81.6 | 5.6 | 27.1 | 12.2 | 8.5 | 8.9 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 91.1 | 4.6 | 24.2 | 10.9 | 7.1 | 5.0 |
| 脳・中枢神経系 | 63.7 | 10.3 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 甲状腺 | 98.0 | 2.5 | 94.1 | 4.4 | 43.5 | 15.8 |
| 悪性リンパ腫 | 63.6 | 12.0 | 59.5 | 14.1 | 59.1 | 11.7 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

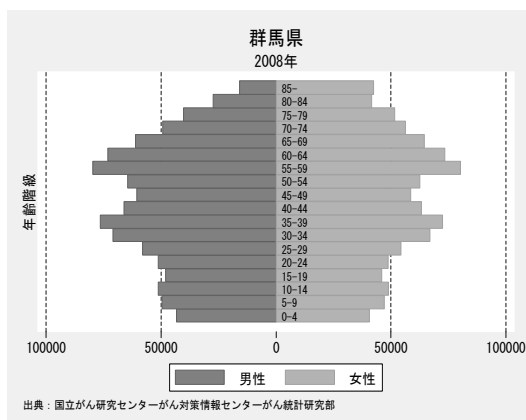
10 群馬県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|--------------|---------------|-----------|
| 群馬県がん登録事業 | 1994(平成6年)1月 | (財)群馬県健康づくり財団 | 総務部 がん登録室 |

地域の概況

群馬県は日本列島のほぼ中央に位置する。県北西部は谷川岳を中心とする上越の山々が連なっているが、東南部は関東平野が開けていて、隣接する栃木県や埼玉県との交流が多い。

上越・長野新幹線で東京、新潟、長野へは約1時間。東南部の都市と都心とは東武線が結んでいる。また、関越・上信越道が県央部と西部を、東北道が東部を貫いている。東京から約100km圏である。



地域の医療施設

群馬県では、平成18年8月24日付で群馬大学医学部附属病院（大学病院）が都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、平成24年2月現在、大学病院を含め9施設が地域がん診療連携拠点病院としての認定を

受けている。

また、群馬県はがん医療の均てん化が停滞しないように独自に7つの地域がん診療連携推進病院を定めている。

地域がん登録事業と登録方法

群馬県がん登録は平成6年に県が群馬県健康づくり財団に事業を委託する形ではじまった。平成16年、大学病院と県が中心になって、大学病院の院内がん登録の整備と低迷する地域がん登録の精度向上を目的に「群馬県がん疫学ネットワーク」が設置された。現在では、それを発展させた「群馬県がん対策推進協議会」ががん登録を推進し、精度が著しく向上してきた。平成22年12月に成立した群馬県がん対策推進条例でも、がん登録の推進が重要視されている。

平成20年8月に旧システムから標準がん登録システムに移行し、届出は標準登録票を使用している。また、精度向上のために遡り調査や住民票照会による生存確認調査も実施している。

データ解釈上の注意

2003-05年は精度が徐々に改善してきた年であり、集計された罹患数は真の罹患数よりかなり低い値であることが危ぶまれる。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:群馬県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|-------|------------|------|-------|------------|------|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 6,436 | 68.7 | 0.8 | 4,073 | 66.7 | 0.8 | 10,509 | 67.9 | 0.6 |
| 口腔・咽頭 | 151 | 51.8 | 4.6 | 59 | 64.9 | 6.8 | 210 | 55.5 | 3.8 |
| 食道 | 170 | 33.2 | 4.1 | 32 | 37.2 | 9.2 | 202 | 33.9 | 3.7 |
| 胃 | 1,073 | 65.8 | 1.8 | 472 | 64.2 | 2.5 | 1,545 | 65.3 | 1.5 |
| 大腸（結腸・直腸） | 858 | 69.5 | 2.0 | 534 | 65.2 | 2.4 | 1,392 | 67.8 | 1.5 |
| 結腸 | 478 | 72.8 | 2.7 | 365 | 64.8 | 2.9 | 843 | 69.3 | 2.0 |
| 直腸 | 380 | 65.5 | 2.9 | 169 | 65.9 | 4.1 | 549 | 65.6 | 2.4 |
| 肝および肝内胆管 | 316 | 34.9 | 3.0 | 140 | 27.9 | 4.1 | 456 | 32.7 | 2.4 |
| 胆のう・胆管 | 97 | 21.5 | 4.7 | 86 | 17.9 | 4.4 | 183 | 19.7 | 3.2 |
| 膵臓 | 114 | 8.1 | 2.8 | 104 | 5.5 | 2.4 | 218 | 6.8 | 1.8 |
| 喉頭 | 92 | 81.9 | 5.5 | 7 | 87.3 | 14.4 | 99 | 82.8 | 5.2 |
| 肺 | 796 | 27.8 | 1.8 | 314 | 47.9 | 3.0 | 1,110 | 33.7 | 1.6 |
| 皮膚 *1 | 25 | 67.2 | 12.5 | 45 | 90.4 | 8.9 | 70 | 85.1 | 7.3 |
| 乳房 *2 | | | | 1,129 | 87.5 | 1.2 | 1,129 | 87.5 | 1.2 |
| 子宮 | | | | 534 | 80.0 | 1.9 | 534 | 80.0 | 1.9 |
| 子宮頸部 | | | | 306 | 78.8 | 2.5 | 306 | 78.8 | 2.5 |
| 子宮体部 | | | | 223 | 81.6 | 2.9 | 223 | 81.6 | 2.9 |
| 卵巣 | | | | 153 | 45.8 | 4.1 | 153 | 45.8 | 4.1 |
| 前立腺 | 2,074 | 99.0 | 1.1 | | | | 2,074 | 99.0 | 1.1 |
| 膀胱 | 193 | 75.6 | 4.3 | 72 | 66.7 | 7.2 | 265 | 73.2 | 3.7 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 99 | 66.9 | 5.9 | 57 | 59.8 | 7.3 | 156 | 64.2 | 4.6 |
| 脳・中枢神経系 | 18 | 39.8 | 11.8 | 8 | 14.0 | 14.3 | 26 | 32.2 | 9.6 |
| 甲状腺 | 20 | 70.8 | 10.9 | 52 | 100.0 | 0.0 | 72 | 92.2 | 3.4 |
| 悪性リンパ腫 | 123 | 75.6 | 4.8 | 114 | 61.1 | 5.1 | 237 | 68.6 | 3.5 |
| 多発性骨髄腫 | 31 | 41.8 | 10.1 | 32 | 13.9 | 6.5 | 63 | 27.3 | 6.2 |
| 白血病 | 40 | 30.0 | 7.7 | 26 | 40.5 | 10.1 | 66 | 34.3 | 6.2 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:群馬県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 4,546 | 43.3 | 2,217 | 21.1 | 1,382 | 13.2 | 22.5 |
| 口腔・咽頭 | 72 | 34.3 | 94 | 44.8 | 7 | 3.3 | 17.6 |
| 食道 | 40 | 19.8 | 80 | 39.6 | 26 | 12.9 | 27.7 |
| 胃 | 596 | 38.6 | 355 | 23.0 | 206 | 13.3 | 25.1 |
| 大腸（結腸・直腸） | 430 | 30.9 | 382 | 27.4 | 203 | 14.6 | 27.1 |
| 結腸 | 260 | 30.8 | 208 | 24.7 | 137 | 16.3 | 28.2 |
| 直腸 | 170 | 31.0 | 174 | 31.7 | 66 | 12.0 | 25.3 |
| 肝および肝内胆管 | 246 | 53.9 | 27 | 5.9 | 23 | 5.0 | 35.1 |
| 胆のう・胆管 | 27 | 14.8 | 63 | 34.4 | 44 | 24.0 | 26.8 |
| 膵臓 | 15 | 6.9 | 65 | 29.8 | 97 | 44.5 | 18.8 |
| 喉頭 | 72 | 72.7 | 18 | 18.2 | 0 | 0.0 | 9.1 |
| 肺 | 281 | 25.3 | 355 | 32.0 | 295 | 26.6 | 16.1 |
| 皮膚 *1 | 48 | 68.6 | 4 | 5.7 | 1 | 1.4 | 24.3 |
| 乳房 *2 | 556 | 49.1 | 340 | 30.0 | 57 | 5.0 | 15.9 |
| 子宮 | 301 | 56.4 | 108 | 20.2 | 31 | 5.8 | 17.6 |
| 子宮頸部 | 156 | 51.0 | 70 | 22.9 | 20 | 6.5 | 19.6 |
| 子宮体部 | 143 | 64.1 | 37 | 16.6 | 11 | 4.9 | 14.3 |
| 卵巣 | 30 | 19.6 | 55 | 35.9 | 28 | 18.3 | 26.1 |
| 前立腺 | 1,443 | 69.6 | 141 | 6.8 | 258 | 12.4 | 11.2 |
| 膀胱 | 167 | 63.0 | 24 | 9.1 | 9 | 3.4 | 24.5 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 82 | 52.6 | 16 | 10.3 | 24 | 15.4 | 21.8 |
| 脳・中枢神経系 | 12 | 46.2 | 0 | 0.0 | 2 | 7.7 | 46.2 |
| 甲状腺 | 20 | 27.8 | 24 | 33.3 | 1 | 1.4 | 37.5 |
| 悪性リンパ腫 | 27 | 11.4 | 20 | 8.4 | 29 | 12.2 | 67.9 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:群馬県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|------|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 93.0 | 0.7 | 54.5 | 1.2 | 19.1 | 1.2 |
| 口腔・咽頭 | 76.7 | 6.2 | 49.2 | 5.6 | 0.0 | 0.0 |
| 食道 | 55.8 | 9.7 | 22.8 | 5.1 | 12.3 | 6.7 |
| 胃 | 96.0 | 1.8 | 47.3 | 3.1 | 6.6 | 1.8 |
| 大腸（結腸・直腸） | 93.6 | 2.2 | 69.1 | 2.9 | 12.7 | 2.5 |
| 結腸 | 93.4 | 3.0 | 75.5 | 3.9 | 11.4 | 2.9 |
| 直腸 | 94.0 | 3.3 | 61.5 | 4.3 | 15.4 | 4.8 |
| 肝および肝内胆管 | 36.4 | 3.4 | 4.2 | 4.3 | 0.0 | 0.0 |
| 胆のう・胆管 | 61.6 | 11.4 | 15.7 | 4.9 | 2.4 | 2.6 |
| 膵臓 | 38.8 | 14.9 | 3.4 | 2.3 | 3.3 | 1.9 |
| 喉頭 | 87.1 | 5.6 | 62.8 | 13.2 | - | - |
| 肺 | 71.4 | 3.4 | 28.7 | 2.6 | 5.1 | 1.4 |
| 皮膚 *1 | 91.7 | 8.3 | 56.3 | 32.7 | 0.0 | 0.0 |
| 乳房 *2 | 96.7 | 1.1 | 85.1 | 2.2 | 27.5 | 6.1 |
| 子宮 | 93.0 | 1.8 | 63.7 | 4.9 | 13.6 | 6.4 |
| 子宮頸部 | 91.7 | 2.4 | 68.2 | 5.9 | 15.6 | 8.3 |
| 子宮体部 | 94.0 | 2.6 | 56.4 | 8.6 | 9.8 | 9.8 |
| 卵巣 | 91.4 | 5.6 | 37.8 | 6.8 | 14.8 | 6.9 |
| 前立腺 | 100.0 | 1.0 | 89.1 | 5.1 | 60.6 | 4.1 |
| 膀胱 | 85.4 | 4.4 | 24.1 | 9.9 | 0.0 | 0.0 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 82.8 | 5.4 | 42.3 | 14.1 | 19.0 | 9.2 |
| 脳・中枢神経系 | 18.0 | 12.1 | - | - | 0.0 | 0.0 |
| 甲状腺 | 100.0 | 0.0 | 92.2 | 5.8 | 0.0 | 0.0 |
| 悪性リンパ腫 | 84.2 | 8.8 | 86.0 | 8.5 | 42.1 | 10.3 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

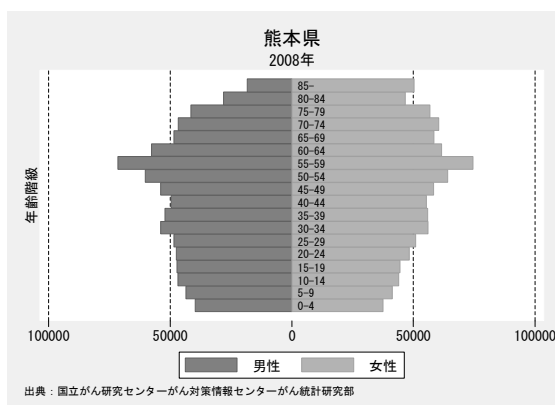
43 熊本県

| 地域がん登録の正式名称 | 開始年 | 施設名 | 組織名 |
|-------------|--------------|------|-------------------------|
| 熊本県地域がん登録事業 | 1993(平成5年)4月 | 熊本県庁 | 熊本県健康福祉部健康局 健康づくり推進課 |

地域の概況

熊本県は九州地方のほぼ中央に位置し、西部は海に面し、東から南にかけては標高1,000メートル級の山々に囲まれている。

人口は平成23年月1日現在、1,812,502人であり、平成10年以降は減少傾向が続いている。高齢化率は、25.7%と全国より早く高齢化が進んでいる。



地域の医療施設

熊本県では、平成17年1月17日付で熊本市立熊本市市民病院が地域がん診療連携拠点病院に指定され、平成18年8月24日付で熊本大学医学部附属病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定されている。

平成24年12月現在、8施設が地域がん診療連携拠点病院として指定を受け、そのうち5施設（熊本市）は、熊本市周辺の医療圏も担当している。

また、平成22年度からは、熊本県指定の

がん診療連携拠点病院を設置しており、平成24年12月末現在で、10施設を指定している。

地域がん登録事業と登録方法

地域がん登録事業は、平成5年に熊本県が主体となり、医師会・各医療機関等の協力を得て熊本県健康センター（当時の県の出先機関）で開始した。平成14年度からは県庁舎内に場所を移し、現在に至っている。

登録票のうち、全体の66.7%が、県内の地域がん診療連携拠点病院からのものであり、熊本県指定がん診療連携拠点病院を合わせると全体の87.7%を占めている。今後、院内がん登録の整備により、その割合は増加すると考えられる。

なお、平成19年度に標準データベースシステムを導入している。

データ解釈上の注意

2004年のデータからは、遡り調査を実施しており、DCO、DCNともに年々減少してきている。生存率については、2003-2005年のデータが精度基準を満たしていないため、実態を正確に反映したものとはなっていない。今後、医療機関からの早期届出や協力医療機関の増加、生存確認調査の実施検討等により、精度を向上していく必要がある。

表1 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:熊本県

| 部位 | 男 | | | 女 | | | 男女計 | | |
|------------|-------|------------|------|-------|------------|------|--------|------------|-----|
| | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE | 対象者 | 相対生存率 % | SE |
| 全部位 | 8,408 | 58.9 | 0.7 | 7,629 | 68.0 | 0.6 | 16,037 | 63.3 | 0.5 |
| 口腔・咽頭 | 111 | 49.0 | 5.4 | 45 | 60.0 | 8.4 | 156 | 52.1 | 4.6 |
| 食道 | 268 | 37.7 | 3.3 | 53 | 34.4 | 6.9 | 321 | 37.2 | 3.0 |
| 胃 | 1,776 | 73.4 | 1.4 | 898 | 71.6 | 1.8 | 2,674 | 72.8 | 1.1 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,438 | 73.3 | 1.6 | 1,150 | 70.4 | 1.7 | 2,588 | 72.0 | 1.1 |
| 結腸 | 954 | 74.3 | 1.9 | 837 | 69.6 | 2.0 | 1,791 | 72.1 | 1.4 |
| 直腸 | 484 | 71.2 | 2.6 | 313 | 72.7 | 3.0 | 797 | 71.8 | 2.0 |
| 肝および肝内胆管 | 827 | 36.0 | 1.9 | 386 | 29.1 | 2.5 | 1,213 | 33.8 | 1.5 |
| 胆のう・胆管 | 265 | 27.6 | 3.2 | 304 | 26.8 | 2.8 | 569 | 27.2 | 2.1 |
| 膵臓 | 249 | 6.5 | 1.7 | 235 | 7.8 | 1.9 | 484 | 7.1 | 1.3 |
| 喉頭 | 74 | 77.0 | 6.6 | 2 | 52.4 | 39.0 | 76 | 76.5 | 6.5 |
| 肺 | 1,221 | 26.3 | 1.4 | 590 | 47.7 | 2.3 | 1,811 | 33.5 | 1.2 |
| 皮膚 *1 | 79 | 93.8 | 7.5 | 120 | 96.5 | 5.2 | 199 | 96.6 | 4.3 |
| 乳房 *2 | | | | 1,878 | 92.0 | 0.8 | 1,878 | 92.0 | 0.8 |
| 子宮 | | | | 724 | 78.9 | 1.7 | 724 | 78.9 | 1.7 |
| 子宮頸部 | | | | 390 | 76.7 | 2.4 | 390 | 76.7 | 2.4 |
| 子宮体部 | | | | 319 | 83.3 | 2.3 | 319 | 83.3 | 2.3 |
| 卵巣 | | | | 269 | 62.9 | 3.1 | 269 | 62.9 | 3.1 |
| 前立腺 | 926 | 95.0 | 1.8 | | | | 926 | 95.0 | 1.8 |
| 膀胱 | 311 | 84.9 | 3.3 | 125 | 62.8 | 5.4 | 436 | 78.7 | 2.8 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 197 | 68.0 | 4.0 | 110 | 77.1 | 4.8 | 307 | 71.3 | 3.1 |
| 脳・中枢神経系 | 23 | 32.0 | 10.4 | 35 | 59.7 | 8.7 | 58 | 49.2 | 6.9 |
| 甲状腺 | 40 | 91.3 | 6.2 | 190 | 93.0 | 2.3 | 230 | 93.3 | 2.2 |
| 悪性リンパ腫 | 237 | 56.1 | 3.8 | 174 | 63.0 | 4.1 | 411 | 59.1 | 2.8 |
| 多発性骨髄腫 | 52 | 32.8 | 7.5 | 52 | 26.3 | 6.7 | 104 | 29.5 | 5.0 |
| 白血病 | 109 | 34.1 | 5.0 | 99 | 31.6 | 4.9 | 208 | 32.9 | 3.5 |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 2 進行度別分布 —2003-05 年、解析対象 2—

集計参加登録:熊本県

| 部位 | 限局 | | 領域 (*3) | | 遠隔 | | 進行度不明 |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|
| | N | 分布 | N | 分布 | N | 分布 | % |
| 全部位 | 7,768 | 48.4 | 3,596 | 22.4 | 2,455 | 15.3 | 13.8 |
| 口腔・咽頭 | 50 | 32.1 | 51 | 32.7 | 20 | 12.8 | 22.4 |
| 食道 | 111 | 34.6 | 113 | 35.2 | 57 | 17.8 | 12.5 |
| 胃 | 1,642 | 61.4 | 514 | 19.2 | 331 | 12.4 | 7.0 |
| 大腸（結腸・直腸） | 1,200 | 46.4 | 739 | 28.6 | 421 | 16.3 | 8.8 |
| 結腸 | 849 | 47.4 | 477 | 26.6 | 304 | 17.0 | 9.0 |
| 直腸 | 351 | 44.0 | 262 | 32.9 | 117 | 14.7 | 8.4 |
| 肝および肝内胆管 | 737 | 60.8 | 93 | 7.7 | 80 | 6.6 | 25.0 |
| 胆のう・胆管 | 181 | 31.8 | 199 | 35.0 | 111 | 19.5 | 13.7 |
| 膵臓 | 46 | 9.5 | 166 | 34.3 | 218 | 45.0 | 11.2 |
| 喉頭 | 51 | 67.1 | 11 | 14.5 | 1 | 1.3 | 17.1 |
| 肺 | 548 | 30.3 | 512 | 28.3 | 555 | 30.6 | 10.8 |
| 皮膚 *1 | 177 | 88.9 | 3 | 1.5 | 3 | 1.5 | 8.0 |
| 乳房 *2 | 1,139 | 60.3 | 480 | 25.4 | 100 | 5.3 | 9.0 |
| 子宮 | 422 | 58.3 | 202 | 27.9 | 47 | 6.5 | 7.3 |
| 子宮頸部 | 196 | 50.3 | 144 | 36.9 | 22 | 5.6 | 7.2 |
| 子宮体部 | 218 | 68.3 | 55 | 17.2 | 23 | 7.2 | 7.2 |
| 卵巣 | 101 | 37.5 | 80 | 29.7 | 50 | 18.6 | 14.1 |
| 前立腺 | 493 | 53.2 | 84 | 9.1 | 131 | 14.1 | 23.5 |
| 膀胱 | 274 | 62.8 | 41 | 9.4 | 15 | 3.4 | 24.3 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 202 | 65.8 | 29 | 9.4 | 35 | 11.4 | 13.4 |
| 脳・中枢神経系 | 24 | 41.4 | 1 | 1.7 | 0 | 0.0 | 56.9 |
| 甲状腺 | 91 | 39.6 | 94 | 40.9 | 13 | 5.7 | 13.9 |
| 悪性リンパ腫 | 120 | 29.2 | 75 | 18.2 | 101 | 24.6 | 28.0 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - | - |

解析対象 2：解析対象 1 から廻り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

表3 進行度別5年相対生存率、標準誤差 —2003-05年、解析対象2—

集計参加登録:熊本県

| 部位 | 限局 | | 領域(*3) | | 遠隔 | |
|------------|-------|-----|--------|------|------|------|
| | % | SE | % | SE | % | SE |
| 全部位 | 87.9 | 0.6 | 50.8 | 0.9 | 14.0 | 0.8 |
| 口腔・咽頭 | 76.2 | 7.8 | 54.2 | 7.9 | 16.4 | 9.1 |
| 食道 | 67.4 | 5.4 | 23.0 | 4.3 | 6.3 | 3.5 |
| 胃 | 96.8 | 1.1 | 44.3 | 2.5 | 5.5 | 1.3 |
| 大腸（結腸・直腸） | 96.5 | 1.3 | 65.6 | 2.1 | 16.9 | 2.0 |
| 結腸 | 96.5 | 1.7 | 68.1 | 2.7 | 13.1 | 2.1 |
| 直腸 | 95.6 | 2.2 | 61.2 | 3.5 | 26.7 | 4.4 |
| 肝および肝内胆管 | 38.9 | 2.0 | 7.2 | 2.9 | 4.4 | 2.5 |
| 胆のう・胆管 | 60.5 | 4.5 | 15.1 | 2.8 | 1.0 | 1.1 |
| 膵臓 | 24.8 | 6.9 | 6.2 | 2.0 | 2.1 | 1.1 |
| 喉頭 | 87.4 | 7.0 | 28.2 | 14.8 | 0.0 | 0.0 |
| 肺 | 77.6 | 2.3 | 21.2 | 2.0 | 4.6 | 1.0 |
| 皮膚 *1 | 98.9 | 4.2 | 39.5 | 42.2 | 0.0 | 0.0 |
| 乳房 *2 | 99.4 | 0.7 | 88.5 | 1.7 | 40.0 | 5.1 |
| 子宮 | 94.5 | 1.4 | 62.7 | 3.7 | 28.4 | 6.8 |
| 子宮頸部 | 95.7 | 2.0 | 62.0 | 4.5 | 23.5 | 9.4 |
| 子宮体部 | 94.2 | 2.0 | 67.7 | 6.6 | 35.4 | 10.3 |
| 卵巣 | 93.5 | 3.1 | 53.8 | 5.7 | 28.8 | 6.5 |
| 前立腺 | 100.0 | 1.7 | 95.9 | 6.1 | 45.3 | 5.5 |
| 膀胱 | 93.6 | 3.2 | 26.6 | 7.8 | 7.7 | 10.2 |
| 腎・尿路（膀胱除く） | 89.0 | 3.2 | 42.2 | 10.3 | 6.3 | 4.3 |
| 脳・中枢神経系 | 22.3 | 9.2 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 甲状腺 | 97.8 | 2.2 | 96.5 | 2.9 | 64.2 | 15.7 |
| 悪性リンパ腫 | 81.9 | 4.6 | 72.9 | 6.2 | 34.7 | 5.2 |
| 多発性骨髄腫 | - | - | - | - | - | - |
| 白血病 | - | - | - | - | - | - |

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）

参考文献

1. Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2000: Estimates based on data from 11 population-based cancer registries. *Jpn J Clin Oncol.* 2006 Oct;36(10):668-75.
2. Marugame T, Matsuda T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2001 based on the data from 10 population-based cancer registries. *Jpn J Clin Oncol.* 2007 Nov;37(11):884-91.
3. Matsuda T, Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2002: based on data from 11 population-based cancer registries. *Jpn J Clin Oncol.* 2008 Sep;38(9):641-8.
4. Tsukuma H, Ajiki W, Ioka A, Oshima A. Survival of cancer patients diagnosed between 1993 and 1996: a collaborative study of population-based cancer registries in Japan. *Jpn J Clin Oncol.* 2006 Sep;36(9):602-7.
5. Ajiki W, Tsukuma H, Oshima A. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 1999: estimates based on data from 11 population-based cancer registries. *Jpn J Clin Oncol.* 2004 Jun;34(6):352-6.
6. Matsuda T, Ajiki W, Marugame T, Ioka A, Tsukuma H, Sobue T. Population-based survival of cancer patients diagnosed between 1993 and 1999 in Japan: a chronological and international comparative study. *Jpn J Clin Oncol.* 2011 Jan;41(1):40-51.
7. Matsuda T, Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2003: based on data from 13 population-based cancer registries in the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) Project. *Jpn J Clin Oncol.* 2009 Dec;39(12):850-8.
8. Matsuda T, Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T; Japan Cancer Surveillance Research Group. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2004: based on data from 14 population-based cancer registries in the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) Project. *Jpn J Clin Oncol.* 2010 Dec;40(12):1192-200.
9. Matsuda T, Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T; Japan Cancer Surveillance Research Group. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2005: based on data from 12 population-based cancer registries in the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) project. *Jpn J Clin Oncol.* 2011 Jan;41(1):139-47.
10. Matsuda T, Marugame T, Kamo K,

- Katanoda K, Ajiki W, Sobue T; Japan Cancer Surveillance Research Group. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2006: based on data from 15 population-based cancer registries in the monitoring of cancer incidence in Japan (MCIJ) project. *Jpn J Clin Oncol.* 2012 Feb;42(2):139-47
11. Matsuda A, Matsuda T, Shibata A, Katanoda K, Sobue T, Nishimoto H; The Japan Cancer Surveillance Research Group. Cancer Incidence and Incidence Rates in Japan in 2007: A Study of 21 Population-based Cancer Registries for the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) Project. *Jpn J Clin Oncol.* 2013 Jan 7. [Epub ahead of print]
 12. Ferlay J, Burkhard C, Whelan S, Parkin DM. CHECK AND CONVERSION PROGRAMS FOR CANCER REGISTRIES, IARC/IACR Tools for Cancer Registries. Lyon: International Agency for Research on Cancer (World Health Organization) and International Association of Cancer Registries; 2005.
 13. Ajiki W, Matsuda T, Sato Y, Fujita M, Yamazaki S, Murakami R, et al. Standard method of calculating relative survival rates in population-based cancer registries—an investigation using stomach cancer patients. *Jpn J Cancer Clin.* 1997;43(9):1005-14.
 14. Ajiki W, Matsuda T, Sato Y, Fujita M, Yamazaki S, Murakami R, et al. A standard method of calculating survival rates in population-based cancer registries. *Jpn J Cancer Clin.* 1998;44(9):981-93.
 15. Berrino F, Sant M, Verdecchia A, Capocaccia R, Hakulinen T, Esteve J. Survival of Cancer Patients in Europe: The EURO CARE Study. Lyon: International Agency for Research on Cancer; 1995.

全国がん罹患モニタリング集計
Monitoring of Cancer Incidence in Japan
2003-2005年 生存率報告

平成25年3月1日 第1刷発行（非売品）

編集 西本 寛 松田 智大 柴田 亜希子 松田 彩子
発行 国立がん研究センター がん対策情報センター

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

電話： 03-3542-2511 FAX： 03-3546-0605

印刷所 (有) 宮 永 印 刷

東京都江東区永代2-20-4

〒135-0034

Monitoring of Cancer Incidence in Japan - Survival
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services
March 2013

全国がん罹患モニタリング集計 2003-2005年生存率報告 独立行政法人 国立がん研究センター がん対策情報センター
Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCI - survival 2003-2005) National Cancer Center, Center for Cancer Control and Information Services

Mar
2013